Empowered by Innovation NEC

LaVie N

2 準備と設定

◎「あなたのパソコン」として使うために◎

パソコンは、ほかの電化製品とちがって
電源をいれただけでは使えません。
付属品をとりつけ、あなた個人が使うための
設定をし、インターネットにつなぐところまで、
この本の手順にそって、準備してみましょう。

もう一台パソコンを買ったときの
内容の移しかえや、設定を最初から
やり直す方法も、この本がご案内します。

新しいパソコンがやってきました！

箱を開いて、

嬉しいような、そわそわするような、

そんな、新しい道具を手にするときの気持ちを

たいせつにしながら、

間違いなく確実に、

パソコンの準備と設定を進めていけるよう、

この本は作られています。

853-810601-348-A

『準備と設定』の読み方

第1章〜第3章まで

「箱を開けて最初にすること」「電源を入れる前に接続しよう」「セットアップを始める」

箱の中の添付品を確認したり、バッテリやACアダプタを接続する手順、はじめて電源を入れたときの設定（Windowsのセットアップ）手順を説明しています。

第4章

「基本中の基本の操作」

電源の入れ方／切り方、音量調節、CD-ROMなどのディスクの扱い方など、基本的な操作について説明しています。

第5章・第6章

「これからインターネットを始めるかたへ」「パソコンを買い換えたかたへ」

インターネットに接続する方法について説明しています。これまでにパソコンを持っていなかったかたは第5章へ、以前に持っていたパソコンでもインターネットを利用していたかたは第6章へ進んでください。第6章では、以前のパソコンの設定やデータを新しいパソコンに移す方法も説明しています。

第7章

「前に使っていたパソコンと一緒に使いたいかたへ」

複数のパソコンをネットワーク接続して利用したいかたは、この章をご覧ください。

第8章

「再セットアップする」

パソコンの調子が悪くなったときなどに、買ってきたときの状態に戻す「再セットアップ」について説明しています。

第9章

「パソコン内部に取り付ける」

このパソコンにメモリを取り付ける方法を説明しています。

853-810601-348-A
2004年9月　初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

ポイント	そのページで説明している手順で、とくに大切なことです。
	してはいけないことや、注意していただきたいことです。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損などの可能性があります。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
CD/DVD ドライブ	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、デスクトップの（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

次ページの表をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブ（DVD スーパーマルチドライブ）を搭載しているモデルのことです。
デュアルモードワイヤレス LAN モデル	IEEE802.11b（2.4GHz）と IEEE802.11g（2.4GHz）の両方の規格に対応したワイヤレス LAN インターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Bluetooth モデル	Bluetooth® ワイヤレステクノロジを搭載したモデルのことです。
Bluetooth マウス添付モデル	Bluetooth マウスが添付されているモデルのことです。
USB ミニマウス添付モデル	USB ミニマウスが添付されているモデルのことです。
Windows XP Home Edition モデル	Microsoft® Windows® XP Home Edition があらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows XP Professional モデル	Microsoft® Windows® XP Professional があらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2003 モデル	Office Personal 2003 または Office Professional 2003 があらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2003 モデル	Office Personal 2003 があらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Professional 2003 モデル	Office Professional 2003 があらかじめインストールされているモデルのことです。

シリーズ名	型名 （型番）	表記の区分					
		CD/DVDドライブ	ワイヤレスLAN	Bluetooth	添付マウス	OS	添付ソフト
LaVie N	LN500/AD1 (PC-LN500AD1)	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル	デュアルモードワイヤレスLANモデル	Bluetoothモデル	Bluetoothマウス添付モデル	Windows XP Home Editionモデル	Office Personal 2003モデル
	LN500/AD2 (PC-LN500AD2)						
	LN300/AD1 (PC-LN300AD1)				USBミニマウス添付モデル		
	LN300/AD2 (PC-LN300AD2)						

◆ LaVie G シリーズについて

LaVie G シリーズの各モデルについては、添付の『LaVie G シリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の鑑賞用の使用に制限されています。この製品を分解したり改造することは禁じられています。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP、Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2
Windows、Windows XP、Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2
Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows Me、Windows Millennium Edition	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003 (Microsoft® Office Word 2003、Microsoft® Office Excel 2003、Microsoft® Office Outlook® 2003、Microsoft® Office Home Style+)
Office Professional 2003	Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003（Microsoft® Office Word 2003、Microsoft® Office Excel 2003、Microsoft® Office Outlook® 2003、Microsoft® Office PowerPoint® 2003、Microsoft® Office Access 2003、Microsoft® Office Publisher 2003、Microsoft® Office InfoPath™ 2003）
Outlook、Outlook 2003	Microsoft® Office Outlook® 2003
Home Style+	Microsoft® Office Home Style+
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 2
アウトルックエクスプレス、Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 6.0
マカフィー・ウイルススキャン	マカフィー®・ウイルススキャン
マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス	マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス
BIGLOBEでインターネット	BIGLOBEインターネット接続ツール
RecordNow!	Sonic RecordNow!™ Version7.2

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare℠ International Service］対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Home EditionまたはMicrosoft® Windows® XP Professional、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

目次

第5章 これからインターネットを始めるかたへ 75

第6章 パソコンを買い換えたかたへ 105

第7章 前に使っていたパソコンと一緒に使いたいかたへ 127

第8章 再セットアップする 133

第9章 パソコン内部に取り付ける 165

付録

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致しております。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

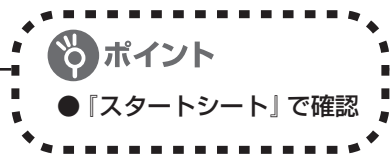
*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

第 1 章

箱を開けて最初にすること

この章には、パソコンの箱を開けて最初にすることが書いてあります。添付品が全部そろっているか、型名や製造番号が合っているか確認しましょう。

この章の所要時間：約 10 分

添付品はそろっていますか？

1 『スタートシート』を見る

マニュアルセットの中に『スタートシート』が入っています。スタートシート裏面の「添付品を確認する」を見て、添付品が全部そろっているか確認してください。万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

LaVie G シリーズをご購入の場合は、『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、添付品を確認してください。

困ったときには…
NEC 121 コンタクトセンター
フリーコール 0120-977-121

添付品を確認する

このページのチェックリストを見ながら、添付品がそろっているか確認をしてください。万一、添付品が足りない場合は、すぐにNEC121コンタクトセンター 0120-977-121（フリーコール）へお問い合わせください。
携帯電話、PHSからは03-6670-6000までお願いいたします。 ※通話料は、お客様のご負担となります。

LaVie G シリーズをご購入の場合
LaVie G シリーズをご購入いただいた場合、お客様の選択により添付品が異なります。添付品の確認をするときには、『LaVie G シリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

□ 本体
□ バッテリパック
□ USBミニマウス（LN300AD1、LN300AD2のみ）
□ Bluetoothマウス
□ マウス用アルカリ電池（単3形、2本）（LN500AD1、LN500AD2のみ）
□ ACアダプタ
□ モジュラーケーブル（FAXモデムケーブル）
□ 電源コード
□ スタンド
□ コスメティックカバー
□ ソフトケース

マニュアルなど
□ スタートシート（このシート）
□ ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）／ソフトウェア使用条件適用一覧（1枚になっています。箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ 安全にお使いいただくために
□ クイック操作シート
□ はじめよう!ブロードバンド インターネット活用ブック
□ 筆王 ユーザーズガイド for NEC
□ 添付書類保管ファイル
□ 121wareガイドブック
□ 準備と設定
□ 活用ブック
□ インスタント機能ガイド
□ MediaGarage操作ガイド

Microsoft® Office Personal Edition 2003の添付品
□ Microsoft® Office Personal Edition 2003 パッケージ

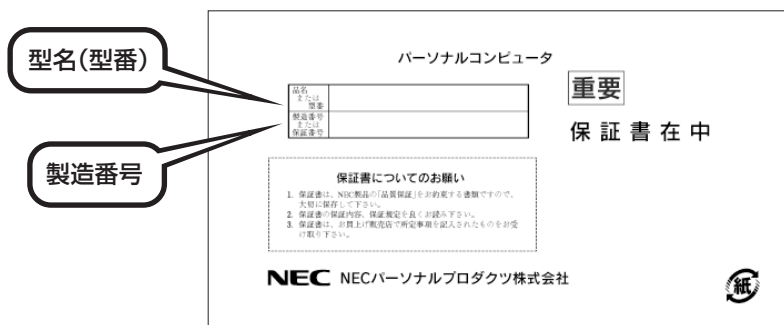
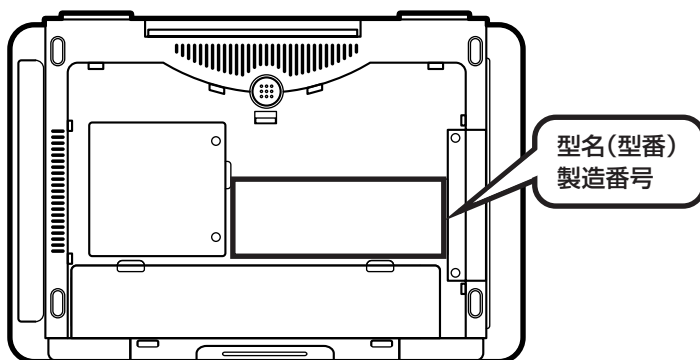
©NEC Corporation, NEC Personal Products,Ltd. 2004
NECパーソナルプロダクツ株式会社
2004年9月 Printed in Japan

添付品の内容はモデルにより異なります。

型名(型番)と製造番号を確認する

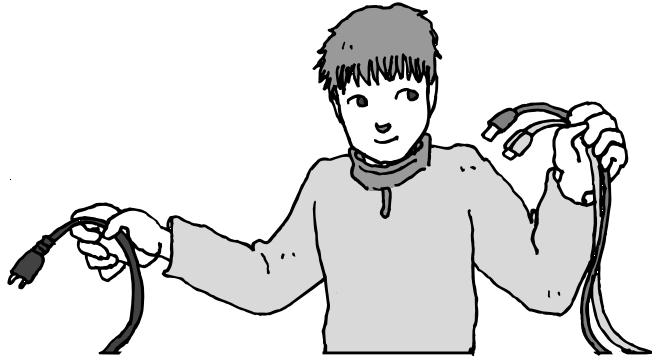
ポイント

● 保証書と本体のラベルの記載が一致していることを確認する

1 パソコン本体の保証書を見る

2 パソコン底面のラベルと一致しているか確認する

・機器に記載された番号が保証書と異なっている場合、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

・保証書は、所定事項（販売店名、お買い上げ日など）が記入されていることを確認して、保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

第2章

電源を入れる前に接続しよう

添付品と保証書の内容を確認したら接続です。バッテリとACアダプタを取り付けましょう。電源を扱うことになるので、慎重に作業しましょう。次ページから順番に作業を進めてください。

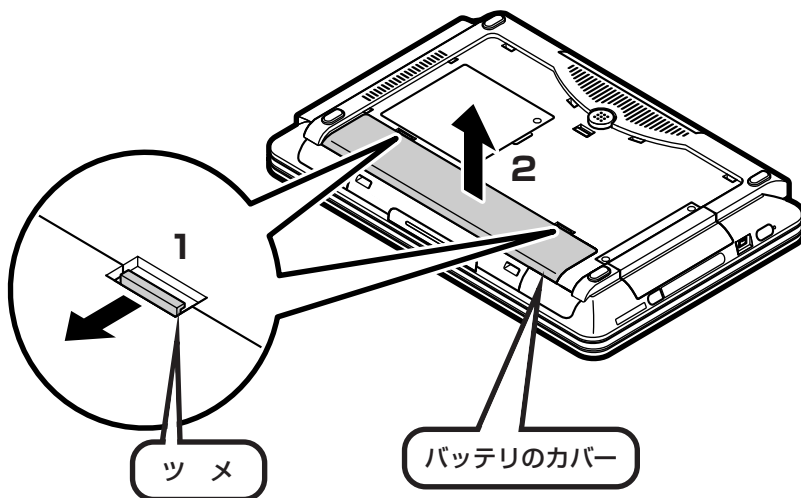
この章の所要時間：約５分

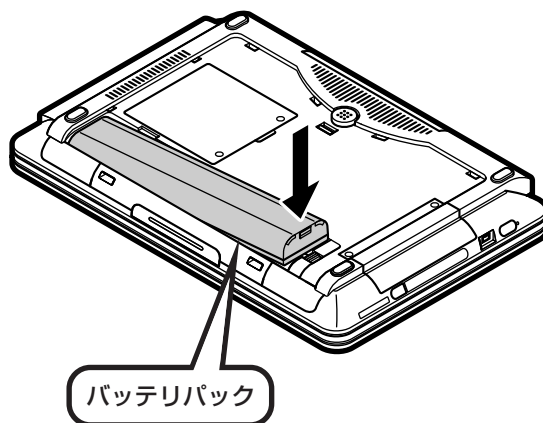
インターネットや周辺機器はあとから接続

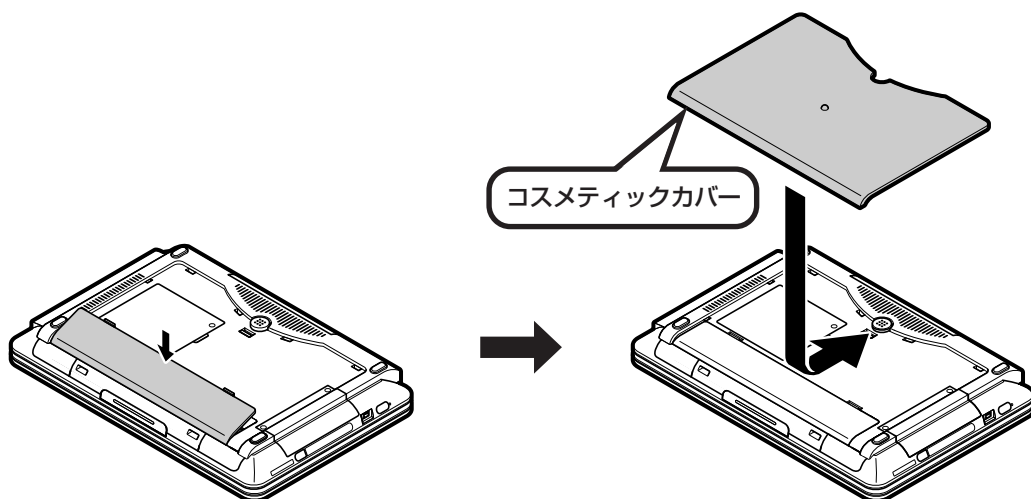
ここではまだ、電話回線には接続しません。また、プリンタなどの周辺機器があるときも、まだ接続しないでください。「第３章　セットアップを始める」で説明している作業が終わってから、電話回線や周辺機器の接続を行います。

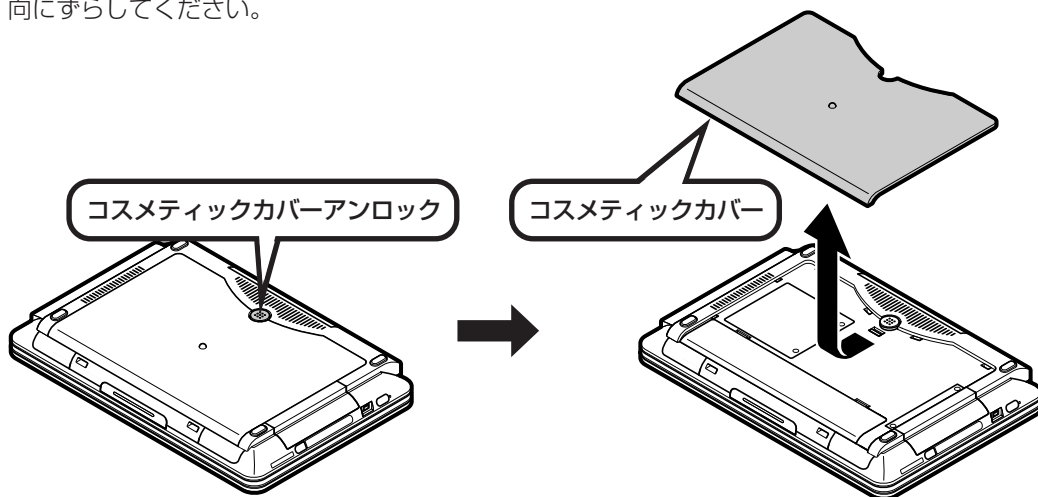
バッテリパックを取り付ける

1 バッテリのカバーを取り外す

2 カ所のツメを外して、カバーを上に持ち上げてください。

2 バッテリパックを取り付ける

バッテリパックを図のようにセットし、カチッと音がするまでしっかり取り付けます。

3　バッテリのカバーとコスメティックカバーを取り付ける

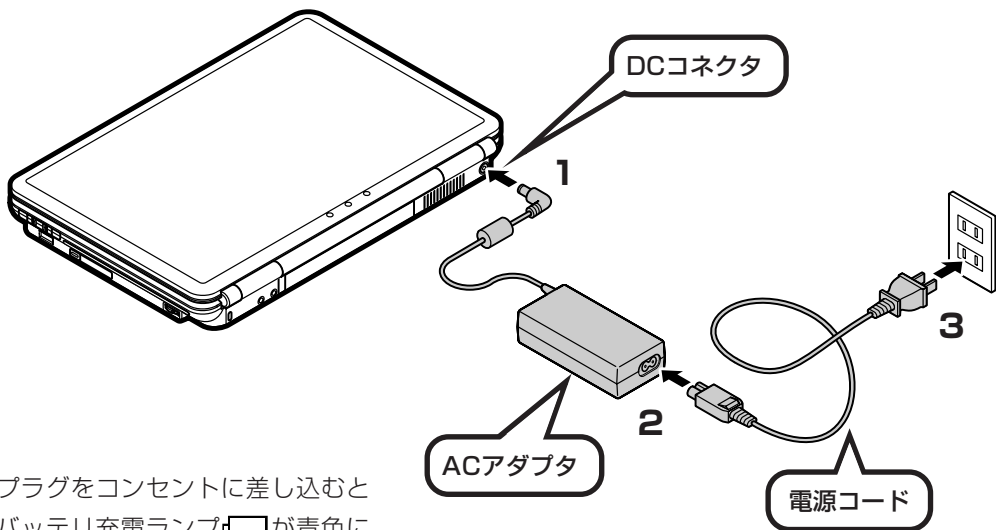
バッテリのカバーを取り付けた後、コスメティックカバーを取り付けます。

コスメティックカバーを取り外す方法

本体底面のコスメティックカバーアンロックを押したまま、コスメティックカバーを本体前面方向にずらしてください。

ACアダプタを接続する

ポイント

- 手順をよく読み、接続する順番を守りましょう

ACアダプタを接続する方法

1 ACアダプタをDCコネクタ(⎓)に接続する
2 電源コードをACアダプタに接続する
3 電源コードのプラグをコンセントに差し込む

プラグをコンセントに差し込むとバッテリ充電ランプ▭が青色に点灯して、バッテリの充電がはじまります。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプが消灯します。

・Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

・ご購入直後は、バッテリ駆動ができなかったり動作時間が短くなることがあります。またバッテリ残量が正しく表示されない場合もあります。バッテリがフル充電されるまでACアダプタを抜かないでください。

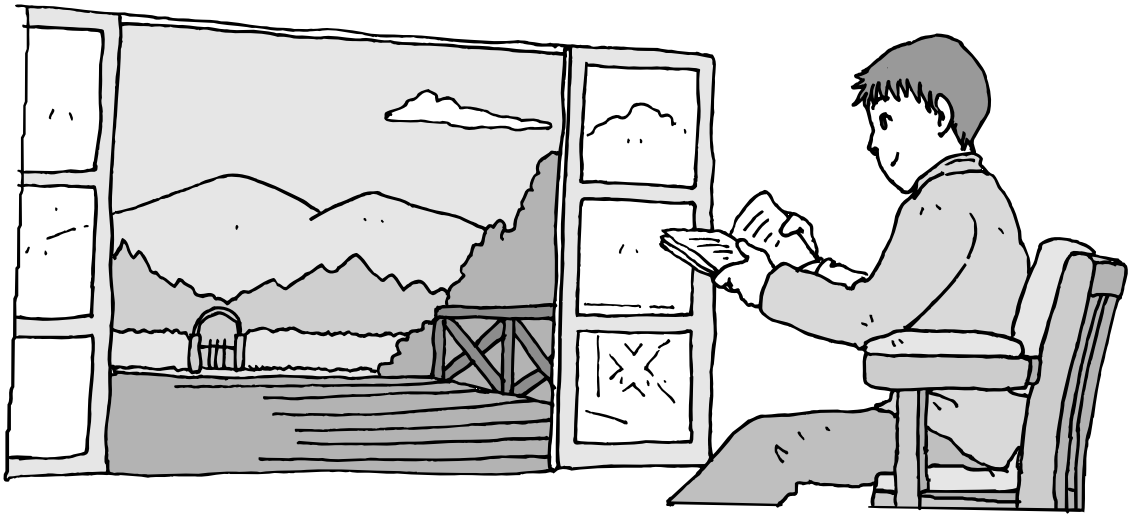
・バッテリ容量が95%以上のときにはランプが点灯せず、充電状態にならない場合があります。

インターネット、周辺機器などの接続はあとから

ここまでの接続が終わったら、続けて「第３章　セットアップを始める」に進んでください。第３章で説明している作業が終わってからインターネット、周辺機器などの接続を行います。

電源コードなどが人の通る場所にないことを、もう一度確認してください。コードを足にひっかけたりするとパソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

第 3 章

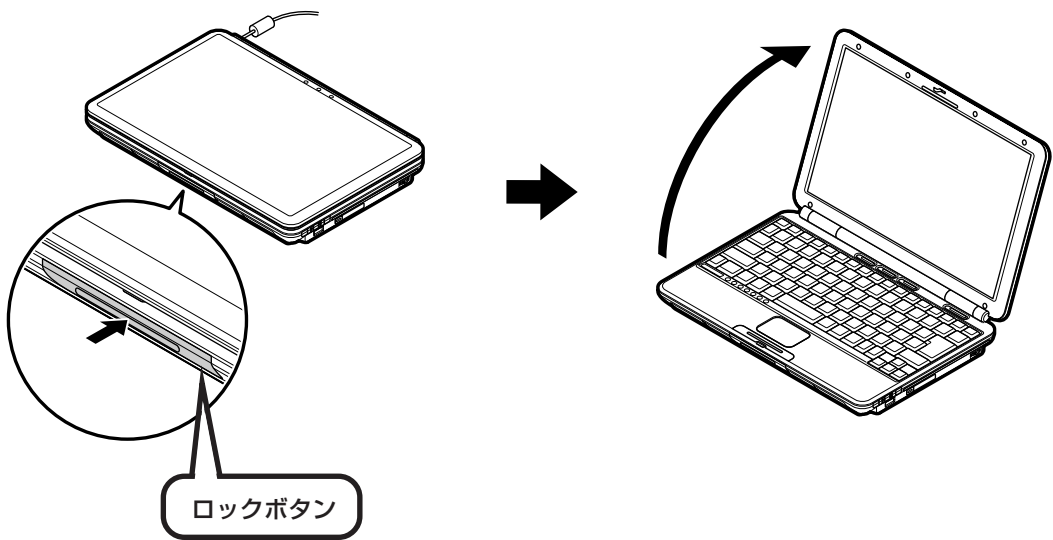
セットアップを始める

今度は、いよいよパソコンの電源を入れます。最初に電源を入れるときは、「セットアップ作業」といって、自分の名前を登録したりする操作が必要です。このあとの説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してください。

この章の所要時間：約30分

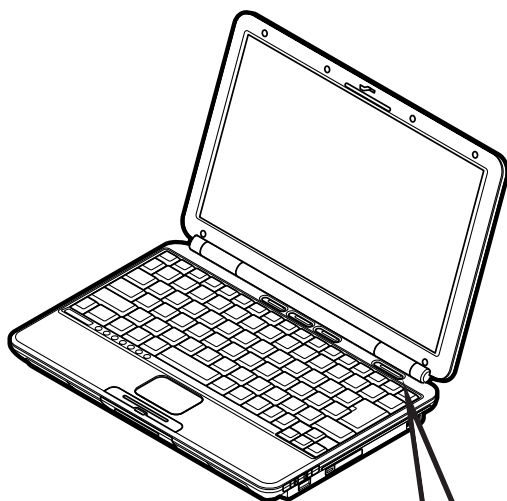
電源を入れる

ポイント
● 電源スイッチの場所を確認しておく

1 パソコンのふたを開ける

ロックボタンを押したまま、ふたを持ち上げます。ふたの裏がディスプレイになっています。

本体の液晶ディスプレイ部はストッパにより、一定の角度で開かなくなります。ストッパで止まる位置より無理に開けないでください。本体が破損する可能性があります。

2 電源を入れる

電源スイッチ⏻を1秒程度押すと電源が入り、ディスプレイの裏の電源ランプが点灯します。

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点が見えることがあります。また見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。

画面が表示されるまで数分かかることもある

電源スイッチを押してから、23ページの画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ（社名のマーク）やWindowsのマークなどが表示されたり、画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。あわてて電源を切ったりせずに、そのままお待ちください。

操作の途中では、絶対に電源を切らない!

セットアップ手順がすべて終わるまでに、約30分かかります。39ページまでの手順が完了する前には、絶対に電源を切らないでください。電源コードをいきなり抜いたりするのも、絶対ダメです。セットアップ手順が完了しないうちに電源を切ると、故障の原因になります。

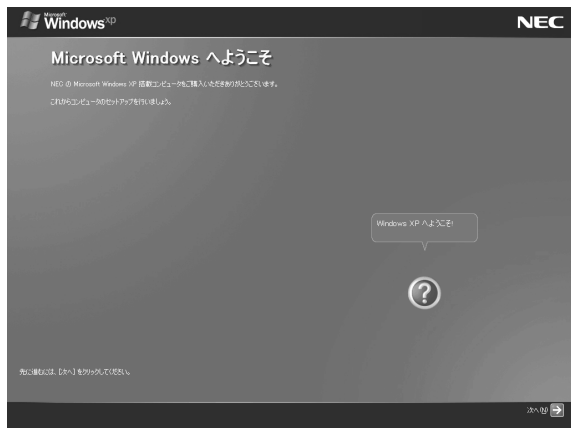
停電などのときは

万一、停電などの理由で電源が切れてしまったときは、一度電源コードをコンセントから抜いて1分ほど待ち、再度コンセントに差しなおしてから、電源スイッチを押してください。セットアップの画面が表示されるときは、その画面からセットアップ手順を続けてください。セットアップの画面が表示されないときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

では、始めましょう

ポイント

- 画面の矢印を動かしてみる
- 「クリック」という操作を覚える

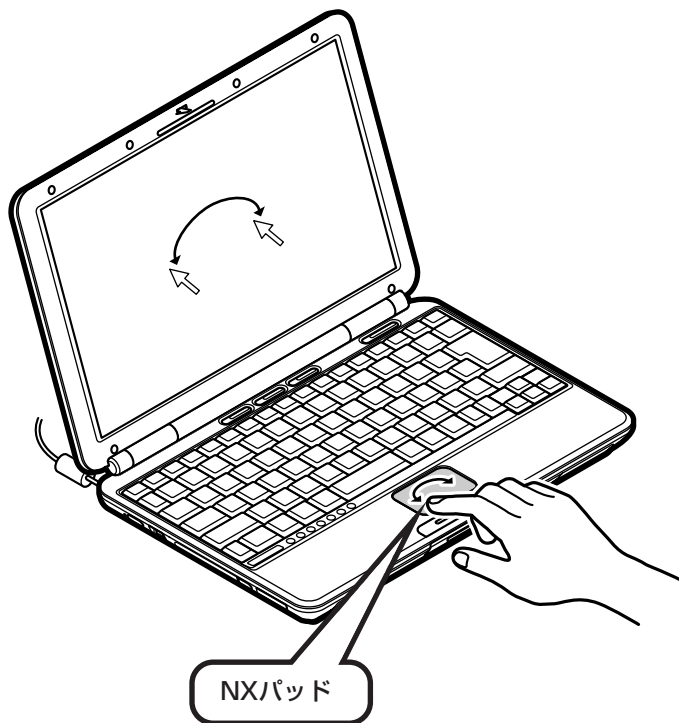
1 セットアップの最初の画面を確かめる

「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されていますね。これがセットアップ作業の出発点です。

⌛は、「何もしないで待ってて」の合図

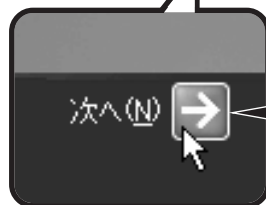
パソコンの内部で何かの処理が進んでいて、操作できないときには、画面に⌛のマークが出ることがあります。このマークが表示されているときや、「しばらくお待ちください」などと文字が表示されているときは、キーを押したり、NX パッドのボタンを押したりせずに、待っていてください。

パソコン内部での処理の進み具合を示すグラフが表示されることもあります。その場合も、何も操作せずに待ってください。

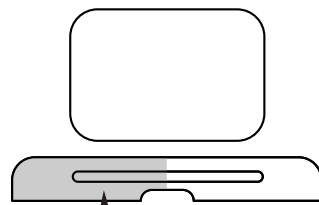
2 画面の矢印を動かす

NX パッドの上で指をすべらせます。

指を動かすと、その動きに合わせて画面の矢印が動きます。指がNXパッドの端で止まって、それ以上動かせなくなったときは、一度指を離してNXパッドの中央に戻して操作すると続けて矢印を動かすことができます。

まだ、NX パッドのボタンを押さないでください。

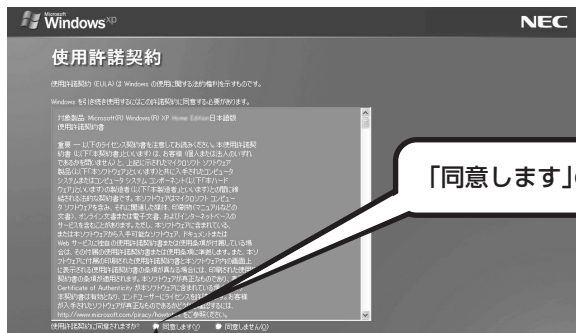
3 画面内の右下を見る

「次へ」の➡に、画面の矢印（マウスポインタ）を合わせて左のクリックボタンを押すと、画面の表示が切り替わって「使用許諾契約」と書かれた画面になります。

クリック

このような操作で、手順を次に進めたり、次のページを表示したりすることができます。
画面の絵や文字などに矢印を合わせて左ボタンを1回押す操作を「クリック」と呼びます。パソコンを使うときの一番基本的な操作なので、覚えてくださいね。

画面を見ながら手順を進める

ポイント

- 画面に書かれたことを読みながら
- 指示にしたがってクリック

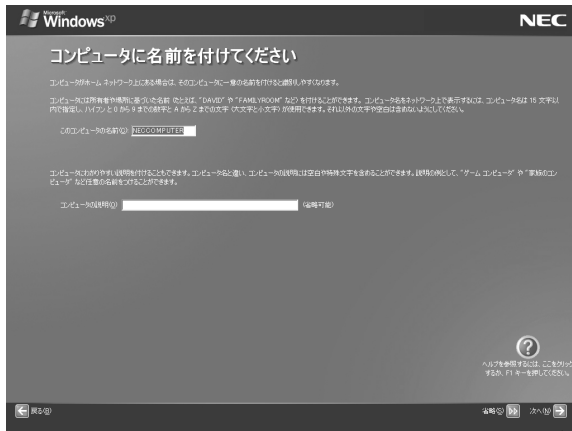
1 使用許諾契約に同意する

これで、使用許諾契約に同意することになります。「同意します」の左が◯から◉に変わらないときは、矢印がうまく合っていなかったので、やりなおしてください。

「使用許諾契約」とは、このパソコンに入っているソフトを違法にコピーして他人に渡したりしないという約束をしていただくことです。この契約に同意していただけない場合は、パソコンを使うことができません。画面に表示されている契約文の続きを読むには、文書表示欄の右下にある▼をクリックします。

➡ に、矢印 を合わせてから、クリックする

2 コンピュータを保護する設定をする

Windowsがいつも最新の状態になるように、インターネット経由で定期的に更新情報が確認され、自動的にインストールされるようになります。

3 次の画面に進む

このまま、 をクリックする

・キーボードの操作に慣れていないかたは、名前を付けずにこのまま次に進んでかまいません。

・キーボードを使った文字入力に慣れている場合、半角英数文字でコンピュータの名前を入力してください。適当な名前を思いつかなければ、「LaVie」とするとよいでしょう。すでに何台かパソコンをお持ちの場合、「PC1」、「PC2」のように数字で区別してもかまいません。

・コンピュータの名前はセットアップが終わってから変更することもできます。

次の文字列は、パソコンのシステムですでに使われているため、入力しないでください。
CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

Windows XP Home Editionモデルの場合

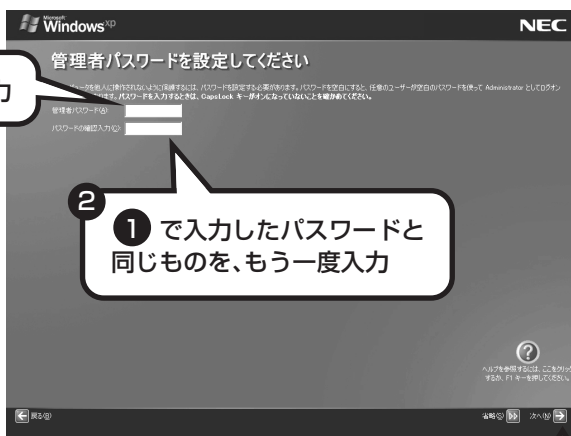
31 ページに進んでセットアップ作業を進めてください。

Windows XP Professionalモデルの場合

次ページへ進んで作業を進めてください。

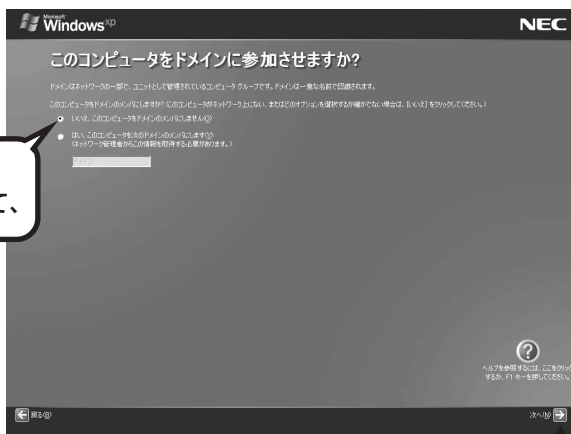
4 管理者パスワードを設定する（Windows XP Professionalモデルのみ）

❶ 自分の好きなパスワードを入力

❷ ❶で入力したパスワードと同じものを、もう一度入力

❸ ［→］をクリックする

・入力したパスワードは「●●●」のように表示されます。これは、入力したパスワードが他人に見られてもわからないようにするためです。

・覚えやすく、忘れにくいパスワードを決めてください。大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。

5 ドメインに参加させないようにして、次に進む（Windows XP Professionalモデルのみ）

・上の画面が表示されたときはコンピュータをドメインに参加させずにセットアップ作業を進めてください。

・上の画面が表示されずに次ページの画面が表示されることもあります。その場合、次ページの説明にしたがって進めてください。

・必要なら、セットアップ作業が終わってからドメインに参加するように設定することができます。「ドメイン」とは、企業や学校などがまとまってネットワークを管理するときのグループを意味しています。詳しくは、企業や学校などのネットワーク管理者におたずねください。

6 インターネットの接続方法を省略する

下の画面がどちらも表示されずに次ページの画面が表示された場合、次ページの説明にしたがって進めてください。

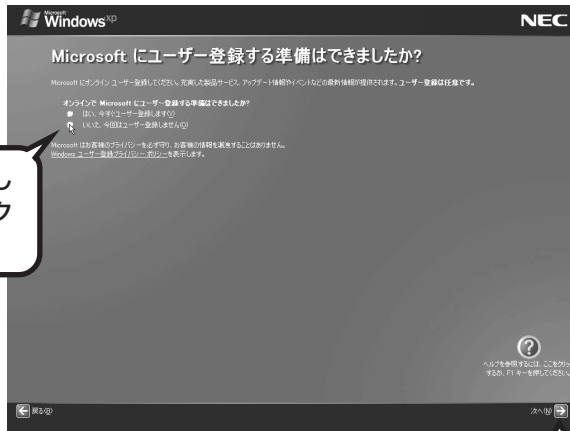
をクリックする

インターネットへの接続は、セットアップ作業が終わってから別に設定します。ここでは、そのまま▷▷をクリックしてください。

をクリックする

「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたときも、▷▷をクリックしてください。

7 ユーザー登録せずに次へ進む

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある○をクリックして◉に変えてから、

➡ をクリックする

- 「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示されたときは、そのまま次ページの説明にしたがって進めてください。
- 「いいえ、…」を選択しないで手順を進めるとセットアップが途中で止まってしまいます。必ず、「いいえ、…」の左にある○をクリックして◉に変えてください。
- Microsoftへのユーザー登録は、セットアップ作業が終わってから行います。

8 インターネット接続せずに次へ進む

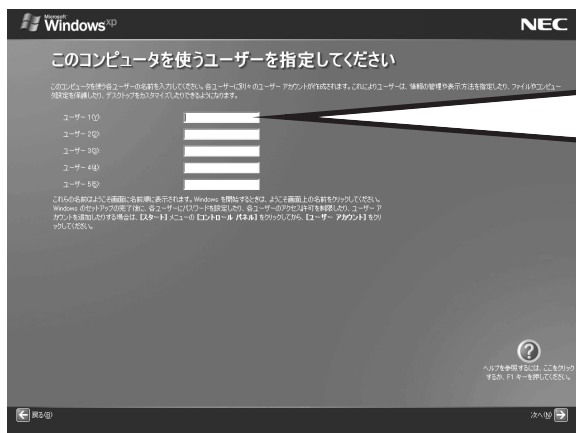
・「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたときは、そのまま次ページの説明にしたがって進めてください。

・「いいえ、…」を選択しないで手順を進めるとセットアップが途中で止まってしまいます。必ず、「いいえ、…」の左にある◯をクリックして◉に変えてください。

・インターネットへの接続は、セットアップ作業が終わってから別に設定します。

キーボードを使って自分の名前を入れる

● ローマ字(アルファベット)で名前を入れる

1 「ユーザー1」欄に自分の名前を入れる

ここに小さな縦棒(｜)が点滅しているのを見てから、キーボードの【半角/全角】キーを一回押し、キーボードから自分の名前をローマ字で入力する

【例】「mita」と入力する場合なら

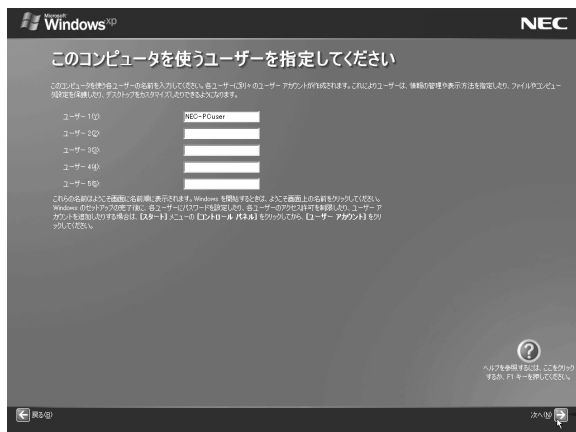
点滅していないときは、「ユーザー1」欄をクリックしてください。

- ここでは「ユーザー1」欄だけ入力してください。ユーザー名の追加や変更は、セットアップが終わったあとでできます。
- 次の文字列は、パソコンのシステムですでに使われているため、入力しないでください。CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

入力を間違えたら

キーボードの【BackSpace】キーを押してください。

ひらがなが表示されるときは

キーボードの【BackSpace】キーを押して、表示された文字をすべて消してください。
次に、キーボードの【半角/全角】キーを押すと、アルファベットが表示されるようになります。

入力した名前を控えておく

ユーザー名：

パソコンの再セットアップ作業を行うとき、この名前が必要です。上の欄に控えておいてください。

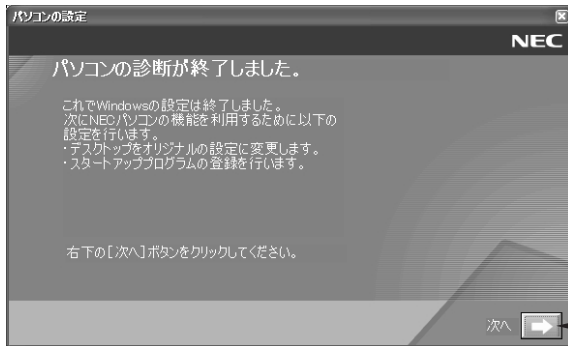
2 さらにセットアップ作業を進める

→ をクリックする

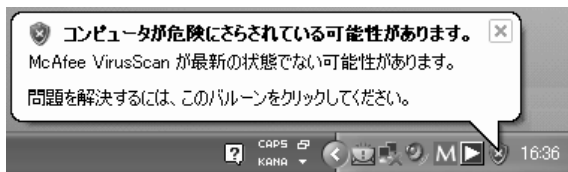
→ をクリックすると、しばらくしてからパソコンの電源が切れ、自動的に再度電源が入ります（これを「再起動」といいます）。
次ページの画面が表示されるまで何も操作せずに待っていてください。

パソコンが再起動しても、
まだセットアップ作業が残っています。

続けて次ページ以降の作業を進めてください。

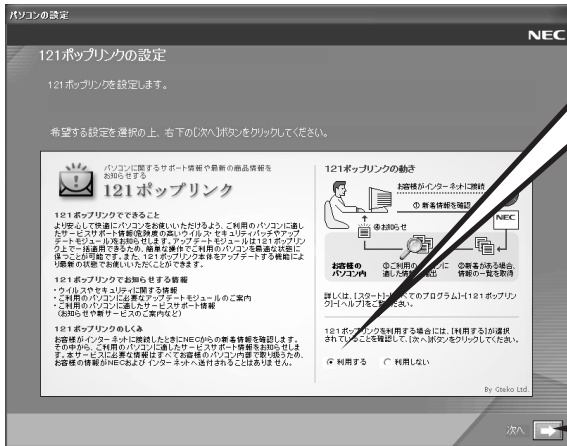
3 残りのセットアップ作業に進む

をクリックする

画面には「パソコンの診断が終了しました」と表示されますが、あと少しセットアップを進める必要があります。

画面右下に次のようなメッセージが表示される場合があります。

ここではこのメッセージをクリックせずに、セットアップ作業を進めてください。

121ポップリンクを設定する

● NECから新しい情報が届くように、「利用する」を選ぶ

1 ➡ をクリックする

「利用する」の左が◉になっていることを確認して、

121（ワントゥワン）ポップリンクは、お使いのパソコンに適したサービスサポート情報（危険度の高いウイルスに対するセキュリティパッチやアップデートモジュール）を、NECからインターネット経由でお知らせするサービスです。このパソコンでインターネット接続できるようになってから、新しい情報が発表されるたびに自動的に届くようになります。

121ポップリンクの設定は、あとから利用しないように変更することもできます。

パソコンの設定
NEC
設定が完了しました。
右下の[完了]ボタンをクリックしてください。
完了

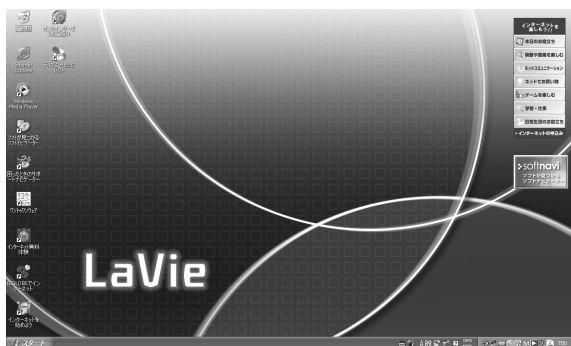
この画面に変わったら、➡ をクリック

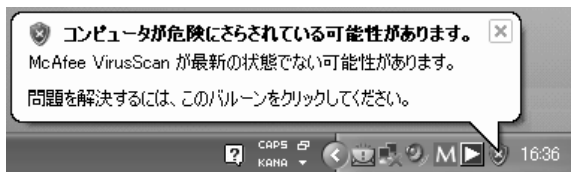
2 サポートサービスの映像を見る

このパソコンの３つのサポートサービスを紹介する映像が流れます。映像が終了したら、「完了」をクリックしてください。
パソコンの電源が切れ、自動的に再度電源が入ります（再起動）。

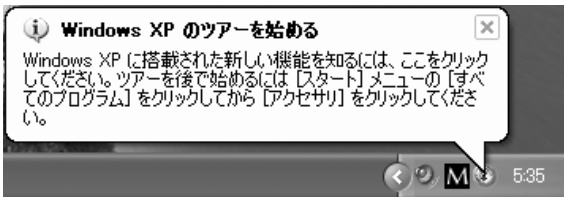
ここで一段落

● パソコンを使い始めるときの画面を見ておこう

再起動後、「システムの復元ポイントの設定」画面が表示されます。しばらくすると、もう一度再起動します。
ここまでの操作で、パソコンに自分の名前などを登録する、最初のセットアップ手順は一段落です。次回から、パソコンの電源を入れると、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。

複数のユーザーを登録している場合、左の画面が表示される前に、使う人の名前を選択する画面が表示されます。

画面右下に次のようなメッセージが表示される場合があります。

これは、このパソコンに入っているウイルス対策ソフト「マカフィー・ウイルススキャン」が最新の状態ではない可能性があることをお知らせするものです。「マカフィー・ウイルススキャン」のアップデート機能を使って、ソフトを最新の状態にする必要があります。手順については、「サポートナビゲーター」-「つながった後のインターネット」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトをアップデートする」をご覧ください。
なお、このメッセージは、一定期間アップデートを実行していないと、再度表示されます。

また、「McAfee VirusScan が無効になっています」というメッセージが表示される場合があります。「マカフィー・ウイルススキャン」は、ご購入時の状態ではウイルスの侵入を監視する設定になっていますが、その機能が無効になっていないかどうか確認してください。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「つながった後のインターネット」-「ウイルス感染の防止」-「未然に感染を防ぐには」をご覧ください。

パソコンの操作に慣れていないかたへ

画面右下に「Windows XP のツアーを始める」と表示されることがあります。
Windows XPの新機能を紹介するものですが、パソコンの操作に慣れてから見ることをおすすめします。なお、この表示はしばらくすると自動的に消えます。

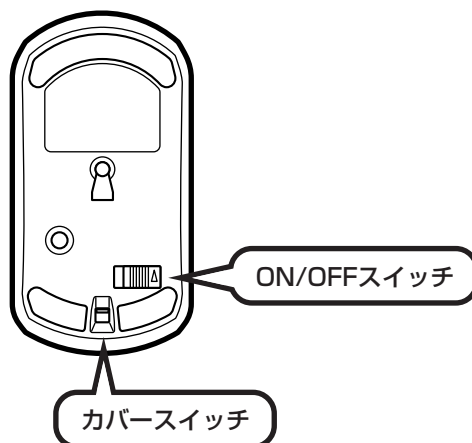
マウスを使う準備をする

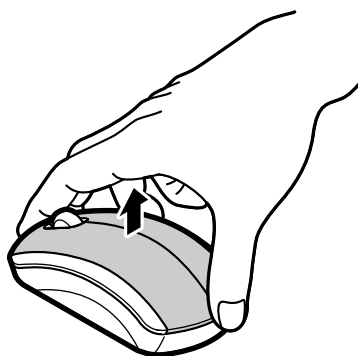
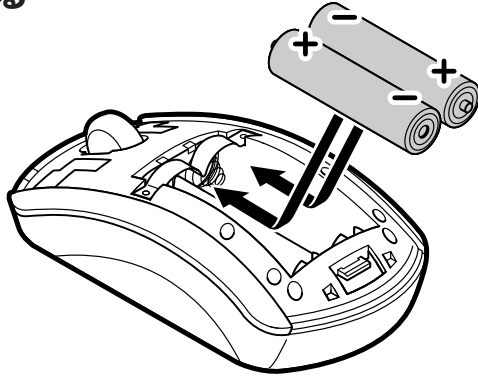
マウスが添付されているモデルは、必要に応じてマウスを使うことができます。Bluetoothマウス添付モデルとUSBミニマウス添付モデルで、使用する準備の手順が違います。

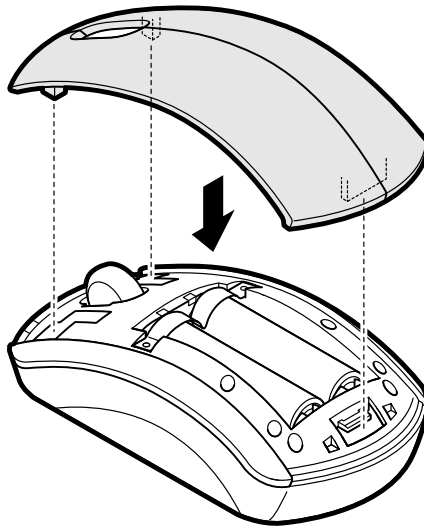
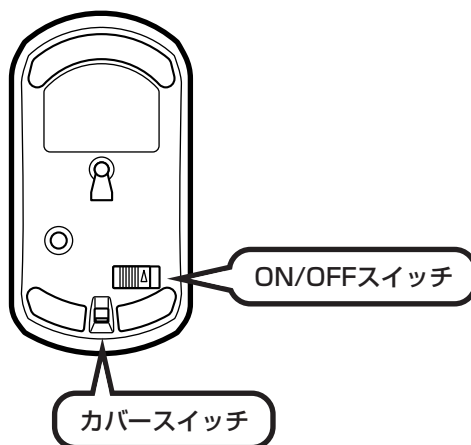
Bluetoothマウス添付モデルの場合

Bluetoothマウスを使用するには、まずマウスに乾電池を入れます。次に、パソコン側で接続の設定をします。

1 マウスに乾電池を入れる

1 マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にし、カバースイッチを「RELEASE」にする

2 カバーを上に持ち上げて外す

カバーは片方だけ持ち上げると外れにくくなります。上下同時に持ち上げるようにしてください。

3 乾電池を入れる

4 カバーをもとどおりはめる

カバー上下のツメが穴に入るようにはめてください。

5 マウス底面のカバースイッチを「LOCK」にし、ON/OFFスイッチを「ON」にする

・Bluetoothマウスの電池寿命は、ご使用の環境や方法にもよりますが、連続して操作した場合アルカリ電池で最大約40時間です。

・マウスを長時間使わないときは、マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

・市販の単3形充電池も使用できます。マウスの使用時間が多い場合は、充電池の使用をおすすめします。

2 Bluetoothマウスを接続する

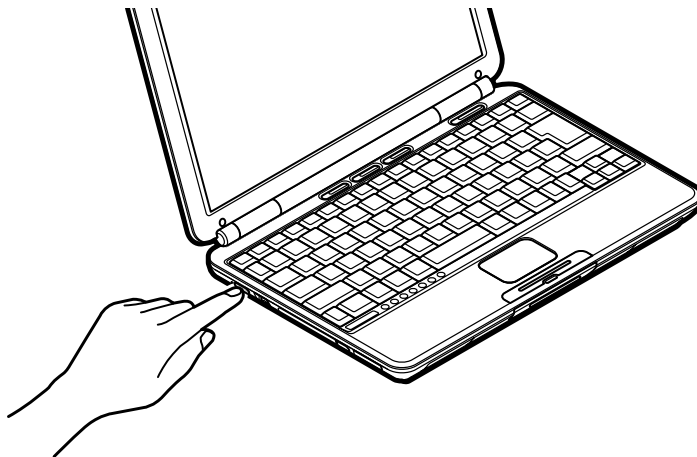
Bluetoothマウスを使用するには、ドライバを組み込む（インストールする）必要があります。手順を進めていく途中で、何回か「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されますので、次のように操作してください。

1 「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか？」画面で「いいえ、今回は接続しません」を選択して「次へ」をクリック。

2 次の画面で「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択して「次へ」をクリック。

3 「Windowsロゴテストに合格していません」画面が表示された場合には、「続行」をクリック。

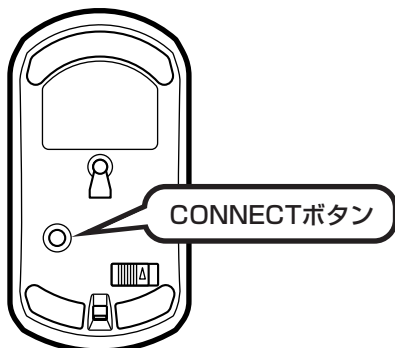
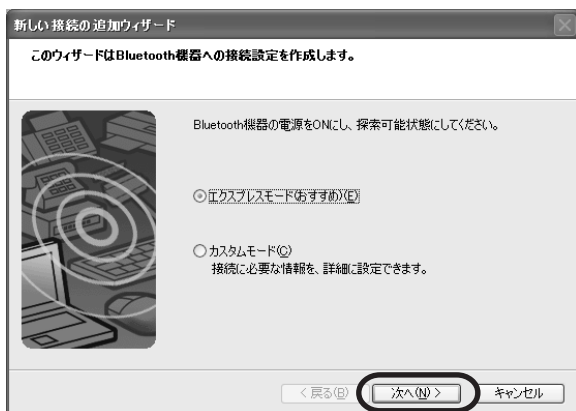
4 「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました」が表示されたら「完了」をクリック。インストールが終了します。

1 ワイヤレススイッチを押す

ワイヤレスランプ（•ꞩ）が点灯します。

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Bluetooth」-「Bluetooth設定」をクリック

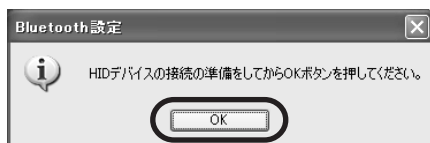
次の画面が表示されます。

表示されない場合は、画面右下の（Bluetooth Manager）を右クリックし、「新しい接続の追加」をクリックしてください。

3 マウス底面の「CONNECT」ボタンを押す

4 「エクスプレスモード(おすすめ)」を選択して、「次へ」をクリック

5 「NEC Bluetooth Mouse」が表示されたらクリックして選択し、「次へ」をクリック

「NEC Bluetooth Mouse」が表示されない場合は、マウス底面の「CONNECT」ボタンを押してすぐに「更新」をクリックしてください。

6 Bluetoothパスキー(PINコード)の入力を求める画面が表示された場合は、何も入力せず「OK」をクリック

7 「OK」をクリック

接続名称の設定情報を変更する画面が表示されます。自分のわかりやすい名前や任意のアイコンに変更することができます。そのままでもかまいません。

8 「次へ」をクリック

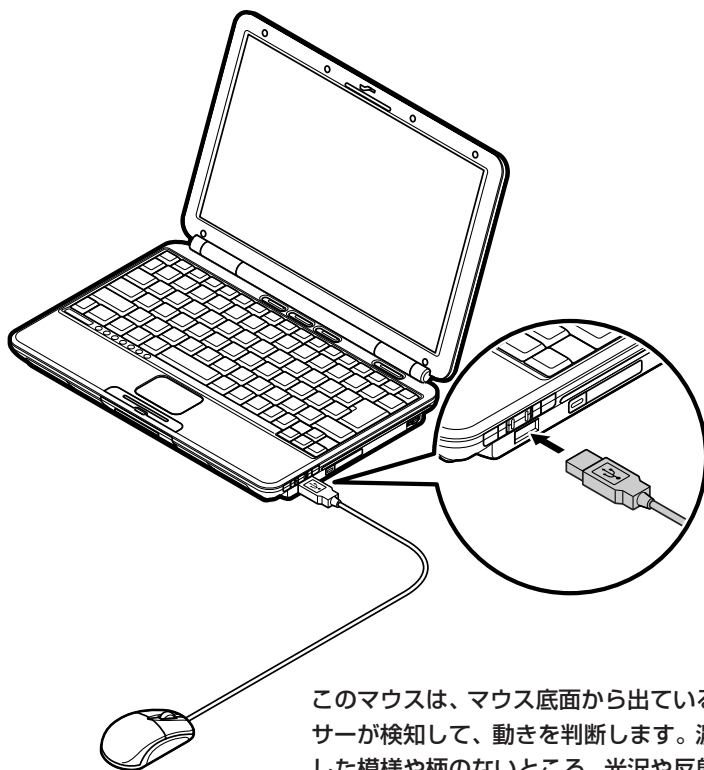
9 「完了」をクリック

これでBluetoothマウスを使えるようになります。
このマウスは、マウス底面から出ている赤い光をセンサーが検知して、動きを判断します。濃淡のはっきりした模様や柄のないところ、光沢や反射のないところで使うと、センサーが光を検知しやすく、快適に動きます。

マウスがうまく動作しないときは、『活用ブック』の「困ったときの解決法」をご覧ください。

次回からは、Bluetoothマウスを動かしたり、ボタンをクリックしたりすると自動的に接続されます。再接続には数秒かかる場合があります。
Bluetooth機能について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「Bluetooth機能」をご覧ください。
マウスの設定については、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「マウス」をご覧ください。

USBミニマウス添付モデルの場合

マウスのプラグのが上を向くようにして、パソコンのUSBコネクタに差し込んでください。
どのUSBコネクタに差し込んでもかまいません。

このマウスは、マウス底面から出ている赤い光をセンサーが検知して、動きを判断します。濃淡のはっきりした模様や柄のないところ、光沢や反射のないところで使うと、センサーが光を検知しやすく、快適に動きます。

USBマウスを動かすと、画面の矢印が動きます。
うまく動かないときは、一度プラグを抜いて、もう一度差し込んでください。

マウスの設定については、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「マウス」をご覧ください。

お客様登録のお願い

お客様登録はこれからパソコンを安心・快適にお使いいただく上で非常に重要です。NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」では、お客様登録されたかたに充実したサポート・サービスを提供しております。この機会に是非ご登録ください。

登録料・会費無料

ご登録の特典

特典１　電話サポート

商品についての電話相談窓口「121 コンタクトセンター」をご利用いただけます。
詳しくは『121ware ガイドブック』をご覧ください。

特典２　メールサービス

ご利用製品のサポート情報やキャンペーンのご案内などをメールマガジンにてお届けいたします。
詳しくは『121ware ガイドブック』をご覧ください。

特典３　インターネットサポート・サービス

121ware.com で「ログイン ID」を取得していただきますと、さまざまなサポート・サービスをご利用いただけます。詳しくは『121ware ガイドブック』をご覧ください。
ログインIDは、「121ware.com」(http://121ware.com/)およびNECショッピングサイト「NEC Direct」(http://www.necdirect.jp/) で共通にご利用いただける ID です。取得方法については『121ware ガイドブック』をご覧ください。

◆ 121ware.com でご利用いただけるサポート・サービス

ログインIDをご登録いただくと…	お客様とNECとのコンタクト履歴がわかる！	電話サポートがよりつながりやすく！	買い取りサービスの申し込みができます！	
ログインIDとE-mailアドレスをご登録いただくと…	121オリジナルメールマガジンをお届け！	「NEC Direct」※でお得にお買い物！	※日本電気(株)が運営するショッピングサイトです。	
ログインIDと保有商品をご登録いただくと…	保有商品の情報をすばやくGET！	保有商品に関するQ&A情報をすばやくGET！	保有商品に合うモジュールをすばやくGET！	パソコンを最新の状態に！「自動アップデート」
他にもいろいろなサービスが！	フォーラムでコミュニケーション！	インターネットから電話サポート予約サービス！	お役立ち情報フォローアップメールサービス！	

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの時に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる際に必要な「ログインID」を取得してください。
ご登録いただくことでお客様にあったサポート・サービスをご提供させていただきます。

インターネットによる登録をおすすめします。
「121wareお客様登録番号」と「ログインID」を同時に取得でき、すぐにインターネットサポート・サービスが受けられます。
まだインターネットをお使いになれないお客様にはFAX登録をご用意しております。ただし、FAXからでは「121wareお客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサポート・サービスがご利用いただけません。
インターネットが使えるようになり次第、「ログインID」の取得をおすすめします。

インターネットによる登録

登録の前に、インターネット接続の設定が必要です。設定の方法については、このマニュアルの第5章または第6章をご覧ください。

インターネットに接続して、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウント（http://121ware.com/my/）から登録します。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

「FAX」による登録

FAX用紙はNECパソコン情報FAXサービスから取り出してください。

お手持ちのFAXから「0120-977-121」（フリーコール）に電話します。ご希望の窓口案内のアナウンスが流れますので、FAX情報サービス窓口である9番を押します。
FAX情報サービスにつながりますので、アナウンスにしたがい、BOX番号7612と#を押し、お客様登録用紙を取り出してください。必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。

パソコンを安全に使うための設定を行う

ポイント

- インターネットを利用するときには不可欠
- Windows を最新の状態に
- ウイルス対策ソフトを最新の状態に

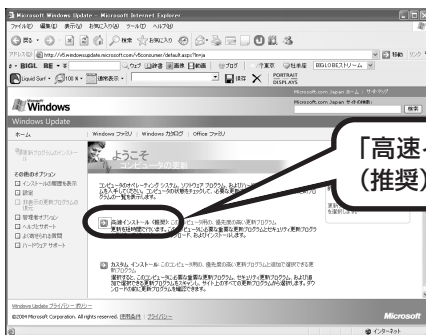
パソコンやインターネットを安全に使うために

パソコンの誤動作や内部のデータ破壊を引き起こす、コンピュータウイルスなどの不正プログラムの被害が多くなっています。電子メールのやりとり、インターネット経由のソフト入手、他人から受け取ったディスクの使用などが原因となって、知らないうちに不正プログラムがパソコンに侵入することもあります。これらの被害を防ぐには、定期的に次の対策を行ってください。

Windowsを最新の状態にする

「Windows Update」を使用すると、インターネット経由で Windows を最新の状態に保つことができます。定期的に（月に１回程度）実行するようにしてください。
また、Office 2003 モデルをお使いの場合は、Office のアップデートも行ってください。

この設定を行う前に、パソコンをインターネット回線に接続して、インターネットの設定をすませてください。
インターネットの設定方法については、第５章または第６章をご覧ください。

「スタート」－「すべてのプログラム」－「Windows Update」をクリック

インターネットに接続して、「Windows Update」の画面が表示されます。

通信速度などにより、この画面が表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。

このあとの操作は、画面に表示される指示をよく読んで進めてください。

Windows 最新モジュールのインストール（パソコンへの組み込み）が終了し、パソコンを再起動するようメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。パソコンが再起動すると、Windows が最新の状態に更新されています。
Office のアップデートをする場合は、上記の画面で「Office ファミリ」をクリックし、画面の説明を見ながら操作してください。

ウイルス対策ソフトを最新の状態にする

アップデート機能を使う

このパソコンには、ウイルス対策ソフト「マカフィー・ウイルススキャン」が入っていて、パソコンをウイルスから守ることができます。しかし、ウイルスは日々新しいものが出てくるため、アップデート機能でソフトを最新の状態にしておく必要があります。
アップデート機能を使うには、インターネット接続の設定が必要です。インターネットの設定方法については、第５章または第６章をご覧ください。

このパソコンの「マカフィー・ウイルススキャン」では、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料でセキュリティサービスのアップデートが受けられます。90日間の無料期間を過ぎると、それ以降のアップデートは有料の契約が必要になりますが、ウイルスチェックの機能は引き続き使うことができます（ただし、新しいウイルスに対応することができなくなるため、ぜひ有料のアップデートサービスを契約して定義ファイルを更新することをおすすめします）。
「マカフィー・ウイルススキャン」のアップデート機能について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「つながった後のインターネット」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトをアップデートする」をご覧ください。
有料のサービスについて詳しくは、無料サービスの開始時に登録したメールアドレス宛に配信されるメールなどの案内にしたがってご確認ください。

アップデートを行っていないと、画面右下に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」というメッセージが表示されます。定期的にアップデートするようにしてください。

その他のウイルス対策ソフトを使う

「ソフトチョイスサービス」を利用すると「マカフィー・ウイルススキャン」以外のウイルス対策ソフトを使うことができます。

「マカフィー・ウイルススキャン」以外のウイルス対策ソフトを使用する場合は、必ず「マカフィー・ウイルススキャン」を削除（アンインストール）してください。

インターネットのセキュリティ対策について知る

インターネットやメールを使い始めると、とても楽しく便利な反面、危険も多くあります。ウイルス（パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムのこと）や、外部からの不正アクセスといった被害にあわないように、前もって対策が必要です。パソコンの画面で見るマニュアル「サポートナビゲーター」では、ウイルスとは何か、インターネットのセキュリティ対策などについて詳しく説明しています。デスクトップにある（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリックしてご覧ください。インターネットを本格的に使い始める前にぜひお読みください。

大切なデータはバックアップを取る

バックアップとは

パソコンに内蔵されているハードディスクには、大切なデータが保存されています。このハードディスクは、ちょっとした衝撃によって壊れたり、長期間使用するうちに突然動かなくなったりすることがあります。このような場合、ハードディスクを交換したり再セットアップすることでパソコンをご購入時の状態に戻すことはできますが、大切なデータが失われてしまいます。万一のアクシデントに備えて、データの控えを残しておきましょう。データの控えのことを「バックアップ」と呼びます。

DVD-RやCD-Rなどにもバックアップを取っておく

このパソコンに搭載されている「バックアップ-NX」というソフトを使って、バックアップを取ることができます。

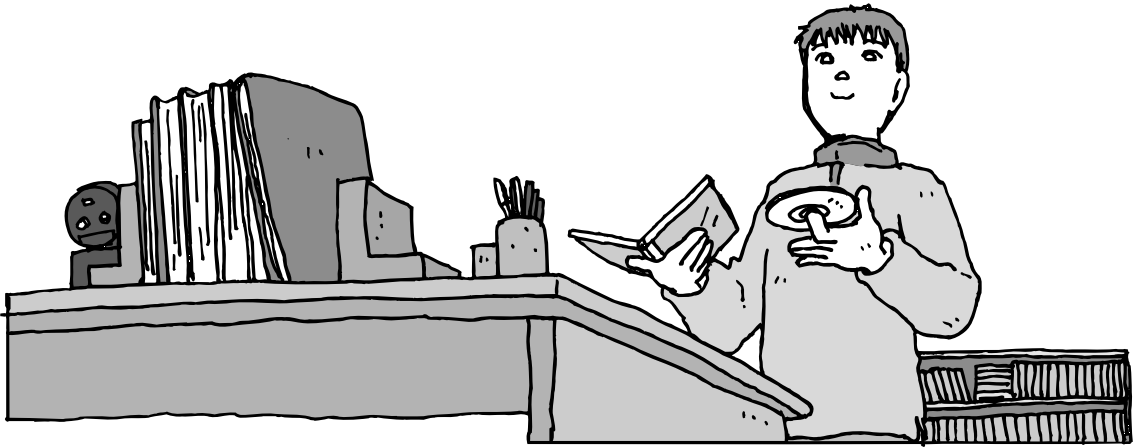
ただし、ハードディスクのDドライブという場所にバックアップを取っておいても、ハードディスク自体が故障したときは、データを元に戻すことができません。別売のDVD-RやCD-Rなどにもバックアップを取っておくことをおすすめします。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成しておく

トラブルがどうしても解決できないときに行う「再セットアップ」は、通常、ハードディスク内にある再セットアップ用データを使います。けれども、ハードディスクが故障した場合は、この方法で再セットアップすることができなくなります。そのような場合に備え、再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成しておき、そのディスクから再セットアップすることができるようにしておきましょう。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する方法については、154ページをご覧ください。

第4章

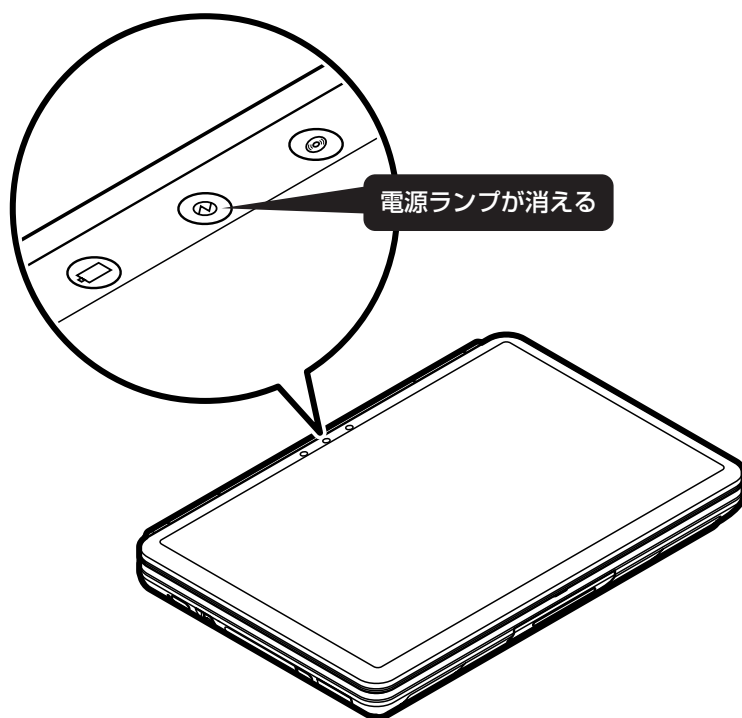
基本中の基本の操作

電源の入れ方／切り方、CD-ROM や DVD のディスクをセットする方法など、このパソコンを使うときの最も基本的な操作を説明します。インターネットの接続や設定に進む前に、この章に目をとおしておくとよいでしょう。

電源の切り方

パソコンの電源を切るときは、NXパッドやマウスで操作します。本体のスイッチやボタンを押すのではありません。

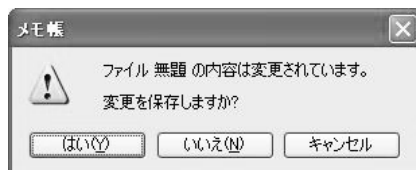
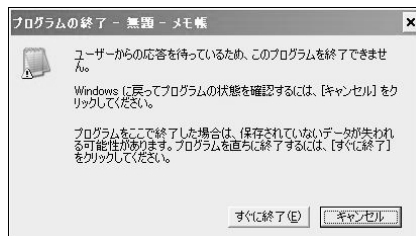
1 画面を見ながら矢印を動かして、電源を切る

2 電源が切れたことを確認する

数秒後に、ディスプレイの画面が暗くなり、自動的に電源が切れます。ふたを閉じて電源ランプが消えていることを確認してください。

電源が切れるまでに少し時間がかかることも

パソコンの状態によっては、「電源を切る」をクリックした後、電源が切れるまでに数秒以上の時間がかかることもあります。あわてずにお待ちください。

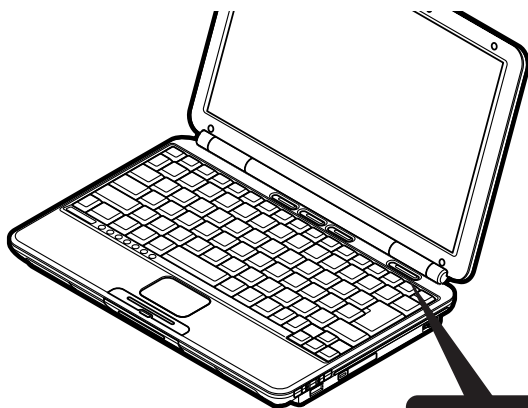
保存していない文書があるとき

ワープロなどのソフトを使っていて作成中の文書がある場合、文書を保存してから終了するか、画面にメッセージが表示されることがあります。

そのままにしていると、数秒後、さらにメッセージが表示されます。
「プログラムの終了」と左上に書かれた画面が表示されたら、「キャンセル」をクリックすることをおすすめします。使用中のソフトを終了させてから電源を切るようにしましょう。

画面の操作で電源が切れないとき

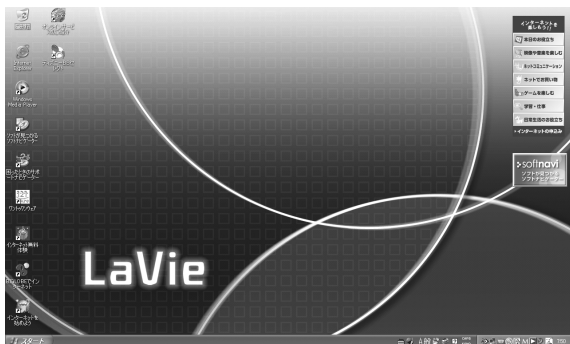
画面の表示が動かなくなったり、操作の途中でＮＸパッドやマウス、キーボードが反応しなくなったりして、パソコンの電源が切れなくなってしまうことがあります。その場合、パソコン本体の電源スイッチを４秒以上押し続けると、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切ったときは、電源が切れてから５秒以上待ち、もう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れなおしてください。パソコンの電源が入ったら、改めて画面の操作で電源を切ってください。

パソコン本体の電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。何度も繰り返すと、パソコンが起動しなくなってしまうこともあるため、この方法で電源を切ることは、できるだけ避けてください。

電源の入れ方

電源スイッチを1秒程度押して電源を入れます。省電力機能が働いて画面に何も表示されていないときは、電源スイッチを押すと画面が暗くなる前の状態に戻ります。

1 電源スイッチを押す

プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

1～2分後に、パソコンを使い始めるときの画面が出てきます。

モデルによって、表示される画面の絵柄が異なります。

複数のユーザーを登録している場合、左の画面が表示される前に、使う人の名前を選択する画面が表示されます。

スタンバイ機能について

パソコンを使っているとき短時間だけ作業を中断したい場合、そのつど電源を切っていると、作業の再開に時間がかかってしまいます。「スタンバイ機能」を利用すると、パソコンの消費電力を抑えながら、すぐに作業を再開することができます。

20分以上使わないと自動的に画面が消える（ご購入時）

パソコンを操作していない時間が20分以上（バッテリのみの場合は5分以上）たつと、画面の表示が消えて暗くなり、電源ランプが点滅します。この状態を「スタンバイ状態」と呼びます。ご購入時には、自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。
スタンバイ状態では、消費電力を抑えるため、パソコン本体に内蔵されているハードディスクの電源も自動的に切れます。

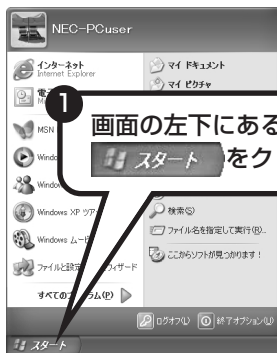
暗くなった画面をもとに戻すには

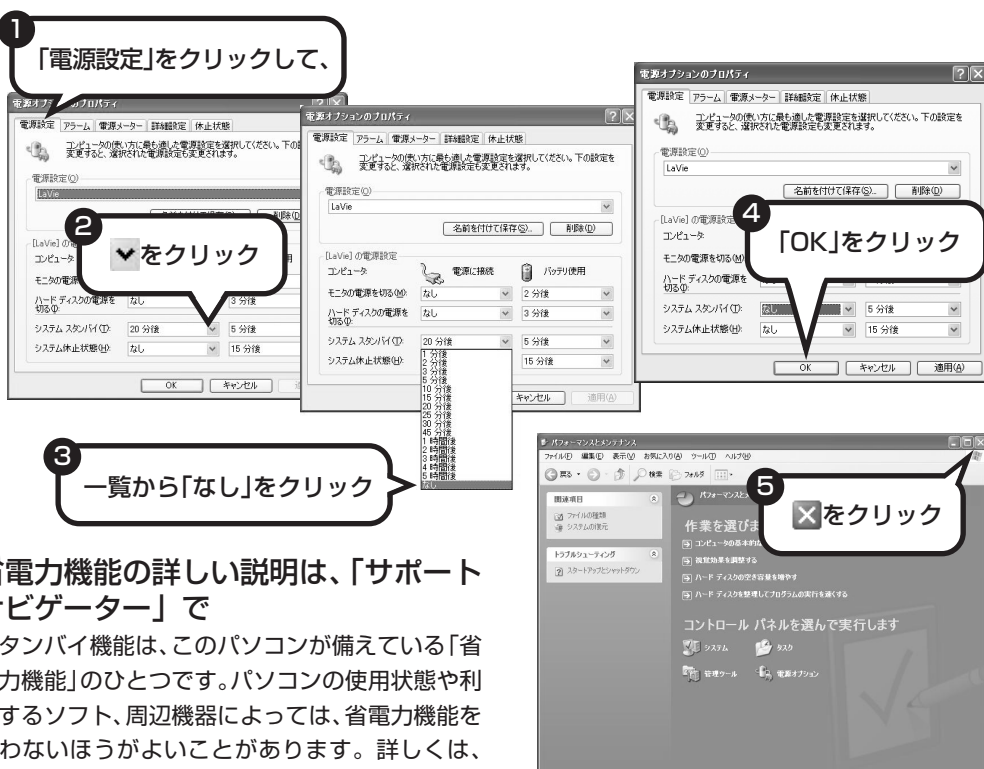
まず、キーボードのキー（【Shift】キーなど）を押してください。キーボードのキーを押しても画面が暗いままのときは、電源スイッチを軽く1回押してください。

電源スイッチを押し続けないでください。4秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

自動的にスタンバイ状態にならないようにするには

次の手順で、自動的にスタンバイ状態にならないように設定を変えることができます。

1 コントロールパネルの画面を表示する

2 「パフォーマンスとメンテナンス」､「電源オプション」の順にクリック

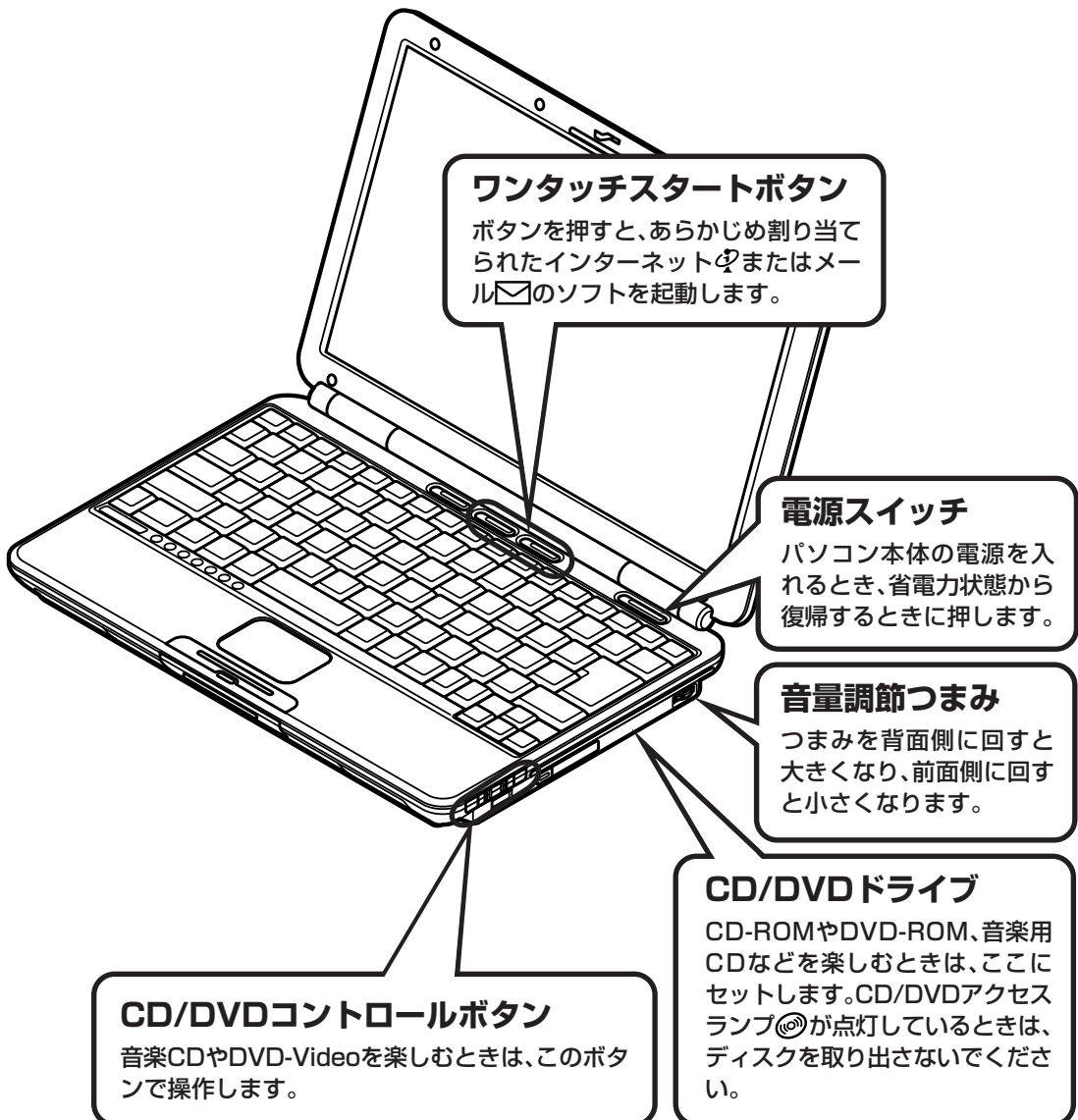
3 「電源設定」で「システムスタンバイ」を「なし」に変更

省電力機能の詳しい説明は、「サポートナビゲーター」で

スタンバイ機能は、このパソコンが備えている「省電力機能」のひとつです。パソコンの使用状態や利用するソフト、周辺機器によっては、省電力機能を使わないほうがよいことがあります。詳しくは、「サポートナビゲーター」に説明があります。

これで、設定の変更は終わりです。

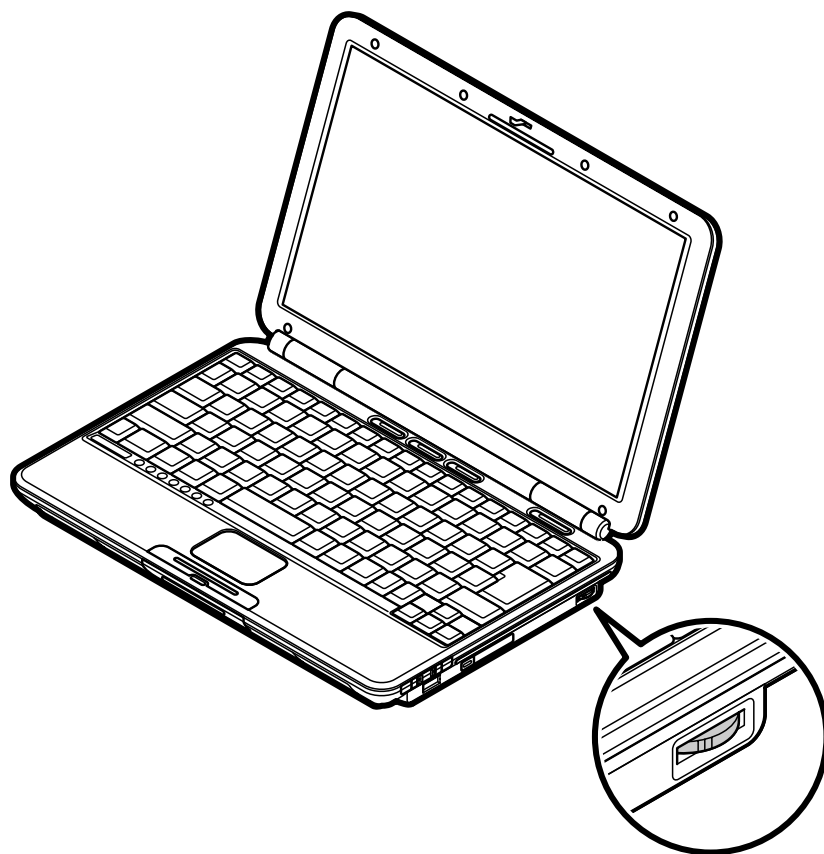
各部の名称と役割

ここでは、基本的なボタンなどに限って説明します。詳しい情報を知りたいときは、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」をご覧ください。

パソコン本体

音量を調節する

パソコンの音が大きすぎる、小さすぎると感じたときは、音量を調節できます。

音量を調節する方法

音量調節つまみを背面側に回すと大きく、
前面側に回すと小さくなります。

CD-ROMやDVDの扱い方

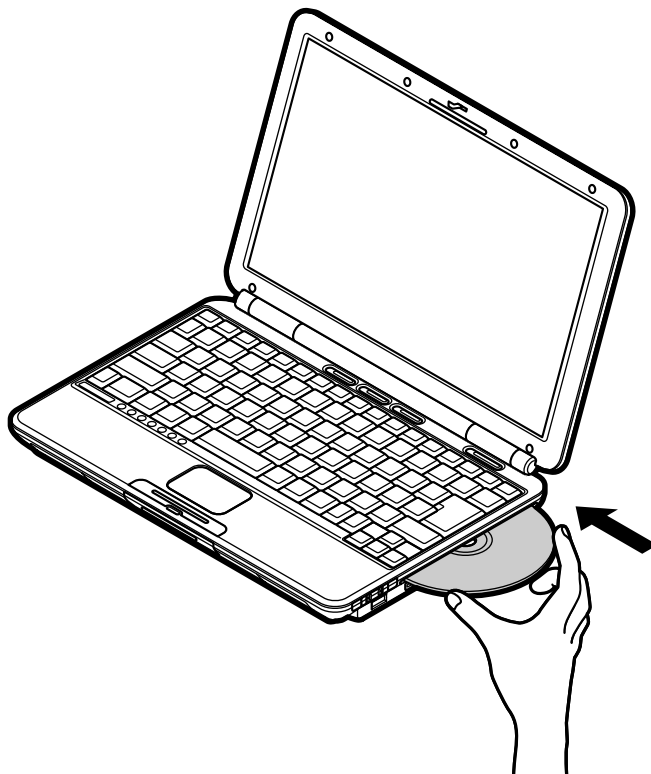
CD-ROMやDVDなどをパソコンで楽しむときの取り扱い上の注意、入れ方と出し方を説明します。

- CD/DVD ドライブ内のレンズには触れないでください。
- ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、使用時の振動や故障の原因となります。
- Windows 95/98/Me対応のCD-ROMは、このパソコン（Windows XP）で使えないものがあるため、ご購入前に確認してください。
- Macintosh専用と表示されたCD-ROMは使えません。
- このパソコンで使えるディスクについて、詳しくは「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「CD/DVD ドライブ」をご覧ください。

ディスクを取り扱うときの注意

以下の注意事項を守ってください。

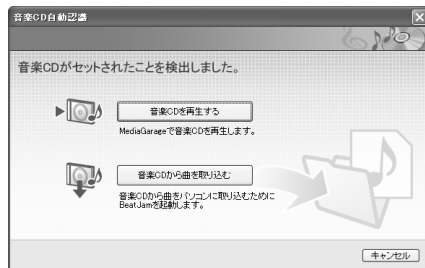
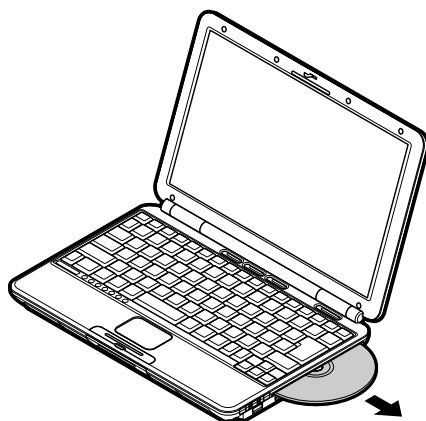
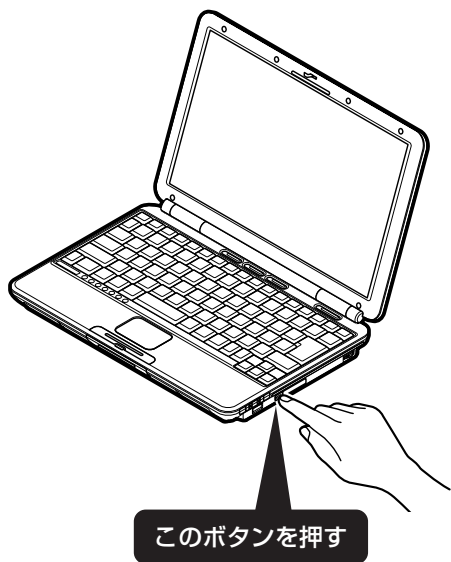
- 信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないように。
- ディスクにラベルを貼ったり、傷つけたりしない。
- ラベル面に文字を書くときは、フェルトペンなどペン先の柔らかいものを使う。
- ディスクの上に重い物を載せない。ディスクを曲げたり落としたりしない。
- 汚れたときは、柔らかい布で内側から外側に向けて拭く。
- 汚れが落ちにくいときは、CD専用のスプレーを使う。
- ベンジン、シンナーなどは使わない。
- ゴミやホコリの多い場所で使わない。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しない。

1 ディスクを入れる

ディスクのデータ面（文字などが印刷されていない面）を下にして、挿入口にディスクを差し込みます。ある程度、ディスクを差し込むと、自動的に本体の中に取り込まれます。

 ディスクは、パソコンの電源が入っているときのみ入れることができます。

こんな画面が出てきたら

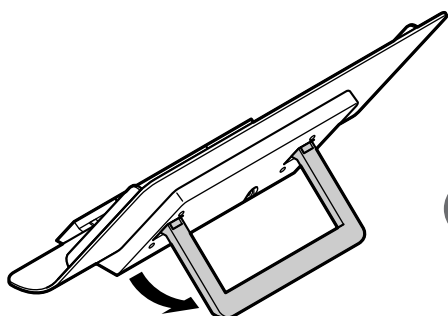
音楽CD（オーディオCD）を入れてからしばらくすると右のような画面が表示されることがあります。やりたいことを選んでクリックしてください。

※はじめて音楽CDを入れたときは、「「音楽CD自動認識機能」のご案内」が表示されます。利用する状況にあわせて項目を選び、「OK」をクリックしてください。

2 ディスクを取り出す

ディスクが自動的に出てくるので、取り出してください。

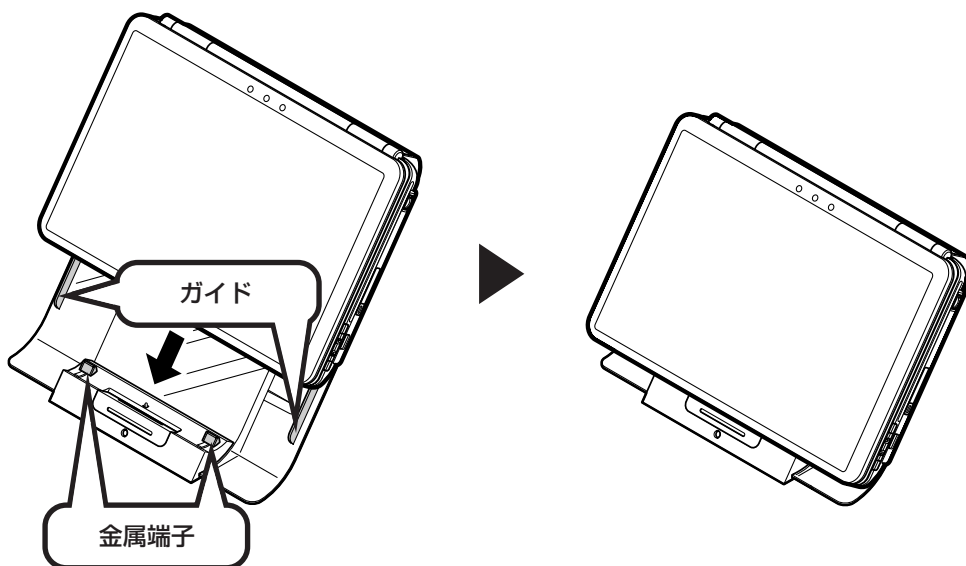
スタンドの使い方

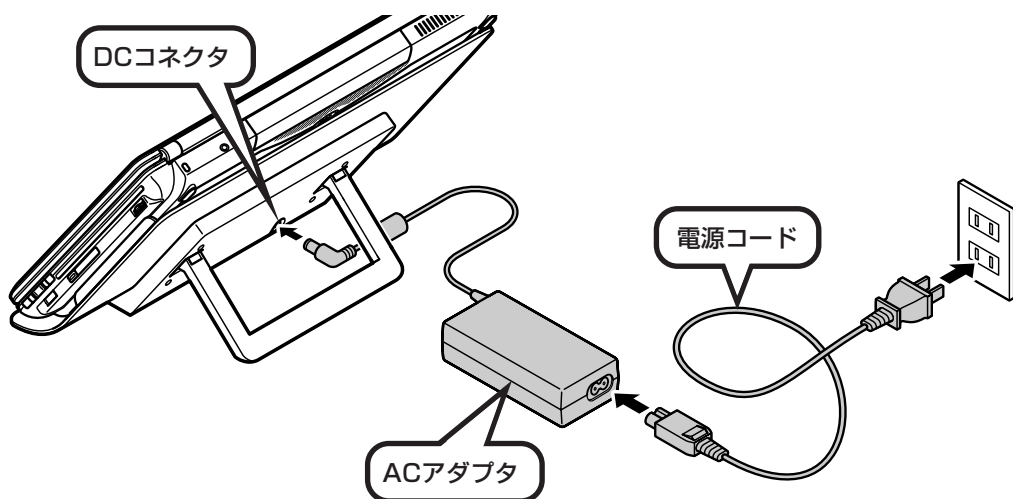
スタンドを使って充電したり、スタンドに立てかけたままDVDや音楽CDを楽しむことができます。

スタンドを使って充電する方法

1 スタンドの脚を開き、立てる

・机上など平らなところに設置して、使用してください。

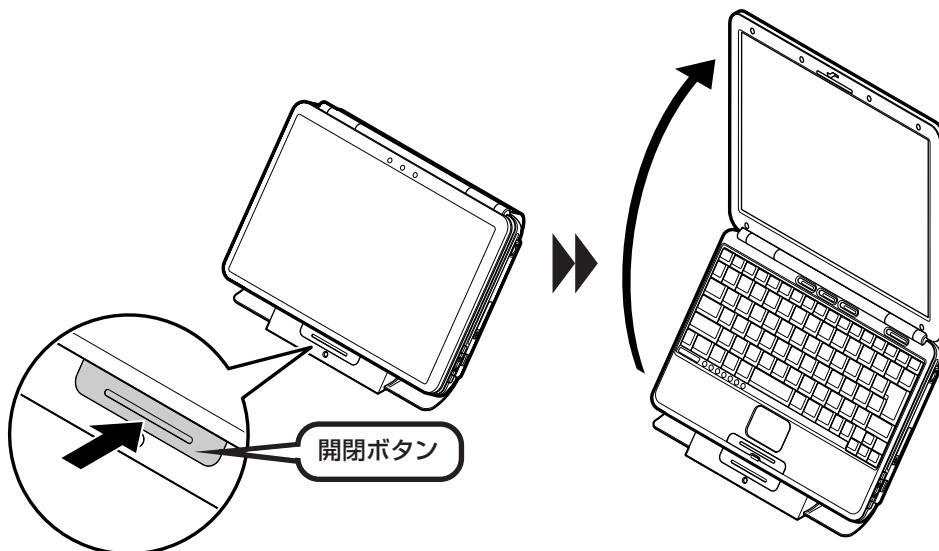
・スタンドの脚部は、最後までしっかり開いて使用してください。

2 本体を図のようにガイドに沿わせて、金属端子にはめ込む

本体はスタンドの奥までしっかり挿入してください。

3 スタンド背面のDCコネクタにACアダプタを接続する

プラグをコンセントに差し込むと、スタンド前面の電源ランプが点灯します。また、本体のバッテリ充電ランプが点灯して、本体への充電がはじまります。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプが消灯します。

- バッテリ容量が95％以上のときにはランプが点灯せず、充電状態にならない場合があります。
- 本体をスタンドに乗せた状態で、スタンドを傾けたり、引っ張ったりしないでください。
- 本体がしっかりスタンドの金属端子に挿入されていないと、充電されません。

本体をスタンドに立てかけたまま CDやDVDを楽しむ方法

スタンド前面の開閉ボタンを押すと本体のふたを開けることができます。

Windowsを起動しなくてもCDやDVDを楽しめるインスタント機能については、『インスタント機能ガイド』をご覧ください。

本体のスイッチ類やディスプレイを開閉するときは、手で本体を支えて操作してください。

パソコンがはじめてのかたへ

このパソコンに入っている「パソコンのいろはⅡ」を使って、基本操作を学んでみましょう。パソコンを使うのがはじめてというかたは、インターネットを始める前にキーボードで文字を入力する練習をしておくことをおすすめします。

「パソコンのいろはⅡ」で操作を学ぶ

このパソコンには、基本的なことからパソコンの操作が学べる「パソコンのいろはⅡ」が入っています。「パソコンのいろはⅡ」では、文字の入力、電子メールのやりとり、ホームページを見る方法などを学ぶことができます。パソコンの基本操作をおぼえたいかたは、「パソコンのいろはⅡ」で学習を始めてみましょう。

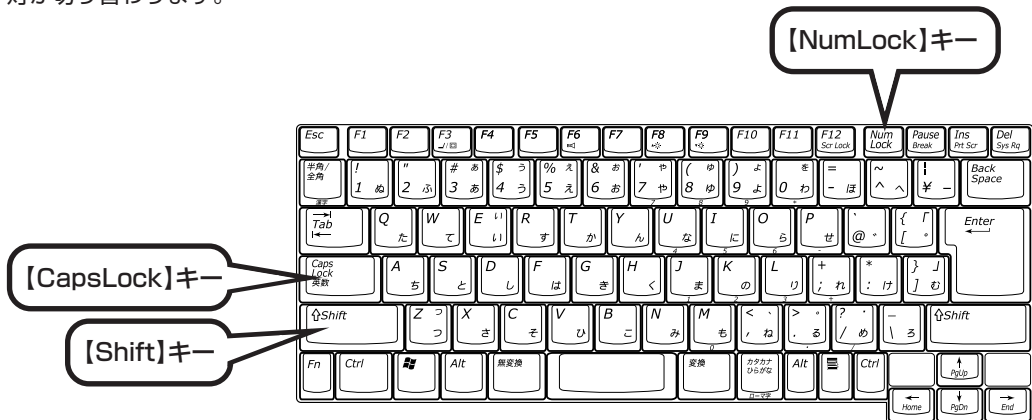
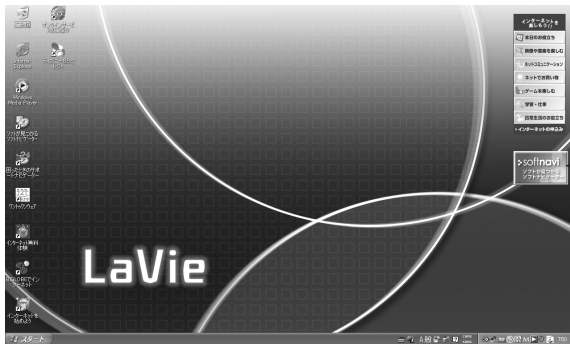
ほかのソフトが起動しているときは、「パソコンのいろはⅡ」を始める前にすべて終了させてください。

1 ランプを確認する

のランプが消えていること

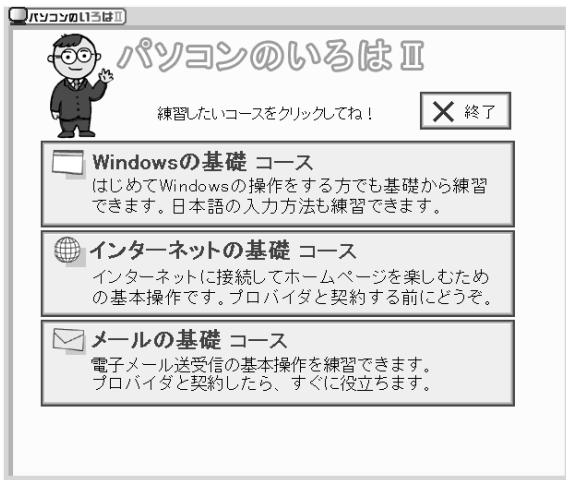
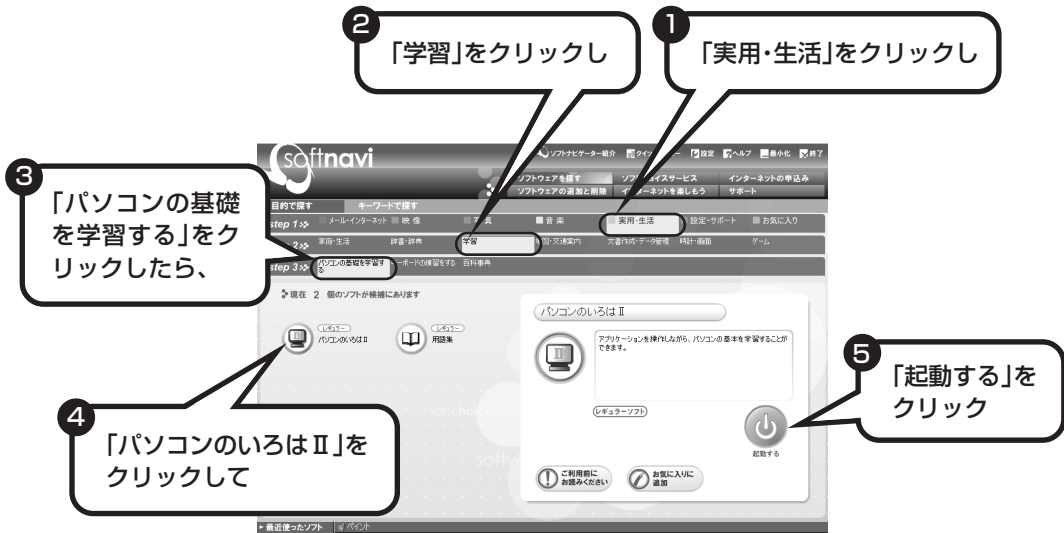
このランプが点灯していると、前面に数字や演算記号のあるキーは、数字や演算記号を入力することになり、キー上面の文字は入力されません。
【NumLock】キーを押すと、ランプの点灯 / 消灯が切り替わります。

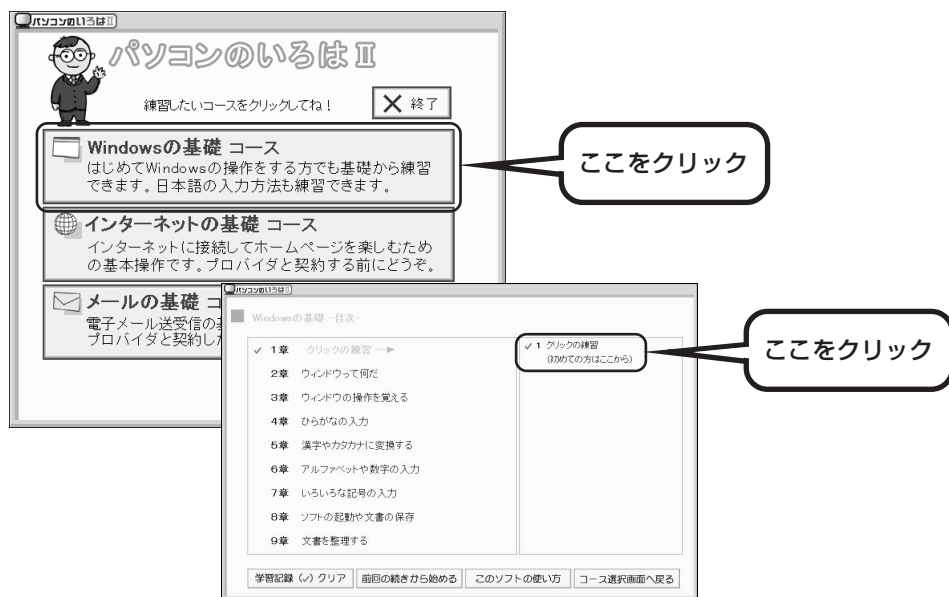
のランプが消えていること

このランプが点灯しているとアルファベットが大文字で入力されてしまいます。【Shift】キーを押したまま【CapsLock】キーを押すと、ランプの点灯 / 消灯が切り替わります。

2　ソフトナビゲーターを起動する

マウスの矢印を合わせて
クリック

ソフトナビゲーターとは

このパソコンに入っているソフトを見つけたり、使い始めるときに利用します。ソフトナビゲーターについて詳しくは、『活用ブック』をご覧ください。

3 「パソコンのいろはⅡ」を始める

「パソコンのいろはⅡ」の最初の画面が表示されます。

4 「Windowsの基礎コース」へ進む

パソコンを使うのがはじめてのかたは、「クリックの練習」から始めてください。1～2時間で文字の入力まで練習することができます。練習の途中で「パソコンのいろはⅡ」を終わることもできます。その場合、画面右上に表示されている［✕ 終了］をクリックしてください。画面中央に「パソコンのいろはⅡを終了します」と表示されるので、「OK」をクリックします。

「終了」をクリックしても「パソコンのいろはⅡを終了します」と表示されないときは、キーボードの【Esc】キーを押してから、再度「終了」をクリックしてください。

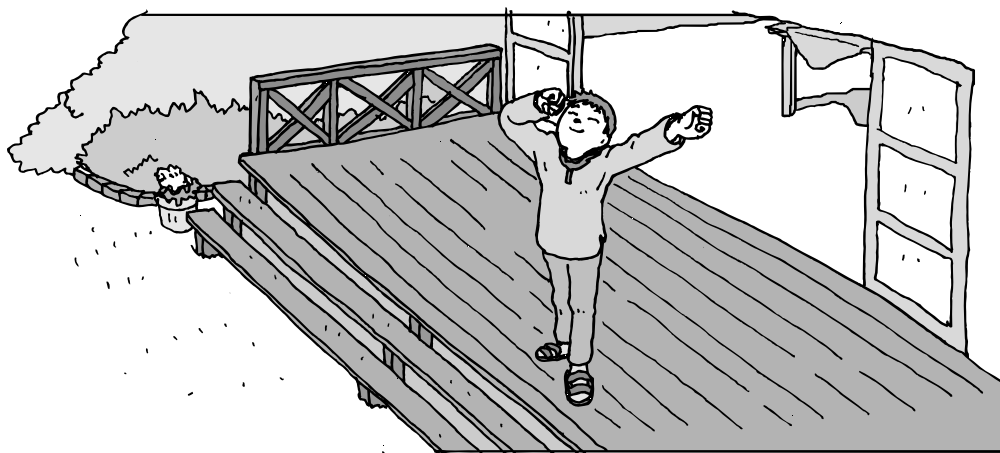
「メールの基礎コース」は、インターネットの設定が終わってから

「パソコンのいろはⅡ」には、次の３つのコースがあります。

・Windows の基礎コース
・インターネットの基礎コース
・メールの基礎コース

パソコンがはじめてのかたは、「Windowsの基礎コース」から順番に進めることをおすすめします。「メールの基礎コース」は、メールソフト「Outlook Express」の設定が済んでいないと練習することができません。Outlook Expressを使うには、まずプロバイダに加入して、インターネット接続の設定をする必要があります。加入がまだのかたは、プロバイダに加入して、インターネット接続ができるようにしてください。
プロバイダへの加入、インターネットの設定については、第５章をご覧ください。
Outlook Expressの設定については、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「Outlook Express」をご覧ください。

第 5 章

これからインターネットを始めるかたへ

インターネットを利用してホームページを楽しんだり、メールをやりとりするためには、パソコンを通信回線に接続し、インターネット接続業者（プロバイダ）に入会する必要があります。
ここでは、はじめて自分のパソコンでインターネットを始めるかたを対象に、接続や設定の手順を説明します。前に持っていたパソコンで、すでにインターネットを利用していたかたは、「第６章　パソコンを買い換えたかたへ」（105ページ）へ進んでください。

インターネットの魅力

インターネットは、わずかの間にものすごい勢いで普及が進んで、私たちの生活に身近なものになりました。

ホームページ

インターネットは情報の宝庫です。役所などの公共機関や大きな企業だけでなく、近所の商店や小さな工場まで、本当にいろいろな人たちが、自分のホームページを持つようになりました。電車の乗り継ぎや発車時刻をホームページで調べたり、バーゲンセールの目玉商品をホームページで確かめたりするなど、インターネットがあれば、生活のちょっとしたことが便利になります。

メール

インターネットを利用したメール(「電子メール」とか「eメール」ともいいます)を使うと、家族や友人、仕事や趣味の仲間たちと手軽に連絡することができます。日本全国どこでも、世界中のどこにいる人とでも、料金を気にせず用件を伝えられること。デジカメで取った写真などをメールと一緒に送信できること。相手が都合のよいときにメールを見ればよいので、時間帯を気にしなくてよいこと。このような便利さのために、いまでは、たくさんの人たちにとって、メールが欠かせない通信手段になっています。

まだまだある、インターネットの魅力

インターネットの通信回線を使って、格安の料金で市外電話や国際電話を利用することができる「IP電話」というサービスを利用することもできます。ホームページを経由して、買い物をしたり(「オンラインショッピング」といいます)、ソフトやデータを自分のパソコンに取り入れたり(「ダウンロード」といいます)、使う人それぞれにインターネットは活用されています。

いろいろある接続方法

インターネットを利用するための接続方法には、いろいろなものがあります。はじめに、ダイヤルアップ接続か、ブロードバンド接続かを決めましょう。

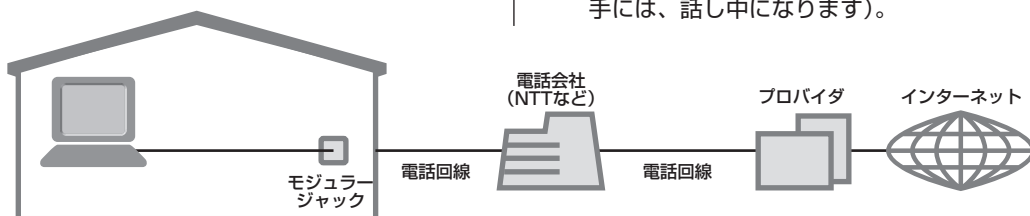
ダイヤルアップ接続

家庭にある一般の電話回線にパソコンを接続して、インターネットを利用します。このパソコンには、モデム（データを電話回線経由でやりとりできるように変換する装置）が内蔵されているため、添付のモジュラーケーブルを使って、いますぐにインターネットを始めることができます。別に新しい機器をご購入する必要はありません。また、接続した時間分だけ料金を支払うことができるため、利用頻度や利用時間が少ない場合には、いちばん安い料金でインターネットを利用することができます。

ダイヤルアップ接続の短所も知っておこう

けれども、このあとに説明する「ブロードバンド接続」と比べると、ダイヤルアップ接続には次のような短所もあります。このため、ホームページの利用頻度が少なく、メールを中心にインターネットを利用したいかたに向いています。

・通信速度が遅いため、ホームページがなかなか表示されないことや、動画などを再生できないことがある。

・パソコンでインターネットを利用しているときは、電話が使えない（電話をかけてきた相手には、話し中になります）。

ブロードバンド接続

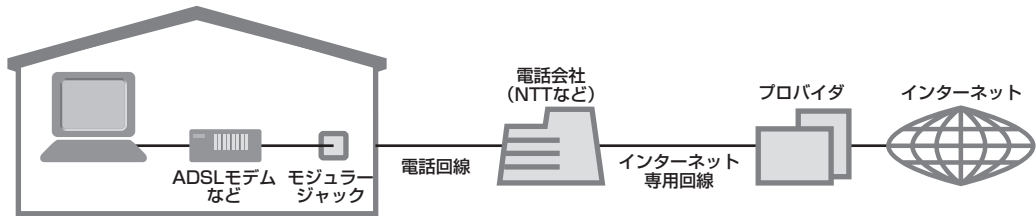
大量のデータを高速に受け取ることができる通信方式を使って、快適にインターネットを利用できるようにする接続方法です。次ページで説明するように、ブロードバンド接続にもいろいろな種類がありますが、おおよそ次のような特徴があります。

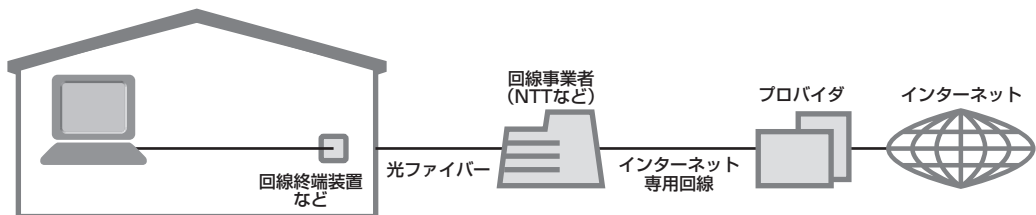
・いくらインターネットを利用しても、月額料金が変わらない（定額料金）。
・パソコンでインターネットを利用しているときも、電話が使える。
・接続するには、別の機器（ADSL モデムなど）が必要になる。
・回線の申し込みや工事が必要になることがある。
・住んでいる地域によっては、利用できないことがある。

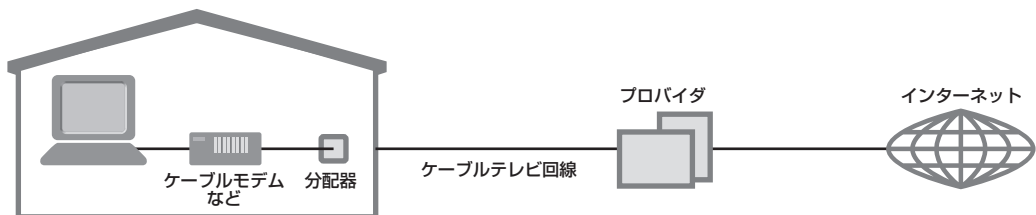
ブロードバンドにもいろいろある

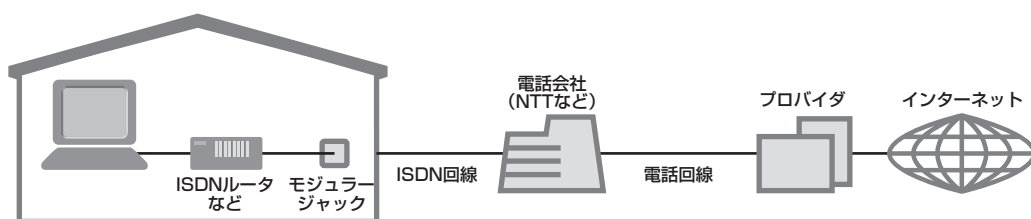
インターネットを高速、快適に利用できるブロードバンド接続には、次のような種類があります。

ADSL(エーディーエスエル)

家庭にある一般の電話回線とパソコンの間に、ADSLモデムなどの接続機器を入れることによって、高速な通信ができます。

FTTH(エフティーティーエイチ)

光ファイバーを使った回線を利用するもので、ほかのブロードバンド方式よりも高速に接続できます。サービスが提供されていない地域があり、利用料金もほかのブロードバンド方式よりは高めに設定されています。

CATV(ケーブルテレビ)

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。ケーブルテレビのサービスが提供されていない地域では利用できません。

ISDN回線でインターネットも利用できる

NTTのデジタル回線、ISDNに契約している場合、この回線を使ってインターネットを利用することもできます。通信速度は、アナログ回線を使ったダイヤルアップ接続より少し高速になる程度で、ブロードバンド接続ほどの速さを期待することはできませんが、電話とインターネットを同時に利用できます。また、料金も従量制（使った時間に応じて料金が変化）だけでなく、定額制（いくら使っても同じ金額）を選ぶこともできます。

ブロードバンド接続の流れ

ADSLの場合を例として、インターネットに接続するまでの流れを説明します。ダイヤルアップ接続するかたは、82ページの「アナログ回線に接続する」へ進んでください。

1 プロバイダや申し込みたいコース(料金プラン)を決める

プロバイダとは、インターネット接続業者のことです。とくに会社を決めていない場合、NECが提供するインターネットプロバイダBIGLOBEに加入することをおすすめします。

2 プロバイダに申し込む

このパソコンから直接申し込むことができます。まず、パソコンをアナログ回線に接続してから、83ページの手順に沿って操作を進めます。

3 ADSL回線の開通を待つ

ADSLは、回線をNTT東日本またはNTT西日本が提供するもの(フレッツ・ADSL)と、別の回線事業者(イー・アクセスやアッカなどという会社があります)が提供するものがあります。どこが回線を提供するかや、通信速度などによってコース(料金プラン)が分かれています。ADSLを利用できるか適合チェックを行ってから、必要に応じてADSL対応モデムの準備や電話回線の工事などを行います。申し込みから開通までは、通常、数週間かかります(BIGLOBEなどのプロバイダは、申し込んでからADSL回線が開通するまでの間、ダイヤルアップ接続でインターネットを利用できるようにしています)。

4 回線装置を接続して、パソコンの設定を変更する

ADSLモデムなどの回線装置をパソコンに接続して、パソコンの設定を変更します。

申し込みたいコース(料金プラン)を決めるには

多くのプロバイダは、ブロードバンド方式、回線提供業者、通信速度などの種類別に、たくさんのコース（料金プラン）を用意しています。あらかじめ、プロバイダのパンフレット（BIGLOBEの『インターネット活用ブック』など）を見て検討してください。また、お住まいの地域や建物の状況によって利用できないサービスがあります。申し込みたいコースが利用できるかどうか、プロバイダに問い合わせてください。また、集合住宅の場合は、オーナーや管理組合の承認が必要な場合があるので、こちらも確認してください。

ADSL以外の接続の場合

FTTH

NTT東日本および西日本が提供する「Bフレッツ」のコースを選んだ場合、光ファイバーの利用が可能か、NTTの担当者がコンサルティングを行います。詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

CATV

ケーブルテレビ局への申し込みが必要です。申し込み手続きやインターネット接続用機器の設置などについては、ご利用地域のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

ISDN

BIGLOBEの場合、ダイヤルアップコースの中にある「フレッツISDN」が該当します。これまでアナログ回線で電話を利用していたかたは、ISDN回線への切り替え工事を行い、TA（ターミナルアダプタ）などのISDN接続機器を設置する必要があります。

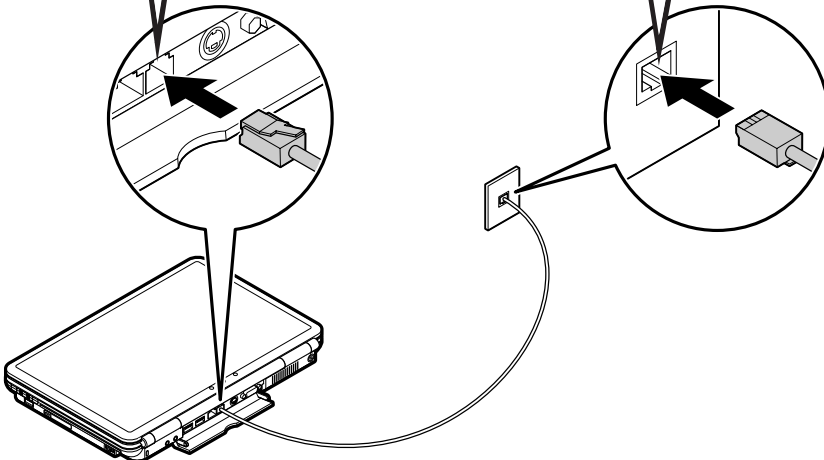
アナログ回線に接続する

このパソコンからプロバイダに入会を申し込む前に、パソコンと電話線を接続する必要があります。

1 図のように接続する

❶ 電話機を壁などの電話接続用コンセント（モジュラーコンセント）から取り外す

❷ 添付のモジュラーケーブルを接続する（パソコン側）

❸ 添付のモジュラーケーブルを接続する

パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

インターネット無料体験について

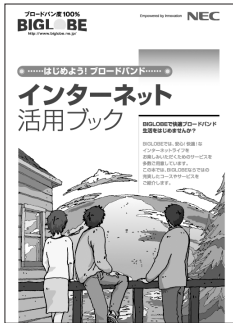
画面に表示されている（インターネット無料体験）をダブルクリックすると、専用ソフトが起動して14日間無料でインターネットを体験できます（電話料金は別途かかります）。プロバイダに入会を申し込む前に、インターネットのホームページを見ることができます。

有効期限は 2006 年 3 月 31 日までです

プロバイダに加入する

BIGLOBEに加入する場合を例に、プロバイダ（インターネット接続業者）に加入する手順を説明します。

・ここでは、このパソコンから直接加入する手順を説明します。キーボードから自分の名前や住所などを入力する必要があります。

・プロバイダの加入申込書に記入して、FAXや郵送で申し込むこともできます。BIGLOBEの加入申込書は、『インターネット活用ブック』に入っています。
「BIGLOBE電話で入会センター」にてお電話での入会申し込みもできます。

プロバイダって何をするの？

プロバイダはインターネットに24時間つながっているコンピュータ（「サーバー」といいます）を管理しています。このサーバーが、メールを一時的に預かってくれたり、インターネットにつなげる中継役となってくれるのです。プロバイダは、「ISP（インターネット・サービス・プロバイダの略）」と呼ばれることもあります。

1　BIGLOBEへの加入手続きを始める

画面の（BIGLOBEでインターネット）をダブルクリックする。

このあとの手順は、画面に表示される指示にしたがって進めてください。

その他のプロバイダに加入するには

画面の（インターネットを始めよう）をダブルクリックすると、さまざまなプロバイダに加入する手続きができます。

クリックしたプロバイダのサービス内容などが、同じ画面の右側に表示されます。その中から「入会する」などの表示をクリックすると、各プロバイダへの加入手続きが始まります。

この方法で加入できるのは、次のプロバイダです。

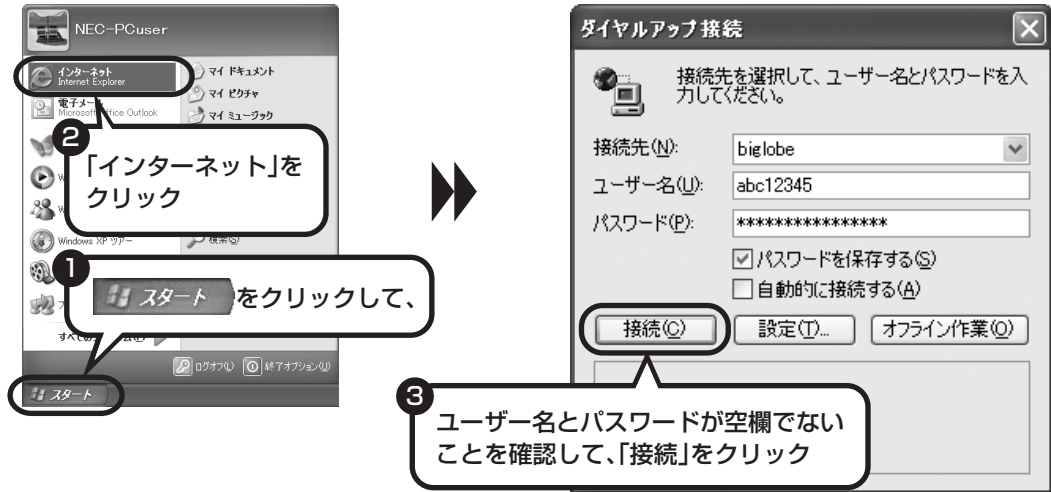
BIGLOBE、AOL、DION、OCN、ODN、So-net、@nifty、かるがるネット、Yahoo! BB

ケーブルテレビなど、上記以外のプロバイダに加入したい場合、各プロバイダまでお問い合わせください。

ダイヤルアップ接続の設定

ダイヤルアップ接続を選んでプロバイダに入会したかたは、ここでパソコンの設定を行ってください。ブロードバンド接続を選んだかたで、回線が開通するまでの間ダイヤルアップ接続を行うかたも、同じように設定してください。

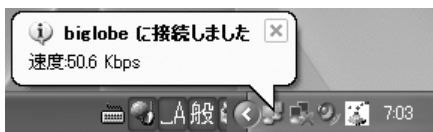
1 「インターネットのプロパティ」で設定する

2 インターネットに接続する

このパソコンから直接BIGLOBEなどのプロバイダに加入した場合、「ユーザー名」と「パスワード」の欄には加入時の情報が入力されています。これらの欄が空欄になっているときは、申し込んだプロバイダまで設定方法をお問い合わせください。

ユーザー名とは

プロバイダに接続するための識別番号で、加入時に決まるものです（一般には、メールアドレスと違って自分で好きなものを選ぶことはできません）。プロバイダによっては、「ユーザID」、「ログインID」、「アカウント名」などと呼ばれることがあります。

パスワードとは

本人であることを証明するための暗証番号です。他人に悪用されることがないよう「＊＊＊」で表示されます。プロバイダによっては「接続パスワード」などと呼ばれることもあります。

しばらくすると、インターネットに接続され、画面右下に「接続しました」と表示されます。このときに表示されるマークを、「接続アイコン」と呼びます。このマークが出ているときは、インターネットに接続中で、パソコンが電話回線を使用している（＝電話料金がかかっている）ことを表します。

正式なIDとパスワードが発行されたときは

プロバイダによっては、最初に加入申し込みを受け付けるときに仮のIDとパスワードを決め、あとから郵送される会員証などで正式のIDとパスワードを知らせてくることがあります。その場合、会員証を受け取ったら、「ユーザー名」と「パスワード」の欄に、正式なものを入力しなおしてください。

3 インターネットへの接続を切る

インターネットへの接続を切る（電話を切る）ときは、画面右下に表示されている（接続アイコン）をクリックします。

インターネットへの接続が切れると、（接続アイコン）の表示が消えます。

メールの設定は、98ページで

メールを使えるようにするには、このパソコンに入っているメールソフトOutlook 2003の設定を行う必要があります。

ブロードバンド回線に接続する

ブロードバンドの通信回線が開通したら、パソコンを通信回線に接続します。

必要なもの

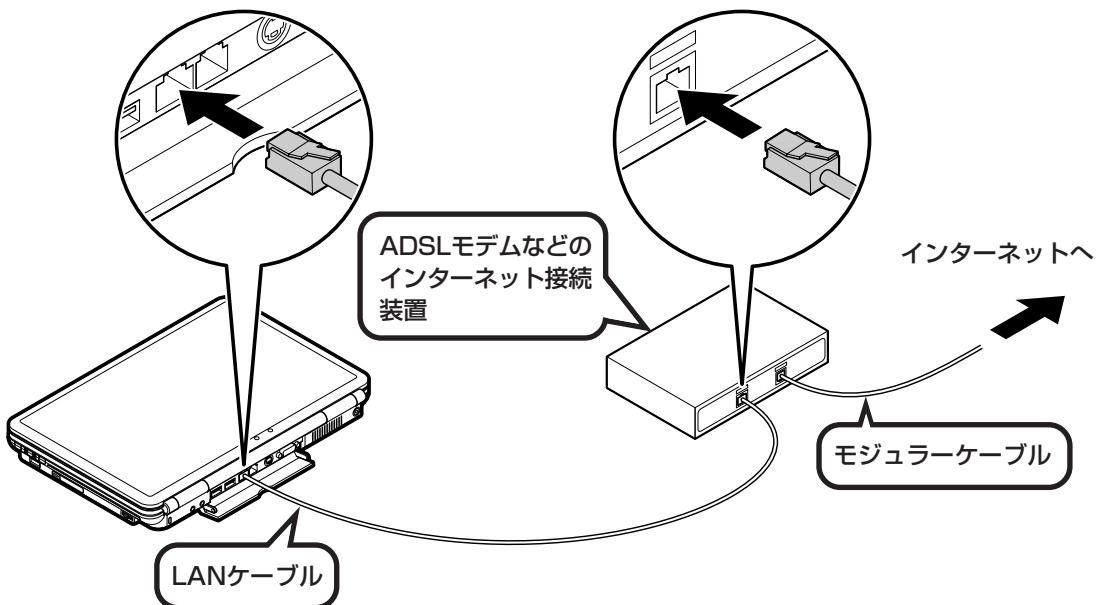
LANケーブル

ADSLモデムなどに添付されていなければ、LANケーブルをお買い求めください。LANケーブルには「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の2種類があります。パソコンとADSLモデムなどのインターネット接続機器をつなぐときは、ストレートケーブルを使用してください。

インターネット接続機器

ブロードバンド回線の種類によって次のような機器が必要です。詳しくは、加入申し込みの時点でプロバイダにご確認ください。

- ADSL：ADSLモデム
- FTTH：回線終端装置（回線工事で設置）
- CATV：ケーブルモデム（CATV開通工事で設置）
- ISDN：TA（ターミナルアダプタ）

1 図のように接続する

ケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

ブロードバンド接続の設定

パソコンを通信回線に接続したら、次のように設定してください。

・ここで説明している設定や流れは、あくまでも一例です。お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。プロバイダから入手した説明書や、プロバイダのホームページなどで設定を確認することをおすすめします。
・ADSL の場合、モデムのタイプによって手順が異なります。該当する説明をご覧ください。

ブリッジタイプのADSLモデムを設定する

ルータタイプのADSLモデムをお使いの場合と、FTTHの回線終端装置をお使いの場合は、このあとの「ルータタイプの ADSL モデムを設定する」へ進んでください。

1 ウィザードを表示する

❶ スタート をクリックして、

❷「コントロールパネル」をクリック

❸「ネットワークとインターネット接続」をクリック

❹「ネットワーク接続」をクリック

❺「新しい接続を作成する」をクリック

2 ウィザードにしたがって操作する

ユーザー名とは

プロバイダに接続するための識別番号で、BIGLOBEの場合は「ユーザID」と呼ばれます。プロバイダから送られた会員証などで確認してください。「ログインID」、「アカウント名」などと呼ばれることもあります。

パスワードとは

本人であることを証明するための暗証番号です。プロバイダから送られた会員証などで確認してください。「接続パスワード」などと呼ばれることもあります。

「完了」をクリックすると、新しい接続ウィザードの画面が閉じ、プロバイダに接続するための画面が開きます。

3 「インターネットのプロパティ」で「LANの設定」をする

☑ になっている項目があるときは、クリックして□に変更してください。

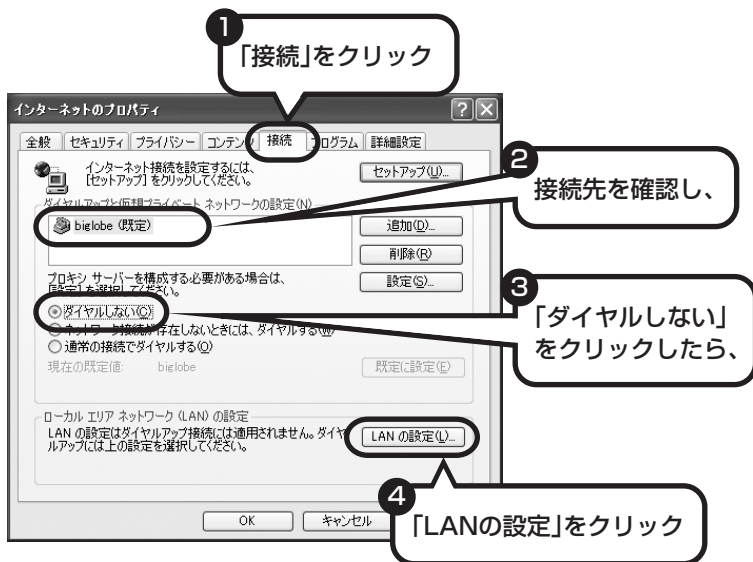
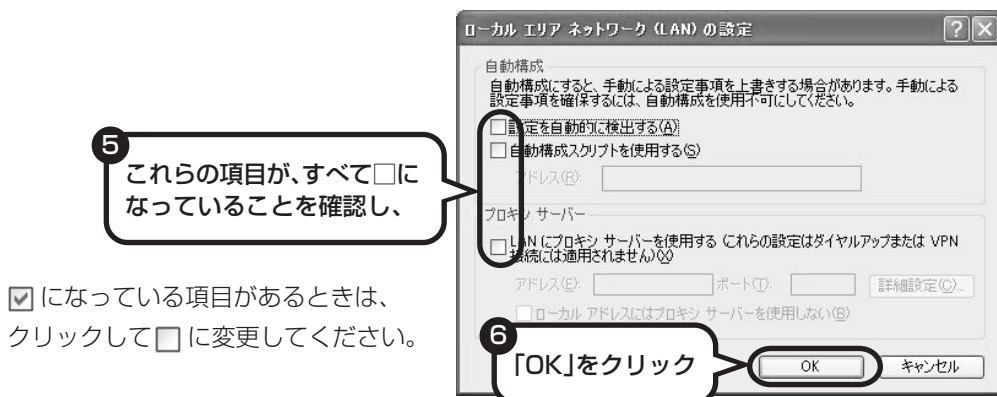
「OK」をクリックすると、「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面が閉じます。続けて、「インターネットのプロパティ」の画面でも「OK」をクリックして閉じてください。

これで、ブリッジタイプの ADSL モデムの設定は完了です。
97 ページへ進んでインターネットへの接続を試してください。

ルータタイプのADSLモデムを設定する

FTTHを利用するかたも、同じように設定してください。

1 インターネットのプロパティを表示する

2 「ダイヤルしない」に設定する

接続先が何も表示されていない場合は、そのままでかまいません。

☑になっている項目があるときは、クリックして□に変更してください。

「OK」をクリックすると、「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面が閉じます。続けて、「インターネットのプロパティ」の画面でも「OK」をクリックして閉じてください。

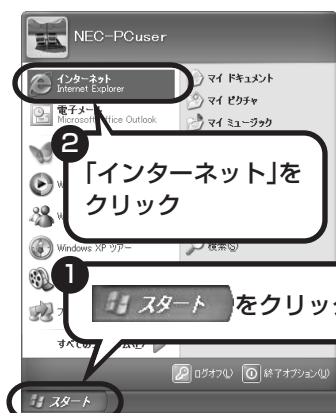
3 パソコンを再起動する

しばらくすると、パソコンの電源が切れ、自動的にもう一度電源が入ります（再起動）。

これで、ルータタイプの ADSL モデムの設定は完了です。
次ページへ進んでインターネットへの接続を試してください。

インターネットに接続する

インターネットに接続できるか確認しましょう。

1　Internet Explorerを起動する

ブリッジタイプをお使いの場合

次の接続用画面が表示されます。
「接続」をクリックすると、Internet Explorerが起動して、プロバイダのホームページなどが表示されます。USB接続するADSLモデムをお使いの場合も同じです。

ルータタイプをお使いの場合

ルータタイプのADSLモデムを使っている場合、接続用の画面は表示されず、直ちにInternet Explorerが起動して、プロバイダのホームページなどが表示されます。これは、ルータタイプでは、パソコンの電源を入れると自動的にインターネットに接続されるためです。

これで、インターネット接続の設定は終わりです。
続けてメールの設定に進んでください。

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールを利用したり、スケジュールを管理したりするために、Outlook(アウトルック)というソフトが用意されています。

・ADSL や FTTH で接続する場合、使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらも合わせてご覧になり、設定することをおすすめします。

・Outlook が入っていないモデルをお使いのかたは、「Outlook Express」というソフトでメールを利用できます。
Outlook Express の設定については、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「Outlook Express」をご覧ください。

1 Outlookを起動する

❶ スタート をクリックして、

❷「電子メール」をクリック

❸「次へ」をクリック

❹「次へ」をクリック

2 サーバーの種類を選ぶ

電子メール アカウント

サーバーの種類
新しい電子メール アカウントで使用するサーバーの種類を選択します。

○ **Microsoft Exchange Server(M)**
Exchange サーバーに接続して、電子メールの読み取り、パブリック フォルダへのアクセス、ドキュメントの共有を行います。

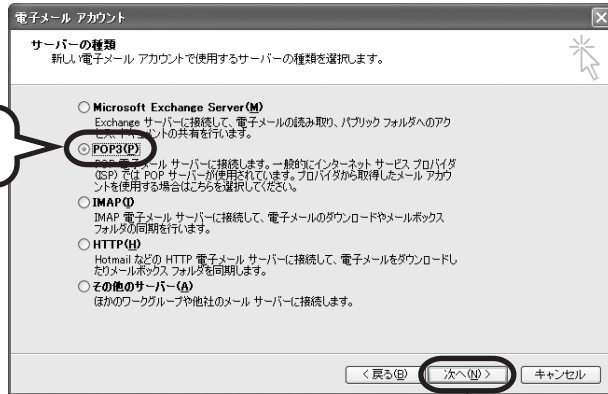
◎ **POP3(P)**
POP 電子メール サーバーに接続します。一般的にインターネット サービス プロバイダ (ISP) では POP サーバーが使用されています。プロバイダから取得したメール アカウントを使用する場合はこちらを選択してください。

○ **IMAP(I)**
IMAP 電子メール サーバーに接続して、電子メールのダウンロードやメールボックス フォルダの同期を行います。

○ **HTTP(H)**
Hotmail などの HTTP 電子メール サーバーに接続して、電子メールをダウンロードしたりメールボックス フォルダを同期します。

○ **その他のサーバー(A)**
ほかのワークグループや他社のメール サーバーに接続します。

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

❶「POP3」をクリックして、

❷「次へ」をクリック

ほとんどのプロバイダは「POP3」という種類のサーバーを使っています。プロバイダが「IMAP」という種類のサーバーを使っている場合は、「IMAP」を選びます。その場合、詳しくはプロバイダに確認してください。

3 名前などを入力する

■ この画面では、次の項目に入力してください。

名前	自分の名前を入力します。日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。
電子メールアドレス	ご利用の電子メールアドレスを入力します。
受信メールサーバー(POP3)	プロバイダの会員証などを見て、アドレスを入力します。プロバイダによっては、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」などと呼ばれることもあります。
送信メールサーバー(SMTP)	会員証などを見て、アドレスを入力します。プロバイダによっては、受信メールサーバーと送信メールサーバーのアドレスは同じことがあります。「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」などと呼ばれることもあります。
アカウント名	会員証などを見て、アカウント名として記載されているものを入力します。「メールアカウント」、「メールサーバーログイン名」、「POPアカウント名」、「メールログイン名」などと呼ばれることもあります。
パスワード	会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。「メールサーバーパスワード」などと呼ばれることもあります。

4 「詳細設定」で接続方法を設定する

このあとの手順は、接続方法によって異なります。

ダイヤルアップの場合

「電話回線を使用する」をクリックして、◯を◉にします。次に「モデム」欄で、使用するダイヤルアップネットワーク接続の名前を選びます。設定内容を確認したら、「OK」をクリックしてください。

「電子メールアカウント」の画面に戻ったら、「次へ」をクリックします。

ブリッジタイプのADSLモデムの場合

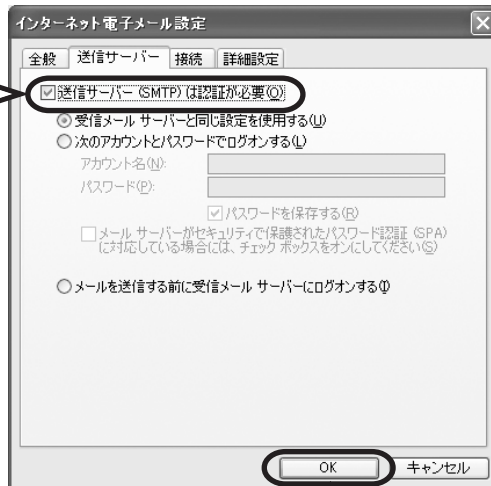
「電話回線を使用する」をクリックして、◯を◉にします。次に「モデム」欄で、使用するダイヤルアップネットワーク接続の名前を選びます。続けて、「送信サーバー」タブをクリックして、サーバーを設定してください。

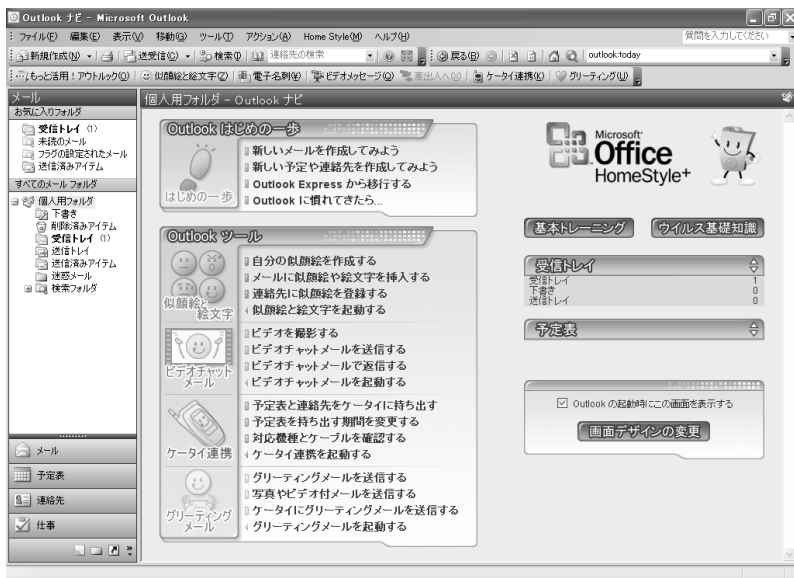
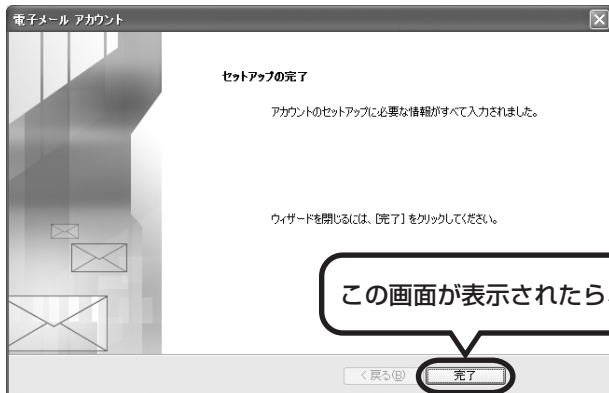
ルータタイプの ADSL モデムの場合

「ローカルエリアネットワーク（LAN）を使用する」をクリックして、◯を◉にします。続けて、「送信サーバー」タブをクリックして、サーバーを設定してください。

送信サーバーの設定：
ブリッジタイプ、ルータタイプ共通

「送信サーバー（SMTP）は認証が必要」をクリックして☑にしてください。次に、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」が◉になっていることを確認します。ほとんどのプロバイダでは、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」ようになっています。

設定内容を確認したら、「OK」をクリックしてください。「電子メールアカウント」の画面に戻ったら、「次へ」をクリックします。

送信用メールサーバーのアカウント名やパスワードが違う場合だけ、「次のアカウントとパスワードでログオンする」をクリックして、アカウント名とパスワードを入力してください。

5 メールの設定を完了する

これで、メールが使えるようになりました。
メールを送ったり受け取ったりする方法については、
『活用ブック』をご覧ください。

このあとの進め方

いよいよインターネットやメールが使えるようになりました。
ここで紹介するマニュアルには、インターネットやメールを活用する方法や、安全に使うための対策が書いてあります。本格的にインターネット・メールを使い始める前に、ぜひご覧ください。

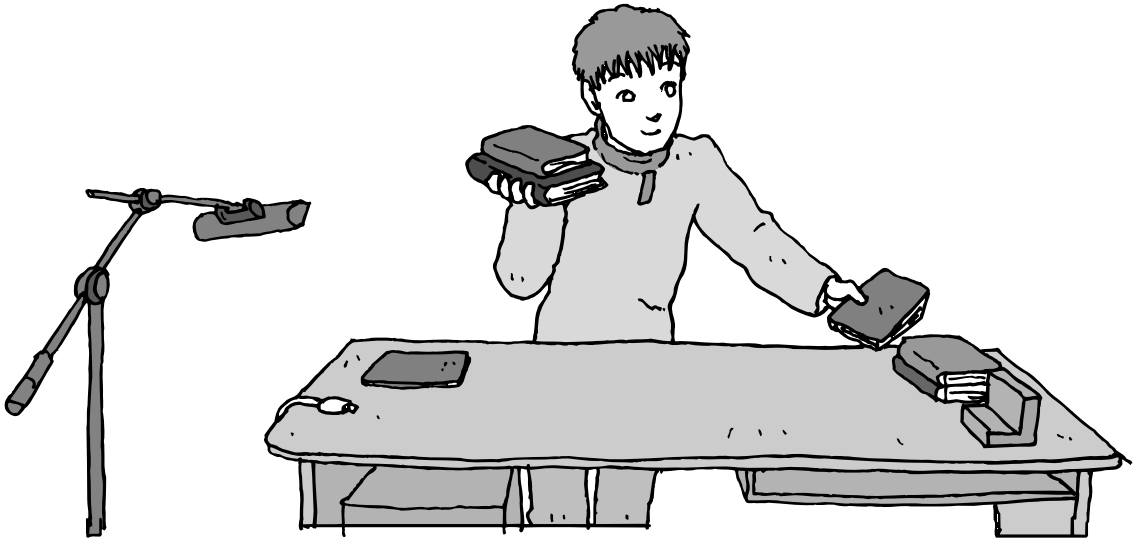
インターネット・メールの楽しみ方を知るには『活用ブック』

インターネットやメールでどんな楽しみ方ができるのか、活用方法を『活用ブック』で紹介しています。
お気軽に読み進めてください。

インターネットのセキュリティ対策については「サポートナビゲーター」

インターネットやメールは、とても楽しく便利な反面、危険も多くあります。コンピュータウイルスや外部からの不正アクセスなどの被害にあわないように、前もって対策が必要です。
「サポートナビゲーター」では、インターネットのセキュリティ対策について、詳しく説明しています。デスクトップにある（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリックしてご覧ください。

第 6 章

パソコンを買い換えたかたへ

すでにパソコンを使っていたかたが、このパソコンでインターネットを利用できるようにしたり、前のパソコンからデータを移したり、前のパソコンで使っていたデータや周辺機器を使えるようにする方法について説明します。

インターネットを使えるようにする ダイヤルアップ編

これまでのパソコンでダイヤルアップ接続を利用していたかたは、次の手順でインターネットの接続と設定を行ってください。

ブロードバンドのかたは、114ページへ

ADSLなど、前のパソコンでブロードバンド接続を利用していたかたは、114ページへ進んでください。パソコンを買い換えたことを機会にダイヤルアップ接続からブロードバンド接続に切り替えたいかたは、まず、次の説明を読んでダイヤルアップ接続を行い、そのあとでプロバイダのホームページからコース変更を申し込んでください。

ダイヤルアップとは

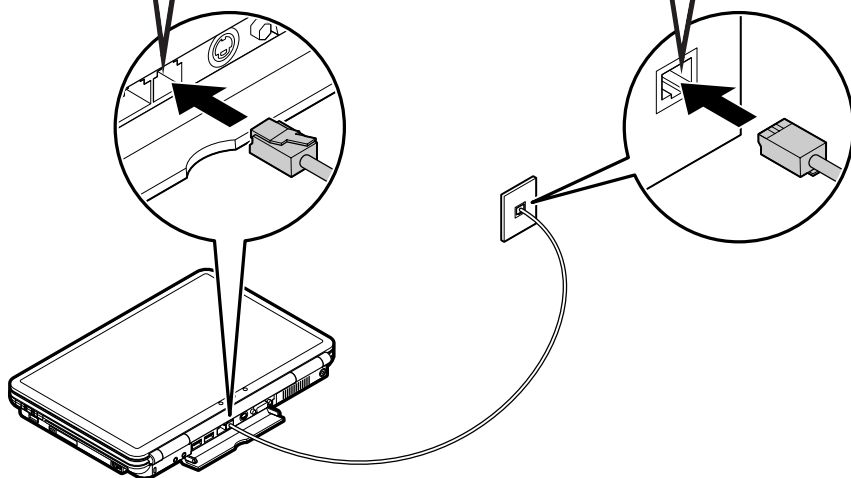
インターネットを利用するたびに、パソコンから電話をかける接続方法です。前のパソコンにモデムが内蔵されている場合は、パソコンと電話回線をモジュラーケーブルで接続していたはずです。前のパソコンを電話回線から取り外し、代わりにこのパソコンを接続してください。

前のパソコンにモデムが内蔵されていない場合、外付けのモデムを利用していたと考えられます。このパソコンにはモデムが内蔵されているため、従来お使いの外付けモデムを利用する必要はありません。

1 パソコンを電話回線に接続する

図のように接続する

1 添付のモジュラーケーブルを接続する（パソコン側）

2 添付のモジュラーケーブルを接続する（壁側）

パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

パソコンの設定を行う

操作を始める前に、これまでのパソコンで利用していたアクセスポイントの電話番号を調べておいてください。アクセスポイントとは、プロバイダに接続するための電話番号です。わからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

1　「電話とモデムのオプション」を表示する

❶ スタート をクリックして、

❷ 「コントロールパネル」をクリック

❸ 「プリンタとその他のハードウェア」をクリック

❹ 「電話とモデムのオプション」をクリック

❺ 「ダイヤル情報」をクリックして、

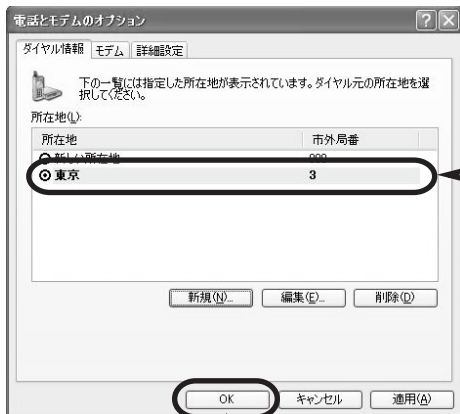
❻ 「新規」をクリック

7 「所在地」を入力し、

8 0(ゼロ)を除いた市外局番を入力し、

9 電話回線の種類を選んでから

10 「OK」をクリック

所在地	この説明では、例として「東京」と入力していますが、自宅の所在地(市外局番が該当する都市名など)を入力してください。
市外局番	先頭の「0(ゼロ)」は入れないでください。
ダイヤル方法	ご利用の電話回線が「トーン」(プッシュ回線契約)か「パルス」かを選びます。回線の種類がわからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

11 入力した所在地、市外局番が追加されていることを確認して、

12 「OK」をクリック

2 「新しい接続ウィザード」を表示する

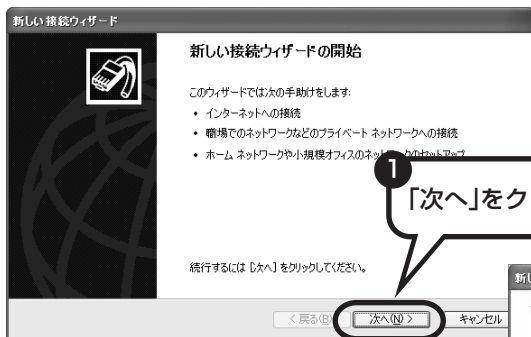
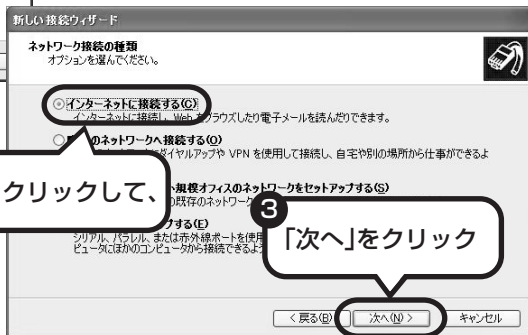
❶ スタート をクリックして、

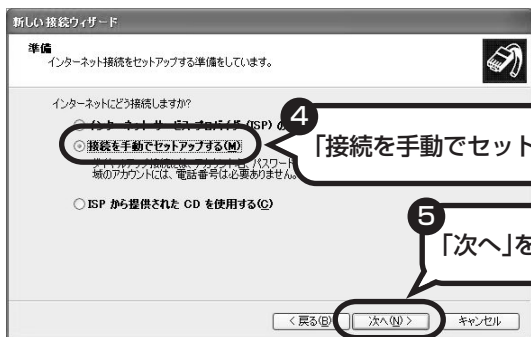
❷「コントロールパネル」をクリック

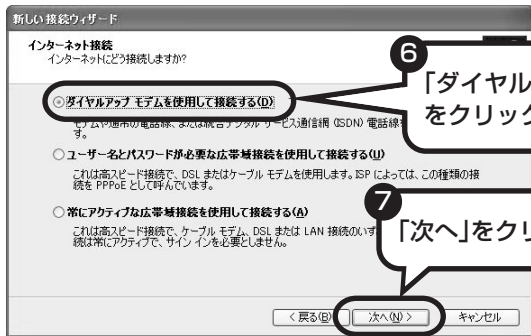
❸「ネットワークとインターネット接続」をクリック

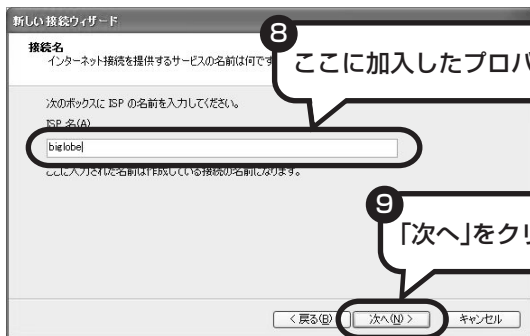
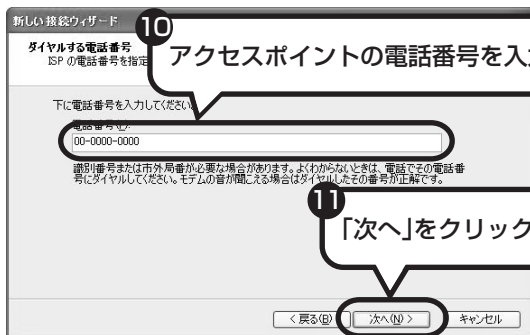
❹「ネットワーク接続」をクリック

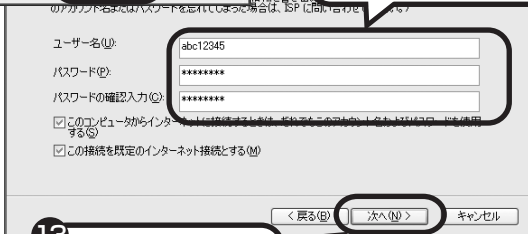
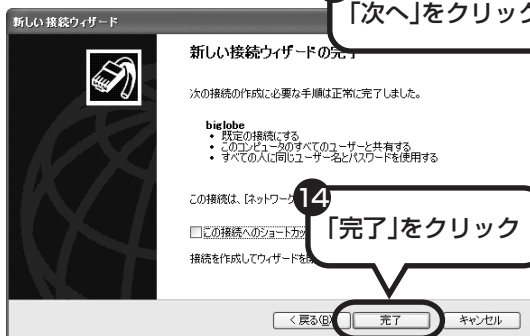
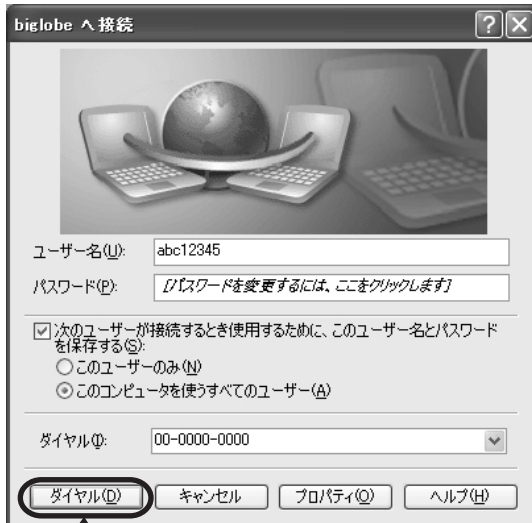
❺「新しい接続を作成する」をクリック

3 ウィザードにしたがって操作する

❶「次へ」をクリック

❷「インターネットに接続する」をクリックして、

❸「次へ」をクリック

❹「接続を手動でセットアップする」をクリックして、

❺「次へ」をクリック

❻「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」をクリックして、

❼「次へ」をクリック

「完了」をクリックすると、新しい接続ウィザードの画面が閉じ、インターネットに接続するための画面が開きます。

ユーザー名とは

プロバイダに接続するための識別番号です。「ログインID」、「アカウント名」などと呼ばれることもあります。

パスワードとは

本人であることを証明するための暗証番号です。「接続パスワード」などと呼ばれることもあります。

4 インターネットに接続する

しばらくすると、インターネットに接続され、画面右下に「接続しました」と表示されます。このときに表示されるマーク を、「接続アイコン」と呼びます。
このマークが出ているときは、インターネットに接続中で、パソコンが電話回線を使用している（＝電話料金がかかっている）ことを表します。

この状態で、「スタート」をクリックし、続けて「インターネット」をクリックすると、ホームページを見ることができます。

5 インターネットへの接続を切る

インターネットへの接続を切る（電話を切る）ときは、画面右下に表示されている（接続アイコン）をクリックします。

インターネットへの接続が切れると、（接続アイコン）の表示が消えます。

2 回目以降のインターネットへの接続方法については、85 ページをご覧ください。

続けて、「メールソフトを設定する」（98 ページ）をご覧ください。メールソフトの設定が終わったら、116ページへ進み、データや周辺機器、アプリケーションソフトの移行作業を行ってください。

インターネットを使えるようにする ブロードバンド編

これまでのパソコンで、ADSLなどのブロードバンド接続を利用していたかたは、次の手順でインターネットの接続と設定を行ってください。

ダイヤルアップのかたは、106ページへ

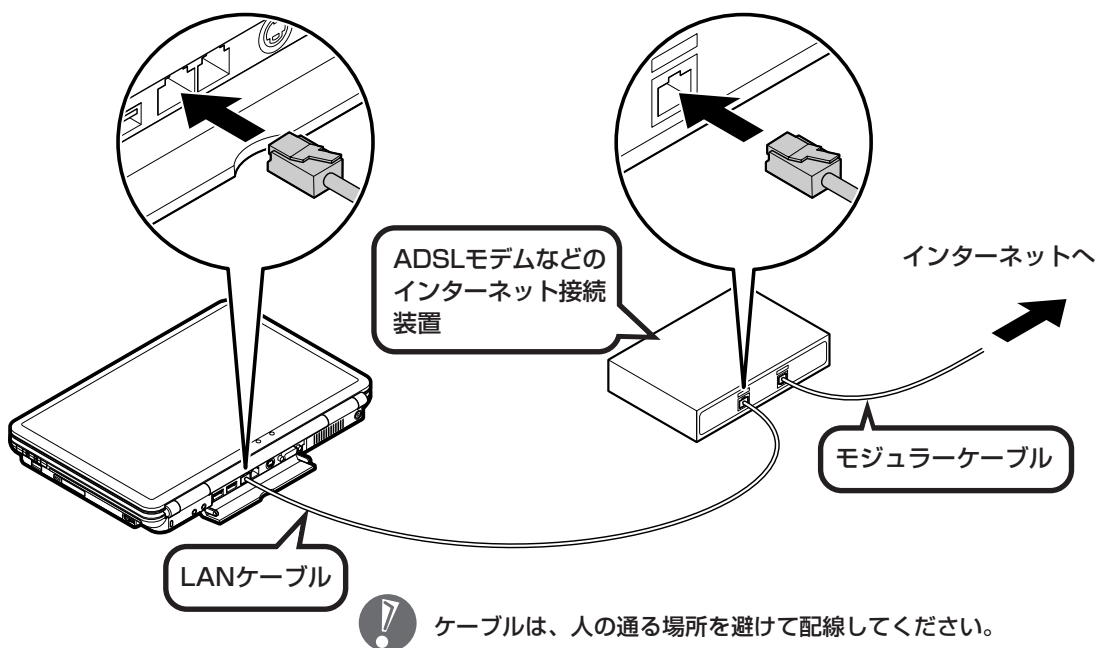
前のパソコンを家庭の電話回線に直接接続して、ダイヤルアップ接続を利用していたかたは、106ページを参照してください。パソコンを買い換えたことを機会にダイヤルアップ接続からブロードバンド接続に切り替えたいかたも、まず、ダイヤルアップ接続を行い、そのあとでプロバイダのホームページからコース変更を申し込んでください。

CATVのかたは、ケーブルテレビ局に確認を

前のパソコンでCATV接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い換えたときの設定方法についてお問い合わせください。

1 パソコンを通信回線に接続する

前のパソコンと同じように接続してください。

ケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

このあとの設定について

ブロードバンド接続でインターネットを使えるようにするには、モデムの設定とメールソフトの設定が必要です。ご利用の機器に合わせて、該当するページをご覧ください。

ブリッジタイプのADSLモデムを設定する

89ページをご覧ください。

USB 接続する ADSL モデムをお使いの場合も同じです。

ルータタイプのADSLモデムを設定する

94ページをご覧ください。

FTTH を利用している場合も同じです。

インターネットに接続する

97ページをご覧ください。

どのタイプのモデムをご利用の場合も、モデムの設定が終わったら、インターネットへの接続を試してください。

メールソフトを設定する

98ページをご覧ください。

インターネットに接続してホームページを見ることができたら、必ず、メールソフトの設定を行ってください。

上記の設定を済ませてから、次ページへ進み、データや周辺機器、アプリケーションソフトの移行作業を行ってください。

古いパソコンから データを移す

データ引越ツール「データトラベリング」を利用すると、これまでお使いのパソコンからデータを移行することができます。

データトラベリングで移行できるデータ

次のようなデータを移行することができます。

・Internet Explorer の「お気に入り」
・Outlook の予定表や連絡先、メールのアカウントや受信データなど
・Outlook Express のアカウント、アドレス帳や送受信データ
・年賀状作成ソフト「筆王」の住所録
・マイドキュメントに保存されているデータ
・デスクトップに置かれているデータ
・指定のフォルダに入っているデータ
・ダイヤルアップ接続の設定

移行される内容について詳しくは、データトラベリングを起動後、最初に表示される画面で「機能紹介と移行内容」をクリックしてご確認ください。

古いパソコンが次の条件にあてはまること

使用していた OS が次のいずれかであること

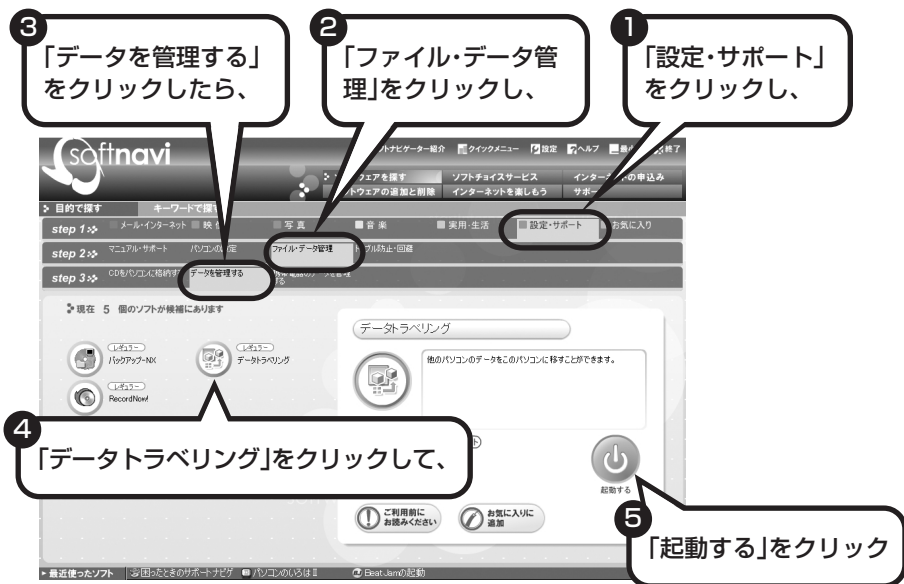
・Windows 98 Second Edition
・Windows Me(Millennium Edition)
・Windows 2000 Professional
・Windows XP Home Edition
・Windows XP Professional

これまでにお使いのパソコンのOSが上記以外の場合、データトラベリングは利用できません。マイドキュメントのウィンドウで、［ヘルプ］-［バージョン情報］をクリックすると、Windowsのバージョンを調べることができます（マイコンピュータ、コントロールパネルなどのウィンドウでも同様です）。

LAN コネクタがあること

データトラベリングを利用するには、古いパソコンとこのパソコンをLANケーブルで接続する必要があります。これまでお使いのパソコンに LAN コネクタがない場合、利用できません。

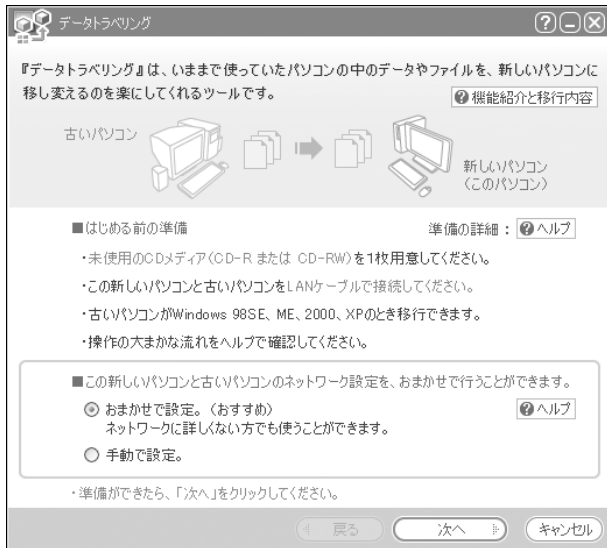
1　データトラベリングを使う準備をする

未使用の CD-R または CD-RW を 1 枚用意する。

DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-RAM、2層式DVDは使用できません。

古いパソコンと、このパソコンを LAN ケーブルで接続してください。詳しくは、データトラベリングを起動後、最初に表示される画面で、「はじめる前の準備」の「ヘルプ」をクリックして説明をご覧ください。

- **HUB（ハブ）を使って接続するときは、2 台のパソコンをそれぞれストレートケーブルでハブに接続してください（こちらの接続方法をおすすめします）。**
- **2 台のパソコンを直接接続するときは、クロスケーブルをお使いください。**
- **複数のユーザーでパソコンを使用している場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。ほかのユーザーはログオフしてください。**

2　データトラベリングを起動する

デスクトップ画面の右側に表示された softnavi（ソフトが見つかるソフトナビゲーター）をクリックする。

3 ネットワーク設定をする

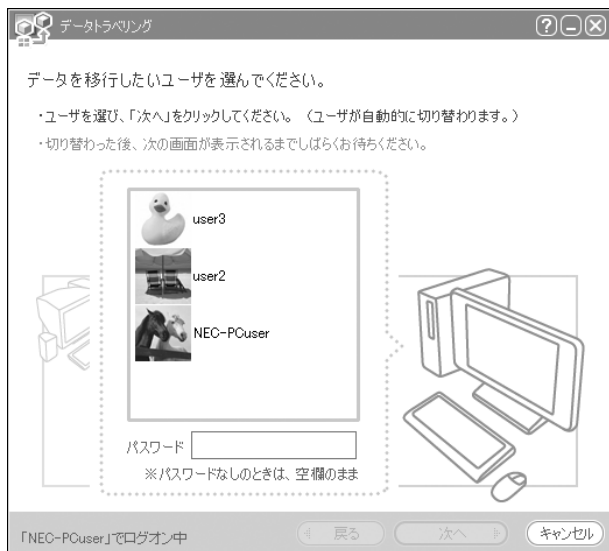
通常は「おまかせで設定。（おすすめ）」を選択して、「次へ」をクリックします。ネットワーク設定を自分で行いたい場合は「手動で設定。」を選択してください。詳しくは「ヘルプ」をクリックして確認してください。

「おまかせで設定。（おすすめ）」を選ぶと、コンピュータの設定が変更される場合があります。詳しくは「ヘルプ」をクリックして確認してください。

「ヘルプ」をクリックしてファイアウォールと共有フォルダの設定を行います。設定が終わったら「次へ」をクリックします。

データの移行に必要な設定ですので、必ず行ってください。

4 このパソコンで「ツールCD」を作成する

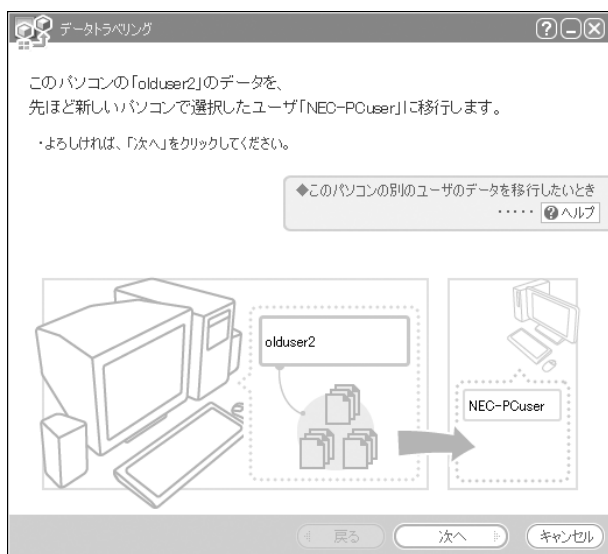
この画面が表示されたら、未使用のCD-R または CD-RW をセットします。自動的に「ツールCD」の作成が始まります。

複数のユーザーでパソコンを使用している場合は、移行するユーザーを選択して「次へ」をクリックしてください。
選択したユーザーにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「次へ」をクリックしてください。

「ツールCD」の作成が完了したら、ディスクを取り出してください。

5 古いパソコンで、移行するデータを指定する

これまでお使いのパソコンに「ツールCD」をセットします。しばらくすると、次の画面が表示されます。

「次へ」をクリックしてください。

途中でパソコンを再起動することがありますので、使用中のほかのソフトは終了させてください。

複数のユーザーでパソコンを使用している場合はこの画面が表示されます。表示されている内容を確認して「次へ」をクリックしてください。

移行するデータを選択して「次へ」をクリックしてください。

選択したデータによっては、さらに詳細な移行内容を設定する必要があります。その場合、画面に指示が表示されますので、それにしたがって操作してください。

この画面が表示されたら、「完了」をクリックして、「ツールCD」を取り出してください。

6 このパソコンで、残りの移行作業を行う

古いパソコンで「完了」をクリックすると、この画面が新しいパソコンに表示されます。自動的に残りの移行処理が行われるため、しばらくお待ちください。

この画面が表示されたら、データの移行は完了です。

移行したデータによっては、このあとで詳細な設定作業が必要になることがあります。その場合、画面に指示が表示されますので、それにしたがって操作してください。

周辺機器を使えるようにする

古いパソコンに接続して利用していたプリンタなどの周辺機器は、そのままこのパソコンに接続できるとは限りません。

周辺機器を移行する前に確認が必要

まずは、周辺機器のマニュアルでチェック

周辺機器に添付のマニュアルで、その機器がWindows XPに対応しているか確認してください。対応している場合、このパソコンとの接続方法や設定の手順についての説明をご覧ください。

メーカーのホームページもチェック

周辺機器のマニュアルだけでなく、メーカーのホームページで、ご利用の製品についてのサポート情報も必ず確認してください。マニュアルよりも新しい情報がホームページで確認できることがあります。Windows XPに対応した最新のドライバ（周辺機器を利用できるようにするためのソフト）がダウンロードできるときは、最新のドライバをお使いください。

周辺機器の一般的な移行手順

古いパソコンから周辺機器を取り外す

取り外しの手順については、周辺機器に添付のマニュアルや、古いパソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

このパソコンに周辺機器を取り付け・接続する

USB接続する周辺機器などの場合、このパソコンに取り付け・接続する前に、ドライバなどをインストールしておく必要があることもあります。マニュアルなどで確認してください。

このパソコンで使用できるように設定する

周辺機器によっては、取り付け・接続するだけで使えるようになるものもあります。パソコンでの設定方法についても、マニュアルなどで確認してください。

周辺機器の動作確認を行う

周辺機器を移行したら、うまく動作するか確認してください。うまく動作しないときは、ドライバや添付ソフトなどを確認のうえ、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

アプリケーションソフトを移す

古いパソコンで利用していたアプリケーションソフトを、このパソコンで利用するときに注意することを説明します。

アプリケーションソフトを移行する前に

このパソコンに最新版が入っていないかチェック

このパソコンには、主要なアプリケーションソフトが入っています。これまで利用していたアプリケーションソフトの最新版や、同じ用途のソフトが見つかるかもしれません。

アプリケーションソフトのマニュアルをチェック

アプリケーションソフトに添付のマニュアルで、Windows XPに対応しているか確認してください。対応していない場合、このパソコンでは利用できません。

開発元のホームページもチェック

アプリケーションソフトの開発元のホームページで、ご利用の製品についてのサポート情報も必ず確認してください。Windows XPに対応するための方法など、マニュアルよりも新しい情報がホームページで確認できることがあります。

アプリケーションソフトの一般的な移行手順

必要な情報を確認する

マニュアルなどで、インストールに必要な情報を確認します。ユーザー名やライセンス番号などが必要な場合は、それらの情報をメモしておきましょう。ソフトによっては設定を移行する機能を持つものがあります。その場合、マニュアルやホームページなどで移行方法を調べてください。

ライセンスとは

ソフトのメーカーが購入者に対して許諾する、使用権を「ライセンス」と呼びます。ライセンスの条件にしたがわずにソフトを使用した場合は不正使用となり、著作権を侵害してしまうこともあります。ライセンスの内容を確認のうえ、不正使用にならないようにアンインストールやインストールを行ってください。

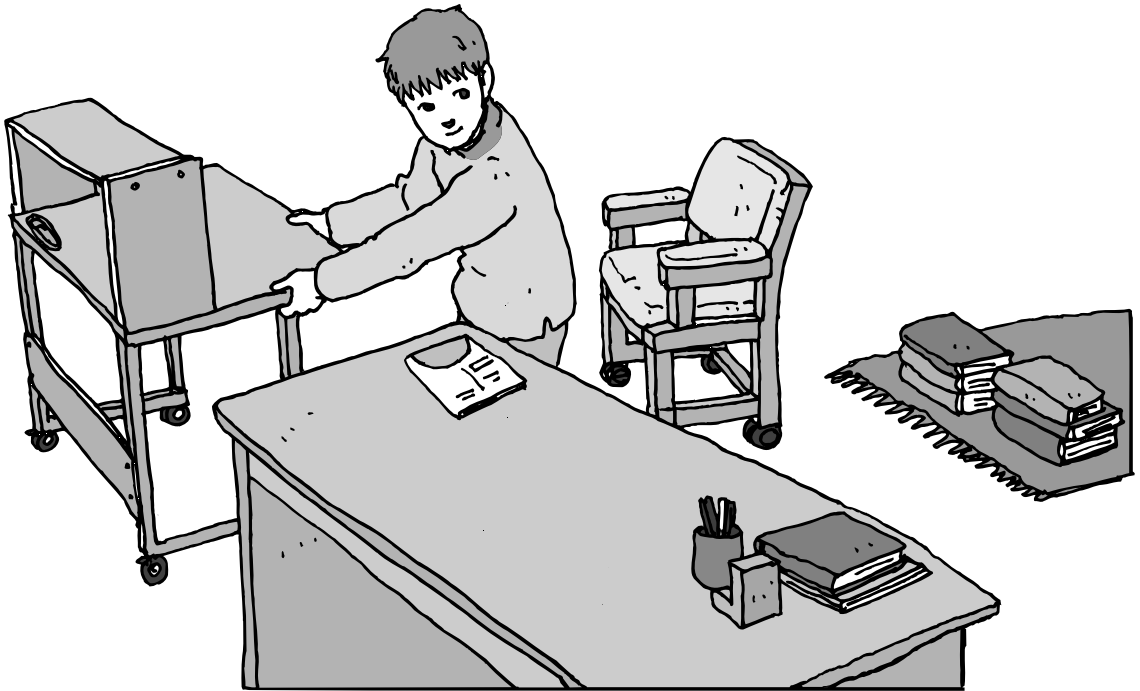
古いパソコンからソフトをアンインストールする

アンインストールの方法については、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

このパソコンにインストールする・必要な設定を行う

マニュアルなどをご覧になり、このパソコンにインストールしてください。必要に応じて、インストール後の設定作業を行ってください。

第7章

前に使っていたパソコンと一緒に使いたいかたへ

このパソコンには、パソコンを接続してホームネットワークを作るためのソフト「ホームネットワークアシスタント」が入っています。
家庭でネットワークを作ることの利点や、「ホームネットワークアシスタント」の使い方を紹介します。

ホームネットワークでできること

複数のパソコンをつなぐことで、もっと便利にパソコンライフが広がります。

複数のパソコンから同時にインターネットを利用できる

ADSLなどでブロードバンド接続を利用している場合、複数のパソコンから同時にインターネットを楽しむことができるようになります。複数のパソコンでインターネットを利用しても、電話機はこれまでどおり使えます。

プリンタを共有して、複数のパソコンから印刷する

ホームネットワークがあれば、どのパソコンからも1台のプリンタで印刷できるようになります。そのたびにプリンタをつなぎ換えたり、プリンタが接続されたパソコンに移動したりする必要がありません。

パソコン同士で簡単にデータを受け渡しできる

デジカメの画像やパソコンで作成した文書などを、家庭内のパソコン同士で受け渡せるようになります。フロッピーディスクやメモリカードなどを使う必要はありません。ファイルサイズの大きなデータでも、手軽にやりとりできます。

ほかのパソコンの共有フォルダにデータをバックアップする

ホームネットワークがあれば、このパソコンのデータをネットワーク上にあるほかのパソコンの共有フォルダにバックアップできます。大切なデータを間違って削除してしまったときなどに、ほかのパソコンにバックアップを取っておいたデータを使って元に戻すことができます。1日1回、週に1回などバックアップを取るスケジュールを設定できるので、定期的にバックアップを取ることができます。

ホームネットワークも、LANのひとつ

会社や学校で、複数のパソコンをつないでいる環境があるかたは、「LAN（ラン）」という言葉を耳にしたことがあるかもしれません。「LAN」とは「ローカル・エリア・ネットワーク」の略で、同じ建物に置かれたパソコンやプリンタなどの周辺機器をつないで情報をやりとりできるようにしたものです。ホームネットワークも、LANのひとつです。

複数のパソコンを ホームネットワークでつなぐ

「ホームネットワークアシスタント」が利用できる条件や、設定の進め方について説明します。

「ホームネットワークアシスタント」の利用条件

「ホームネットワークアシスタント」を使用するには、次の条件を満たしている必要があります。

接続したいパソコンのOSが次のいずれかに該当すること

・Windows 98 Second Edition
・Windows Me(Millennium Edition)
・Windows 2000 Professional
・Windows XP Home Edition
・Windows XP Professional
・Windows XP Media Center Edition

接続したいパソコンのOSが上記以外の場合、「ホームネットワークアシスタント」は利用できません。

ご利用の回線が次のいずれかに該当すること

・ADSLの場合：アッカ・ネットワークス、イー・アクセス、NTT東日本、NTT西日本、Yahoo! BB
・FTTHの場合：BIGLOBE　Bフレッツ、@nifty Bフレッツ

ISDN、CATVなど、上記以外をご利用の場合、またBIGLOBE　Bフレッツや@nifty Bフレッツ以外のFTTH回線をご利用の場合、「ホームネットワークアシスタント」は利用できません。

ご利用のプロバイダが次のいずれかであること

・@nifty
・BIGLOBE
・OCN
・So-net
・Yahoo! BB

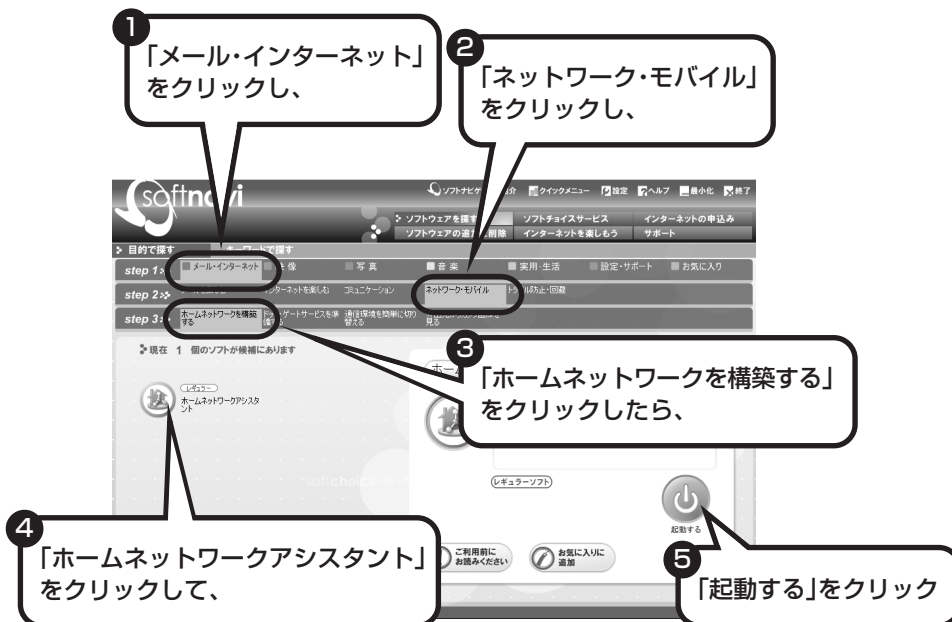
上記以外のプロバイダをご利用の場合、「ホームネットワークアシスタント」は利用できません。

@niftyでイー・アクセスの回線をご利用の場合は、「ホームネットワークアシスタント」でルータを自動設定することができません（手動設定になります）。

「ホームネットワークアシスタント」が利用できないとき

パソコンのOSや通信回線、プロバイダなどが上記の条件に該当しないときは、手動でネットワークの設定を行う必要があります。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「LAN」をご覧ください。

「ホームネットワークアシスタント」を開始する

デスクトップ画面の右側に表示された （ソフトが見つかるソフトナビゲーター）をクリックする。

「ホームネットワークアシスタント」のメインメニューが表示されます。

「ホームネットワークアシスタント」の利用方法

全体の流れをつかむには

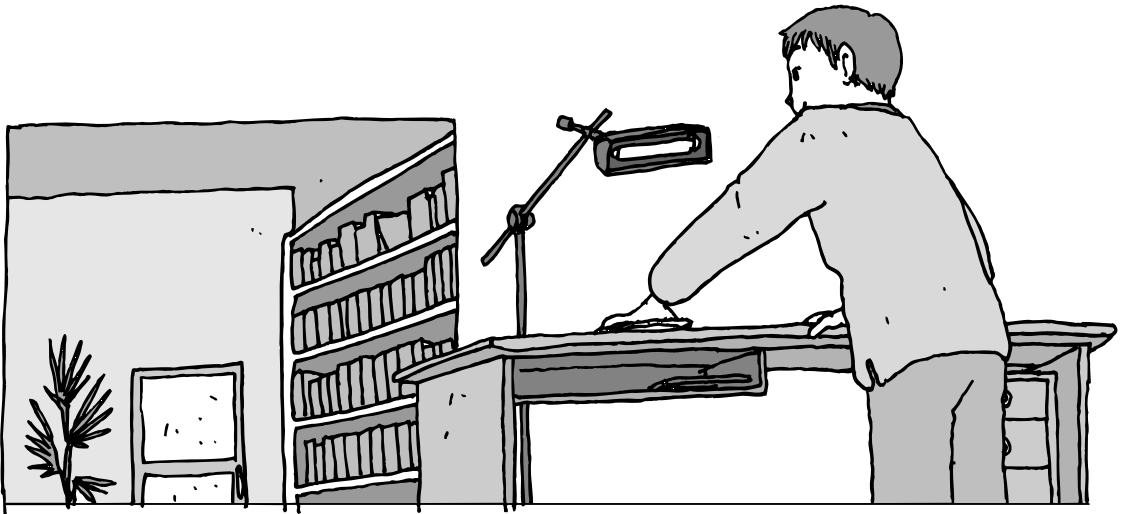
「ホームネットワークのはなし」をクリックして、ホームネットワークの特徴や、作成例、主な疑問への回答（Q&A）などをご覧ください。

設定を行うには

「設定スタート！」をクリックして、画面の説明を読みながら、設定を進めてください。

トラブルが起きたら

「トラブルシューティング」をクリックして、ホームネットワークの診断を行ってください。

第8章

再セットアップする

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップを行うと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

Office Professional 2003モデルの場合は、再セットアップの際に準備するものや、再セットアップ手順が一部異なります。『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』も合わせてご覧ください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解したうえで、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す､再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後に行うセットアップ（準備作業）をもう一度行って、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ（画面の表示が動かなくなること）が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、再セットアップを行うと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップを行ってください。このあとの説明を読み、再セットアップの前にデータのバックアップ（データの控えを残しておくこと）を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

ウイルスチェックを行う（135ページ）

↓

セーフモードでパソコンを起動してみる（136ページ）

↓

データのバックアップを取る（138ページ）

↓

システムの修復を試みる（140ページ）

ウイルスチェックを行う

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

「マカフィー・ウイルススキャン」でチェックする

1 デスクトップ画面の右側に表示されている（ソフトが見つかるソフトナビゲーター）をクリック

2 この画面が表示されたら、「スキャン」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとに行う必要があります。「マカフィー・ウイルススキャン」は、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料で最新のウイルススキャンやウイルス定義ファイルのアップデートを行うことができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「マカフィー・ウイルススキャン」をご覧ください。

セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windows の起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードなら起動できることがあります。

セーフモードでは、Windows の最小限の機能しか使えません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを４秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す

4 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、【↑】【↓】を使って「セーフモード」を選び、【Enter】を押す

「Windows拡張オプションメニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

5 「オペレーティングシステムの選択」と表示されたときは、「Microsoft Windows XP Home Edition」または「Microsoft Windows XP Professional」を選び、【Enter】を押す

6 ユーザー選択の画面が表示されたときは、自分のユーザー名をクリック

7 「Windowsはセーフモードで実行されています。…」と表示されたら、「はい」をクリック

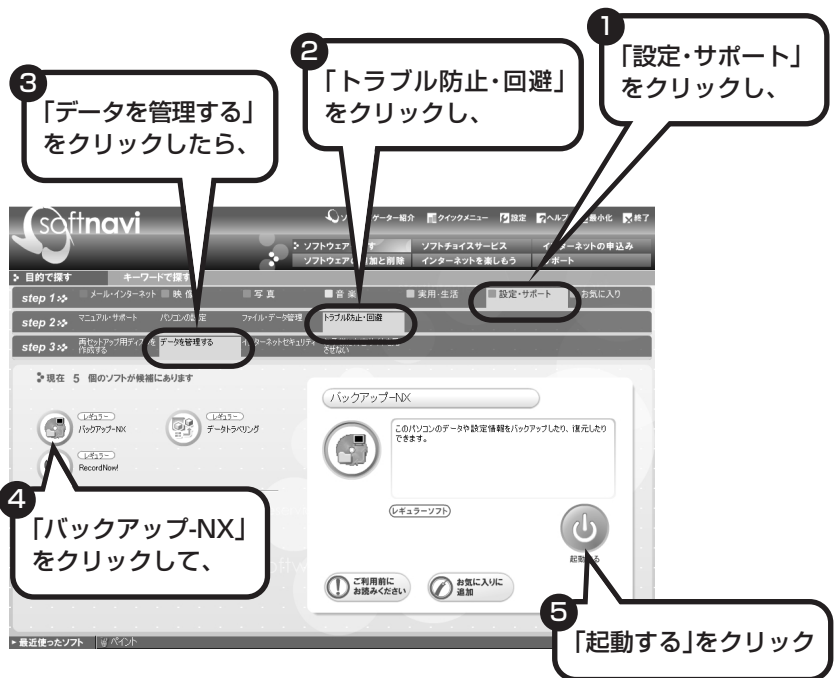
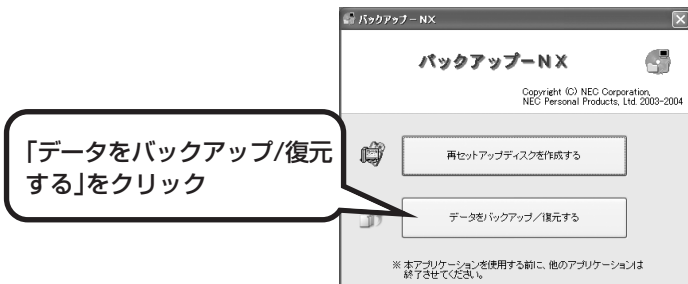
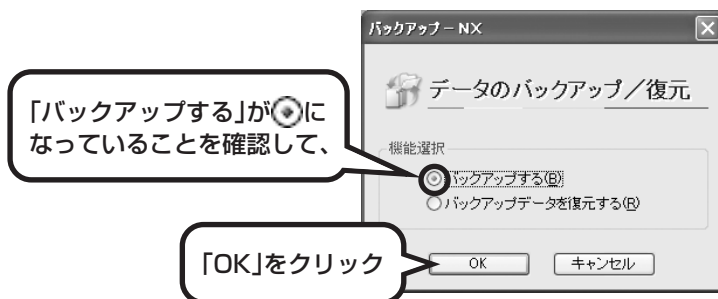
これで、パソコンをセーフモードで起動することができました。

この後、「スタート」-「終了オプション」-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「Windowsをセーフモードで起動する」をご覧ください。

データのバックアップを取る

システムの修復や再セットアップを行う前に、必ずデータのバックアップを取ってください。

1 デスクトップ画面の右側に表示されている softnavi（ソフトが見つかるソフトナビゲーター）をクリック

2 「バックアップ-NX」画面が表示されたら、「データをバックアップ／復元する」をクリック

3 この画面が表示されたら、「OK」をクリック

4 「バックアップするアプリケーション」、「バックアップするインターネット設定」のいずれも「すべて選択」に が付いていることを確認して、「開始」をクリック

5 「バックアップの実行」画面が表示されたら、「実行」をクリック

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

ここでは、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されます。再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップを行う場合は、Dドライブのデータも消えてしまいます。CD-R/RWディスクなどへデータのバックアップを取るようにしてください。

6 「バックアップは正常終了しました」と表示されたら、「閉じる」をクリックし、画面右上の をクリック

家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合、ユーザーの人数分だけバックアップが必要です。「スタート」-「ログオフ」-「ユーザーの切り替え」の順にクリックして、ユーザーごとにバックアップの手順を繰り返してください。

- 「バックアップ-NX」では、別売のアプリケーションソフトで作成したデータのバックアップを取ることもできます。ただし、ソフトによっては、バックアップできないものもあります。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「バックアップ-NX」をご覧ください。
- 「バックアップ-NX」でバックアップしたデータは、パソコンを再セットアップしたら、すぐに復元してください。復元が遅れると、再セットアップ以降に作成されたデータが失われることがあります。

システムの修復を試みる

システムの修復によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけを元に戻すことが可能です。この方法を使うと、「マイドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

- **システムの修復を行う前にデータのバックアップを行ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。**
- **システムの修復を行うときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。**
- **Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」で説明した手順1～7に従って、パソコンをセーフモードで起動してください。その後、次の手順で操作します。**

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」画面が表示されたら、「コンピュータを以前の状態に復元する」がになっていることを確かめ、「次へ」をクリック**

3 **カレンダーから復元したい日付をクリック**

太字で表示された日付から、トラブルが起きるようになる前の日付を選んでください。

4 **選択した日付の「復元ポイント」が複数表示されているときは、どれかをクリックして選択し、「次へ」をクリック**

5 **「復元ポイントの選択の確認」が表示されたら、内容を確認して「次へ」をクリック**

しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。

6 **「復元は完了しました」と表示されたら、「OK」をクリック**

これで、システムの修復は完了です。

「前回正常起動時の構成」でシステムを修復する

セーフモードでもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、【↑】【↓】を使って「前回正常起動時の構成」を選び、【Enter】を押す**

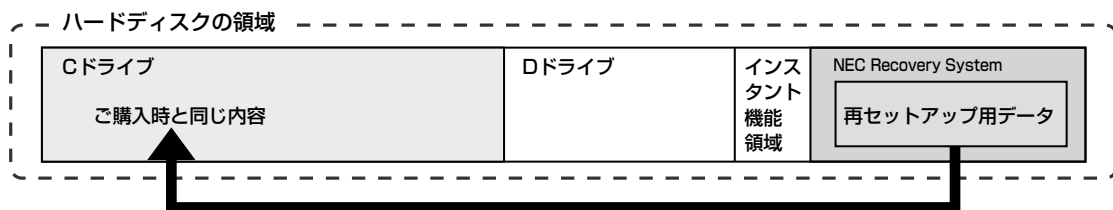
「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「オペレーティングシステムの選択」と表示されたときは、「Microsoft Windows XP Home Edition」または「Microsoft Windows XP Professional」を選び、【Enter】を押す**

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコンのハードディスクにあるＣドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

このパソコンのハードディスクには、あらかじめCドライブとDドライブという2つの領域と、インスタント機能用のデータが入っている領域が作られています。Cドライブには、Windowsやアプリケーションソフト、マイドキュメントなどに保存したファイルなどが入っています。Dドライブには、ソフトチョイス対応アプリケーションのセットアップ用データが入っています。アプリケーションソフトで作成したデータやバックアップデータの保存先にDドライブを指定した場合は、それらのファイルも入っています。
「再セットアップする（Cドライブのみ）」で説明する手順では、Dドライブの内容を残したまま、Cドライブだけをご購入時の状態に戻します。
ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ（NEC Recovery System）を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

ハードディスクにある再セットアップ用データを使って再セットアップ

このパソコンでは、ハードディスクにインスタント機能用のデータが入っている領域があるため、ドライブの領域を変更して再セットアップすることはできません。

再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続して行います。項目によっては（　）内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。
Office Professional 2003モデルの場合は、準備するものやOfficeの再セットアップ手順が異なります。『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

1 必要なものを準備する
2 バックアップを取ったデータを確認する
3 インターネットやLANの設定を控える
4 ユーザー名を控える
5 BIOSの設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ
6 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す
7 システムを再セットアップする（約1時間）
8 Windowsの設定をする（約30分）
9 Office Personal 2003を再セットアップする(約10分)
:Office Personal 2003モデルのみ
10 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
11 インターネットの設定などをやりなおす
12 別売のアプリケーションソフトをインストールしなおす
13 バックアップを取ったデータを復元する

バックアップは終わっていますね？

再セットアップを行うと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、138ページをご覧ください。

再セットアップを始めたら、途中でやめない！

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。途中でやめてしまうと、再セットアップを終わってもデータがもとどおりに復元されなかったり、一部のデータが失われたりすることがあります。

1 必要なものを準備する

Office Professional 2003モデルの場合は、『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、必要なものを準備してください。

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

- 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROM（Office Personal 2003モデルのみ）
- 「Microsoft® Office Home Style+」CD-ROM（Office Personal 2003モデルのみ）
- 『準備と設定』（本冊子）

その他、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

2 バックアップを取ったデータを確認する

138ページの「データのバックアップを取る」でDドライブにバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップし忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

3 インターネットやLANの設定を控える

再セットアップを行っても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザーID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバー
- ニュースサーバー
- アクセスポイントの電話番号（ダイヤルアップ接続の場合）

4 ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れて行ったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー 1」の欄に控えておきます。本冊子の34ページをご覧ください。「8.Windowsの設定をする」の作業を行うときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

	ユーザー名
ユーザー１（１人目）	
ユーザー２（２人目）	
ユーザー３（３人目）	
ユーザー４（４人目）	

- **家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。**
- **ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」、「半角と全角の区別」に注意してください。**

5 BIOSの設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOS の設定を変更していない場合は必要ありません。手順について詳しくは、『活用ブック』の「困ったときの解決法」-「画面になにもうつらない」-「パソコンの使用環境を変更したら、Windows が起動しない」をご覧ください。

6 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す

別売の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているモジュラーケーブルやLAN ケーブルも取り外してください。

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7 システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

次の手順を始める前に、必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを４秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

4 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

「再セットアップとは」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順２からやりなおしてください。

5 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、【↓】、【↑】を使って＜次へ＞を選び、【Enter】を押す

6 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、【↓】、【↑】を使って＜次へ＞を選び、【Enter】を押す

7 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、【↓】、【↑】を使って＜Ｃドライブのみ再セットアップ＞を選び、【Enter】を押す

8 「Ｃドライブのみ再セットアップ」の画面が表示されたら、【↓】、【↑】を使って＜再セットアップを開始する＞を選び、【Enter】を押す

再セットアップが始まります。再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

9 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す

Windows XP 再セットアップ
=====================

パソコンを再起動します。
Enterキーを押してください。

再起動後は、マニュアル『準備と設定』に記載されている
「Windowsの設定をする」以降の作業をしてください。

この画面が表示されなかったときは再セットアップが正常に行われていません。「7.システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

【Enter】を押して、パソコンが再起動されたら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

8 Windowsの設定をする

次の手順で操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されていることを確認する

2 「次へ」をクリック

3 「使用許諾契約」が表示されたら、「同意します」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

4 「コンピュータを保護してください」が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

5 「コンピュータに名前を付けてください」が表示されたら、そのまま、「次へ」をクリック

「LaVie」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

6 「管理者パスワードを設定してください」が表示された場合は、適当な管理者パスワードを入力する

「インターネットに接続する方法を指定してください」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたときは、手順６～８を省略して、手順９へ進んでください。

7 「パスワードの確認入力」の欄に、手順６で入力したパスワードと同じものを入力して、「次へ」をクリック

8 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示された場合は、「いいえ」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されずに、「インターネットに接続する方法を指定してください」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたときは、この手順を省略して手順９へ進んでください。

9 「インターネットに接続する方法を指定してください」または、「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたら、そのまま「省略」をクリック

10 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されたら、「いいえ」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

11 「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示された場合は、「いいえ」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

12 **「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック**

13 **「設定が完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック**

しばらくすると、「パソコンの診断が終了しました」と表示されます。

14 **[➡]をクリック**

15 **「121 ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック**

121 ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報を NEC からインターネット経由でお届けするサービスです。

16 **「設定が完了しました」と表示されたら、[➡]をクリック**

このパソコンのサポートサービスを紹介する映像が表示されます。映像終了後、「完了」をクリックすると、パソコンが再起動します。再起動後、「システムの復元ポイントの設定」画面が表示されます。しばらくすると、もう一度再起動します。これで Windows の設定は終了です。

Office Personal 2003 モデルの場合は、続けて「9.Office Personal 2003 を再セットアップする」に進んでください。

Office Professional 2003 モデルの場合は、『LaVie G シリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、Office Professional 2003 を再セットアップしてください。

その他のモデルの場合は、「10. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす」に進んでください。

9 Office Personal 2003を再セットアップする
（Office Personal 2003モデルのみ）

Office Professional 2003 モデルの場合は、『LaVie G シリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、Office Professional 2003 を再セットアップしてください。

このパソコンに入っている「Office Personal 2003」は、機能を厳選してインストールされています。ここでは、ご購入時と同じ状態でセットアップを行う手順を説明します。

必要のない機能を削除する方法や、あとから機能を追加する方法については、添付の「Office Personal 2003」のマニュアルをご覧ください。

1 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROMをセットする

2 「Microsoft Office 2003セットアップ」の画面が表示されたら、プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック

「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。

3 「ユーザー情報」が表示されたら、ユーザー名などを入力して「次へ」をクリック

ユーザー名などの欄には、何も入力しなくてもかまいません。

4 「インストールの種類」と表示されたら、「カスタムインストール」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

5 「カスタムセットアップ」と表示されたら、「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックして□を☑にして、「次へ」をクリック

6 「詳細なカスタマイズ」と表示されたら、「Microsoft Office」の左側にある[▭▾]をクリックして、「マイコンピュータからすべて実行」をクリック

このとき表示される一覧の中に、灰色で表示されているフォルダがないことを確認してください。あったときは、もう一度この手順をやりなおしてください。

7 「Microsoft Office Excel」の左側にある[+]をクリックし、「読み上げ」の左側にある[▭▾]をクリックして、「インストールしない」をクリック

「読み上げ」の左にあるアイコンが[✕▾]に変わります。

8 同じようにして「Office共有機能」の[+]-「入力システムの拡張」の[+]をクリックし、「音声」の左側にある[▭▾]をクリックして、「インストールしない」をクリック

9 「Microsoft Office Excel」の「読み上げ」、「Office共有機能」の「音声」、どちらも[✕▾]に変わったことを確認し、「次へ」をクリック

10 「ファイルの概要」と表示されたら、「完了」をクリック

インストールが始まります。

11 再起動するようにメッセージが表示されたら、「はい」をクリック

・「Microsoft Office 2003 のセットアップが正常に完了しました。」と表示されることもあります。その場合、「完了」をクリックしてください。

・「Webサイトで更新および追加ダウンロードをチェックする」の☐を☑にしないでください。

12「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROM を取り出す

続けて「Home Style⁺」をインストールします。

13「Microsoft® Office Home Style⁺」CD-ROM をセットする

14「Microsoft Office Home Style⁺セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

15「使用許諾契約書」が表示されたら、内容を確認し、「同意します」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

16「セットアップ先のフォルダ」と表示されたら、「次へ」をクリック

17「インストールタイプの選択」と表示されたら、「標準」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック

18「インストールの開始」と表示されたら、「次へ」をクリック

インストールが始まります。

19「セットアップは正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック

「Microsoft .NET Framework 1.1 パッケージをインストールしますか？」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

20「Microsoft® Office Home Style⁺」CD-ROM を取り出す

続けて「Office 2003 SP1」をインストールします。

21「スタート」-「マイコンピュータ」をクリックして、「Windows XP (C:)」をダブルクリック

「ファイルは表示されていません。」と表示された場合は、「このフォルダの内容を表示する」をクリックしてください。

22「APSETUP」フォルダをダブルクリック

23「O11SP1」フォルダをダブルクリック

24 「011Sp1PI」をダブルクリック

25 「Office 2003 Service Pack 1（プレインストール用）」の画面が表示されたら、「はい」をクリック

26 使用許諾契約の画面が表示されたら、内容に同意のうえ「はい」をクリック

インストールが始まります。「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、「無視」をクリックしてください。

27 再起動するようにメッセージが表示されたら、「はい」をクリック

これでOffice Personal 2003を使う準備ができました。

再セットアップ後、Office Personal 2003を最初に使用するとき

Outlook 2003やWord 2003、Excel 2003など、Office Personal 2003のソフトを最初に使用するときは、「Microsoft Office 2003ライセンス認証ウィザード」が表示されます。添付の『Microsoft® Office Personal Edition 2003スタートガイド』をご覧になり、ライセンス認証を行ってください。このライセンス認証手続きは、必ず、再セットアップの作業がすべて完了してから行ってください。

10 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす

ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定を行う

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

11 インターネットの設定などをやりなおす

再セットアップを行うと、インターネットの設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ（入会申し込み）をやりなおす必要はありません。
「バックアップ-NX」を使ってインターネットの設定をバックアップした場合は、簡単に復元することができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「バックアップ-NX」をご覧ください。
「バックアップ-NX」でインターネットの設定をバックアップしていない場合、本冊子の「第６章　パソコンを買い換えたかたへ」を参考にインターネットの設定を行ってください。

12 別売のアプリケーションソフトをインストールしなおす

パソコンに別売のアプリケーションソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールを行ってください。

13 バックアップを取ったデータを復元する

「バックアップ-NX」でバックアップしておいたデータを復元してください。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する

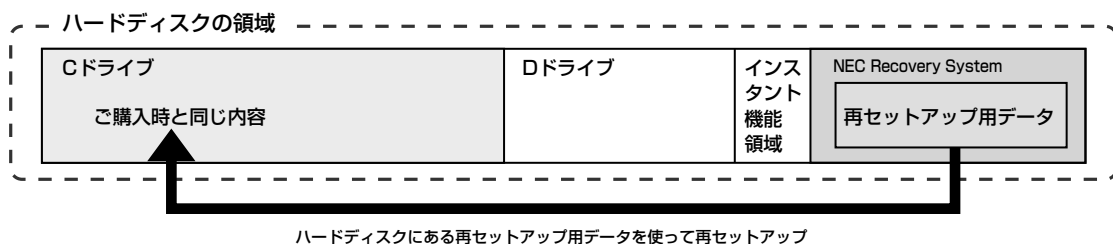
ここでは、再セットアップ用CD/DVD-ROMおよびソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMの作成手順を説明します。

再セットアップ用CD/DVD-ROMとは

このパソコンは、次のように、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを使って、再セットアップを行うしくみになっています。

ハードディスクの領域

Cドライブ	Dドライブ	インスタント機能領域	NEC Recovery System
ご購入時と同じ内容			再セットアップ用データ

ハードディスクにある再セットアップ用データを使って再セットアップ

通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(142ページ)をご覧になり、上記の方法で再セットアップしてください。
その他に、ここで作成する「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を使った再セットアップ方法が利用できます。

ご購入時の状態

ハードディスクの領域

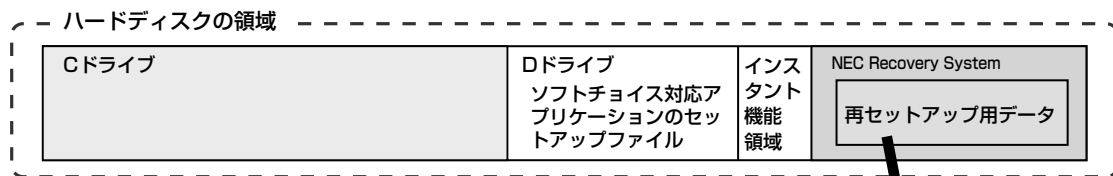
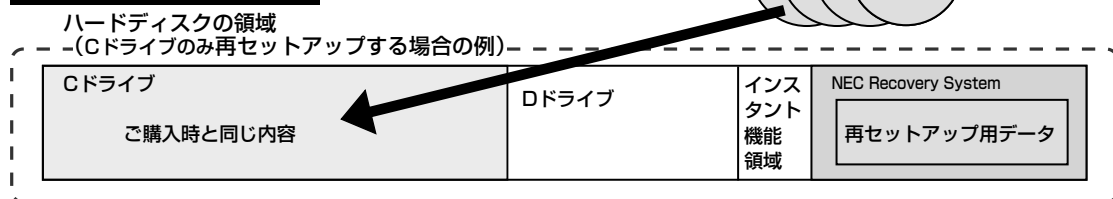
Cドライブ	Dドライブ	インスタント機能領域	NEC Recovery System
	ソフトチョイス対応アプリケーションのセットアップファイル		再セットアップ用データ

再セットアップ用データをCD-RまたはDVD-Rに移す

CD-RまたはDVD-Rに保存されている再セットアップ用データを使って再セットアップ

再セットアップ後の状態

ハードディスクの領域
(Cドライブのみ再セットアップする場合の例)

Cドライブ	Dドライブ	インスタント機能領域	NEC Recovery System
ご購入時と同じ内容			再セットアップ用データ

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する

「再セットアップ領域」（NEC Recovery System）に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリックすると、次のいずれかのメッセージが表示され、再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成できません。

・「必要なファイルが見つからないため、ソフトウェアを実行できません。」
・「再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成に必要なファイルが見つからないため、ソフトウェアを実行できません。」

再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。

・手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

未使用のCD-Rディスクまたは未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。157ページの手順4で画面に表示される枚数を確認してください。再セットアップ用CD/DVD-ROMとソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMの両方を作成するために必要な枚数を用意してください。作成には、CD1枚につき最大約30分、DVD1枚につき最大約100分かかります。

・必ず次の容量のディスクを用意してください。
　CD-Rディスクの場合：700Mバイトまたは650Mバイトのもの
　DVD-Rディスクの場合：4.7Gバイトのもの
・次のディスクは使用できません。
　CD-RW、DVD-RW、DVD+R/RW、DVD-RAM、2層式DVD
・作成済みの再セットアップ用CD/DVD-ROMも販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
　URL： http://nx-media.ssnet.co.jp

RecordNow!がインストールされていることを確認する

CD-R または DVD-R へのデータ書き込みには「RecordNow!」というソフトが必要です。このパソコンにあらかじめインストールされていますが、削除してしまっているときは、追加しておいてください。ソフトを追加する方法については、「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフトの追加と削除」をご覧ください。

作成の手順を始める前に

ほかのアプリケーションソフトが起動していると、CD-RまたはDVD-Rへの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作を行ってください。

- **スクリーンセーバーが起動しないようにする**
- **自動的にスタンバイ状態／休止状態にならないように設定する**
- **起動中のアプリケーションをすべて終了する**
- **常駐プログラム（ウイルス対策ソフトなど）をすべて終了する**
- **Cドライブの空き容量を、CD-Rの場合800Mバイト以上、DVD-Rの場合4.5Gバイト以上確保しておく**

1 用意した CD-R または DVD-R ディスクをセットする

「Windowsが実行する操作を選んでください」と表示されたときは、「何もしない」をクリックし、「常に選択した動作を行う」の☐をクリックして☑にしてから、「OK」をクリックしてください。

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック**

次の画面が表示されます。

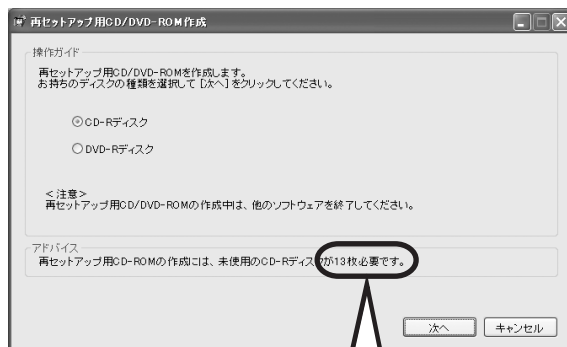
・ソフトチョイス用アプリケーションがないモデルをご利用の場合、「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」は表示されません。ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除している場合も同様です。

・ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成した後で、この画面を表示すると、「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」という表示が追加されます。

3 **作成する CD/DVD-ROM の種類を選び、「次へ」をクリック**

はじめて作成するときは、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」、「ソフトチョイス用アプリケーション CD/DVD-ROM」の順番で作成してください。

4 **次の画面が表示されたら、セットしたディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック**

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

5 次の画面が表示されたら、書き込み速度を選び、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で、作成開始ディスク: 1枚目 の をクリックすると、途中から作成するように指定することもできます。

用意したCD-RまたはDVD-Rディスクに対応した書き込み速度を選んでください。また、書き込みに失敗した場合は、書き込み速度を落としてから再度作成してください。

6 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7 「OK」をクリック

ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入します。続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成が終わったら、同じようにしてソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMも作成してください。

作成した再セットアップ用CD/DVD-ROMおよびソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除するには

D ドライブからソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルのみを削除して、D ドライブの空き容量を増やすことができます。その場合、ソフトチョイス用アプリケーション CD/DVD-ROM を作成した後で、「再セットアップディスク作成ツール」を起動し、「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」を選んで、「次へ」をクリックしてください。あとは画面のメッセージにしたがって操作を進めてください。

Dドライブからソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除した場合、ソフトナビゲーターからソフトチョイス対応アプリケーションをインストールするように操作したときは、ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMをセットするように表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って再セットアップする

再セットアップ用CD/DVD-ROMを使ってできることを説明します。

再セットアップ用CD/DVD-ROMで可能なこと

目的に応じて、次の再セットアップを行うことができます。

C ドライブのみ再セットアップ

C ドライブの領域のみ再セットアップを行い、D ドライブの内容は再セットアップを行う前の状態のまま残します。142 ページの「再セットアップする（C ドライブのみ）」で説明している内容と同じです。

ハードディスクの状態をご購入時から変更した場合（ダイナミックディスクなど）、この方法での再セットアップはできません。この場合、「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」を行ってください。

ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップを行います。再セットアップ用CD/DVD-ROMの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約２時間かかります。パソコンをご購入時の状態に戻したいときに利用します。

- **この方法で再セットアップを行うと、それまでのハードディスクの内容は C ドライブ、D ドライブ（ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを含む）ともにすべて失われます。**
- **Dドライブのソフトチョイス用アプリケーションは復元されません。今後、ソフトチョイス用アプリケーションをインストールする場合は、「再セットアップディスク作成ツール」で作成したソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROM を使用してください。**

ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去を行います。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows XP標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。

消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。

この方法でハードディスクの消去を行っても、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NECフィールディングホームページURL： http://www.fielding.co.jp

再セットアップ用CD/DVD-ROMを使った再セットアップ手順

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

1 作成した再セットアップ用CD/DVD-ROMを用意する

2 142ページの「再セットアップする(Cドライブのみ)」を読み、「1.必要なものを準備する」から「6.別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業を行う

3 パソコンの電源スイッチを押し、電源を入れる

4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップ用CD/DVD-ROM(1枚目)をセットする

しばらくすると、次の画面が表示されます。

```
Windows XP再セットアップ
========================
 【再セットアップとは】
 再セットアップとは、ハードディスクのCドライブの状態をご購入時の状態に戻す
 ことで、次のような場合に行います。

   ・何らかの原因で、ハードディスク内のシステムが正しく動作しないため、パソ
     コンの動作が不安定であったり、電源を入れてもパソコンが起動しない。
   ・再セットアップしないと復元できない機能をパソコンから削除した。

 再セットアップについては、パソコンに添付されているマニュアル『準備と設定』
 を必ずご覧の上、操作してください。

 《注意!》
   ・再セットアップは、途中で中断しないでください(中断した場合は、最初から
     やり直してください)。

 ●続けるときは、Enterキーを押します。
 ●中止するときは、F3キーを押します。
```

この画面が表示されずに、通常のWindowsデスクトップが表示されてしまったときは、再セットアップ用CD/DVD-ROMをセットしたまま、パソコンを再起動(「スタート」-「終了オプション」-「再起動」の順にクリック)してください。

5 画面の説明を読み、【Enter】を押す

6 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、【↓】、【↑】を使って<次へ>を選び、【Enter】を押す

7 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、【↓】、【↑】を使って<次へ>を選び、【Enter】を押す

8 **「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、【↓】、【↑】を使って再セットアップの種類を選び、【Enter】を押す**

9 **以降は、画面の指示にしたがって操作する**

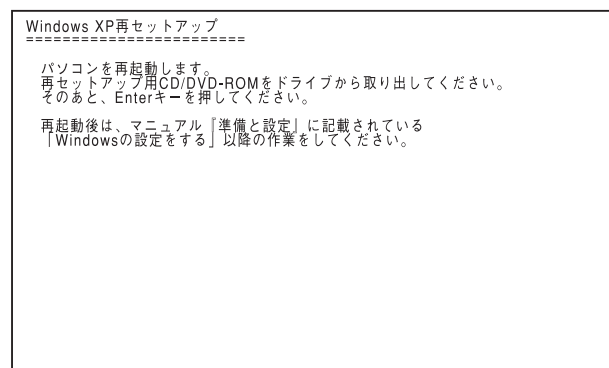
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。
ディスクを交換するように指示が表示されたら、再セットアップ用CD/DVD-ROMを順番にセットしてください。

ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップが行われている間は、画面に指示が表示されない限り、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

再セットアップが終わると次の画面が表示されます。

```
Windows XP再セットアップ
========================

  パソコンを再起動します。
  再セットアップ用CD/DVD-ROMをドライブから取り出してください。
  そのあと、Enterキーを押してください。

  再起動後は、マニュアル『準備と設定』に記載されている
  「Windowsの設定をする」以降の作業をしてください。
```

この画面が表示されたら、再セットアップ用CD/DVD-ROMを取り出し、【Enter】を押してください。パソコンが自動的に再起動して「Windowsへようこそ」画面が表示されます。

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。最初からやりなおしてください。

10 **147ページの「8.Windowsの設定をする」以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などをする**

「13.バックアップを取ったデータを復元する」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

第9章

パソコン内部に取り付ける

メモリを増設して、パソコンをパワーアップすることができます。パソコン内部の他の部品を傷つけたりしないよう、手順の説明をよく読んでから作業してください。

メモリ

メモリを増やすことで、より多くのソフトを同時に起動したり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。このパソコンでメモリを増やすときには、別売の増設 RAM（ラム）ボードをメモリスロットに取り付けます。

メモリを増やすには

どのくらいメモリを増やすかを決める

このパソコンでは、最大2,048Mバイトまで増やせます。

必要なものを準備する

必要な増設RAMボードなどを準備します。

増設RAMボードを取り付ける

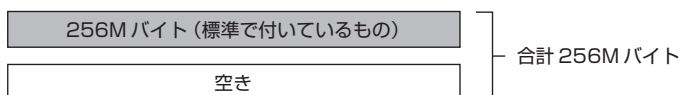
本体底面のメモリスロットカバーを取り外し、用意した増設RAMボードを専用のスロットに取り付けます。取り付けたらカバーをもとに戻します。

メモリが増えたかどうか確認する

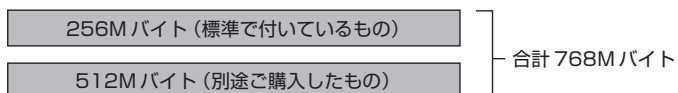
本体の電源を入れて、増やしたメモリがこのパソコンで使えるようになっているかどうか確認します。

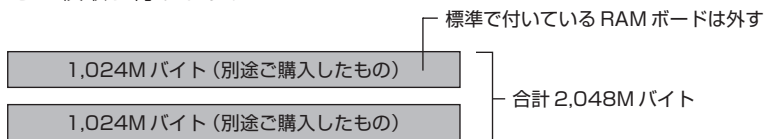
メモリの増やし方の例

このパソコンには、増設RAMボード（SO-DIMM：エスオーディム）を差し込むスロット(コネクタ)が、2つ用意されています。標準では、この内の1つのスロットに256Mバイトの RAM ボードが付いています。

ここでは、標準で256Mバイトの RAM ボードが付いている場合を例にメモリの増やし方を説明します。

空いている残りの1スロットに、増設RAMボードを追加することで、メモリを増やします。また、標準で付いているRAMボードを取り外して、より大きな容量の増設RAMボードに取り替えることもできます。メモリは、最大で2,048Mバイト（1,024Mバイトの増設RAMボード×2枚）まで増やすことができます。

● 例1：768Mバイトにする場合

512Mバイトの増設RAMボードを1枚追加します。

● 例2：2,048Mバイト（最大）にする場合

標準で付いているRAMボードを取り外し、1,024Mバイトの増設RAMボードを2枚取り付けます。

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けたメモリの総容量より少ない値になります。

このパソコンで使える増設RAMボード

パソコンのメモリを増やすときには、「増設 RAM ボード」というボードを使います。このパソコンでは、次の増設 RAM ボードを使うことをおすすめします。

型名	メモリ容量
PK-UG-M050	256Mバイト
PK-UG-M051	512Mバイト
PK-UG-M052	1,024Mバイト

(DDR SDRAM/SO-DIMM、PC2700 タイプ)

このパソコンでは、「SIMM(シム)」やDDRが付かない「SDRAM/SO-DIMM」というタイプの増設RAMボード(メモリ)は使用できません。間違ってご購入しないように注意してください。
市販の増設RAMボードに関する動作保証やサポートはNECでは行っていません。販売元にお問い合わせください。

増設RAMボードを取り扱うときの注意

- 増設RAMボードは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。

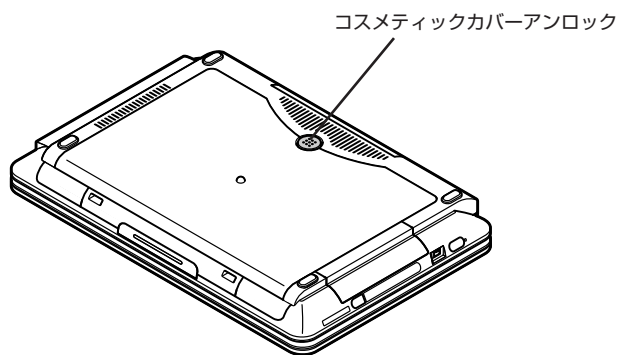
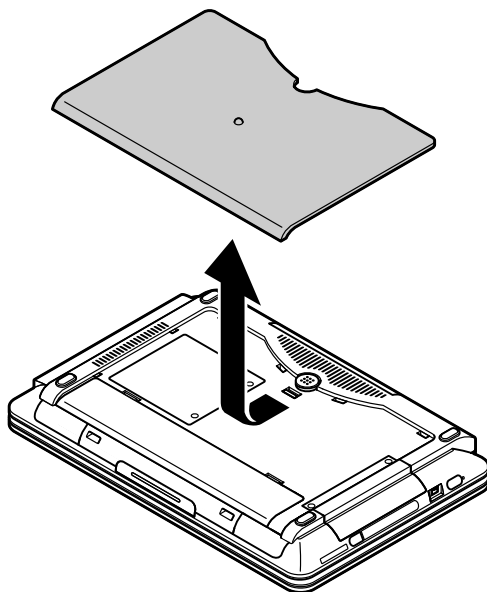
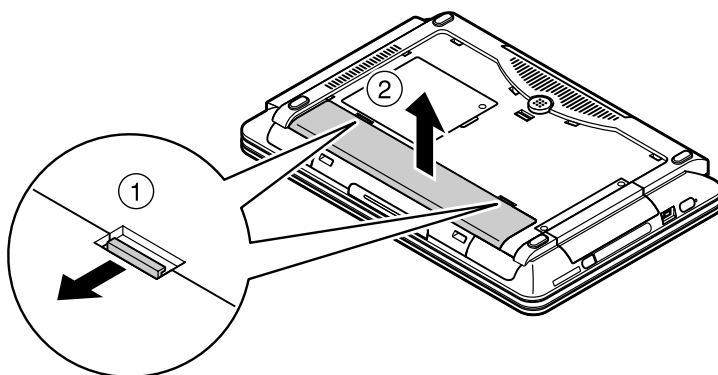
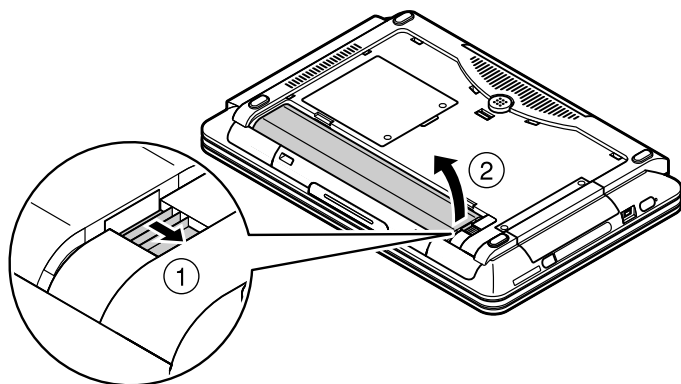
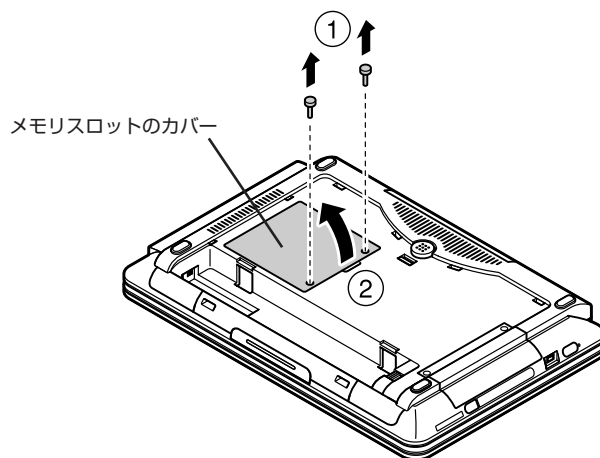
増設RAMボードの取り付けと取り外し

増設 RAM ボードを取り付ける

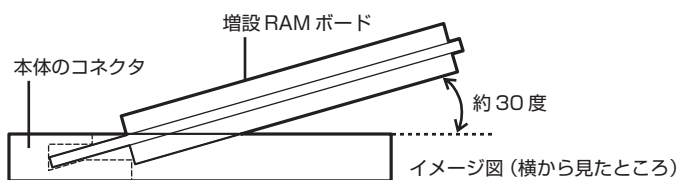
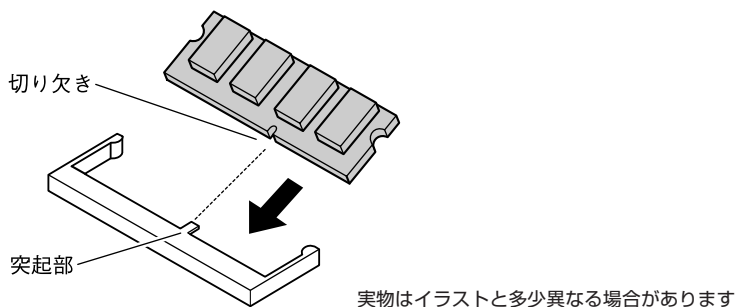
1 パソコンの電源を切る

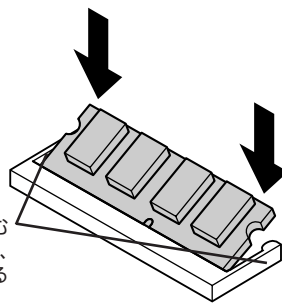
2 電源コードのプラグをコンセントから抜いて、ACアダプタをパソコンから取り外す

3 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す

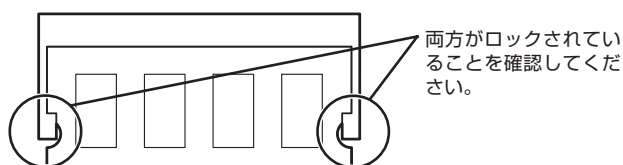
4 本体底面のコスメティックカバーアンロックを押す

5 本体底面のコスメティックカバーを取り外す

6 バッテリのカバーのツメを外して、バッテリのカバーを取り外す

7 バッテリパックの横にあるバッテリアンロック（🔓）を矢印の方向にずらしたまま、バッテリパックを矢印の方向へ取り外す

8 図のネジをプラスドライバでゆるめて、メモリスロットのカバーを取り外す

9 増設RAMボードの切り欠き部分とコネクタの突起部を合わせ、コネクタに対して約30度の角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで差し込む

増設RAMボードが奥まで入っている場合は、端子部分（金色）のほとんどが、本体のコネクタに差し込まれた状態になります。

増設RAMボードの表と裏が間違っている場合、増設RAMボードの切り欠きとコネクタの突起部の位置が合わず、差し込むことができません。間違った向きのままで無理に取り付けようとすると、パソコンのコネクタ部や増設RAMボードが破損する原因となりますので注意してください。

差し込むときに、コネクタが固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれがあります。

10 カチッと音がする位置まで増設RAMボードをコネクタに強く倒し込む

11 増設RAMボードがコネクタにしっかりロックされたことを確認する

正しくロックされている場合は、増設RAMボードが水平で、端子の金色の部分が少し（1mm程度）見える状態です。

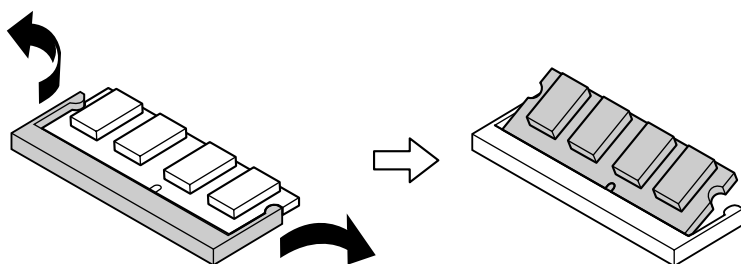
確実にロックされていないと、本体のコネクタ部や増設RAMボードの故障の原因となります。また、パソコンが正しくメモリを認識できないこともあります。

12 メモリスロットのカバーをもとに戻し、ネジでカバーを本体底面に取り付ける

13 バッテリパック、バッテリのカバー、コスメティックカバー、ACアダプタを取り付ける

増設RAMボードを取り外す

1 この項の「増設RAMボードを取り付ける」の手順1～8を行い、メモリスロットのカバーを取り外す

2 メモリスロットのコネクタの両端部分を左右に押し広げる

増設RAMボードが図のように起き上がります。

3 起き上がった増設RAMボードをそのまま斜めに引き抜く

4 メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジを本体底面に取り付ける

5 バッテリパック、バッテリのカバー、コスメティックカバー、ACアダプタを取り付ける

増やしたメモリ容量を確認する

パソコンの電源を入れてみて、増やしたメモリが本当に使えるようになったかどうかを確認します。

1 デスクトップの（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリック

「サポートナビゲーター」の画面が表示されます。

2 パソコンの情報 をクリック

3 メモリ容量を確認する

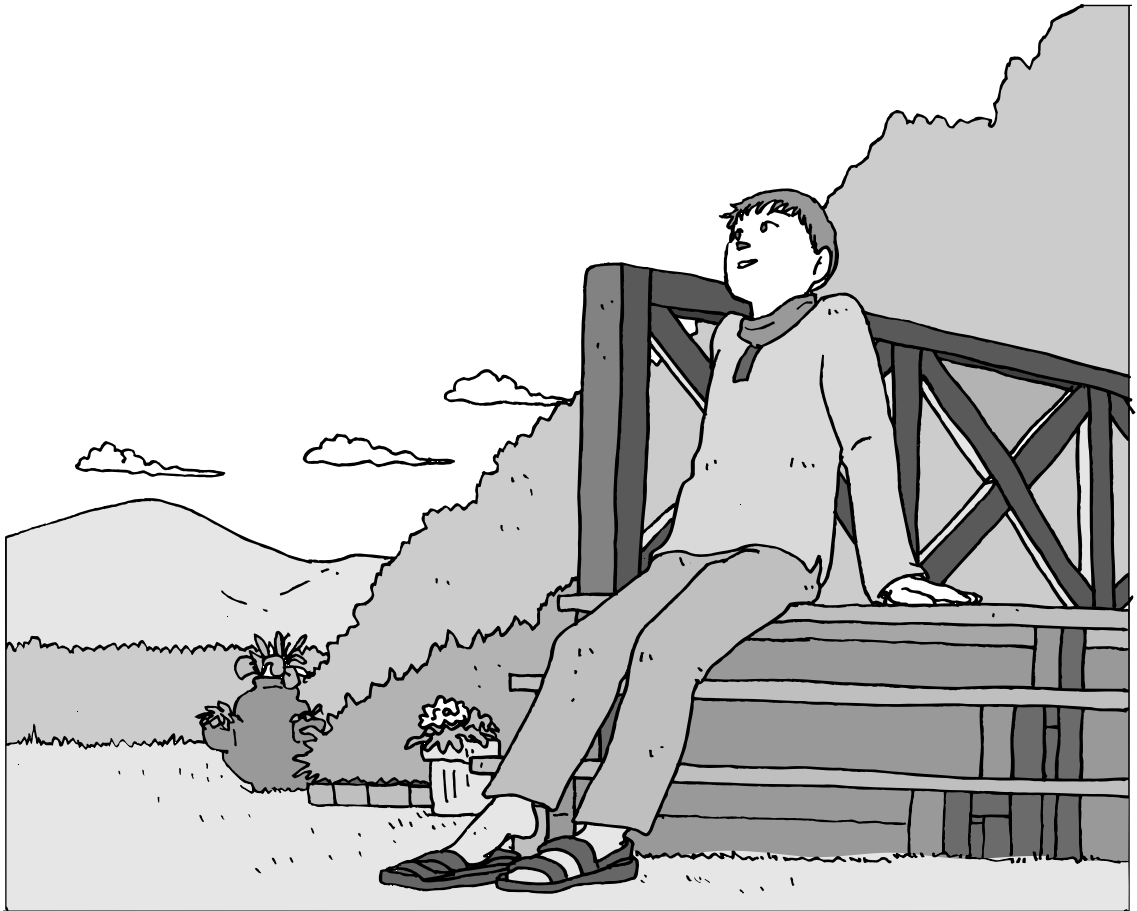
増やした後の全メモリ容量（標準で入っている容量＋増設した容量）が表示されているのを確認してください。

- ここでは、増やした後の全メモリ容量より数Mバイト少なく表示される場合がありますが故障ではありません。
- メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

メモリが増えていなかったら

表示されたメモリの大きさが増えていなかった場合には、次のことを確認してください。

- メモリが正しく取り付けられているか？
- このパソコンで使える増設RAMボードを取り付けているか？

付　録

パソコンのお手入れ

パソコンが汚れたときなど、日常のお手入れのしかたを説明します。

水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。

準備するもの

軽い汚れのとき

乾いたきれいな布

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布

シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

こんなものもあると便利

・OA 用クリーニングキット

OA用クリーニングキットについては、NEC 121 コンタクトセンターにお問い合わせください。

・中性洗剤

・掃除機など

パソコンの電源を切って、電源コードを抜いてから

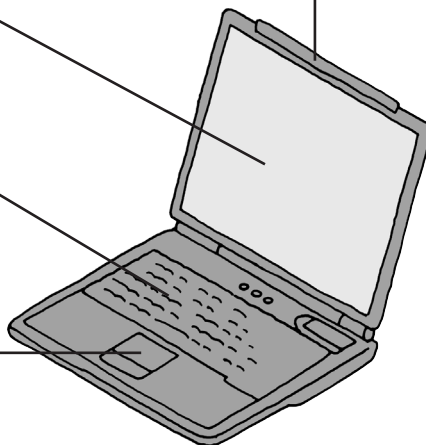
お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切ってください。電源コードはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

液晶ディスプレイ
やわらかい素材の乾いたきれいな布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。
キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。
ゴミが取れないときは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

NXパッド
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

電源コード／ACアダプタ
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。
定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

マウス（添付モデルのみ）
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

※イラストはイメージ図です。

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。バッテリについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「バッテリ」をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュを行うことでバッテリの性能を回復できます。

バッテリリフレッシュを行うのは、次のようなときです。

・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときに行ってください。

バッテリリフレッシュを行う

1 パソコンの電源を切る

2 バッテリリフレッシュを行いたいバッテリパックをパソコンに取り付ける

3 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをコンセントに差し込む

バッテリ充電ランプ（▭）が点滅している場合は、一度ACアダプタを取り外し、バッテリパックを取り付けなおしてください。

4 バッテリをフル充電する

バッテリがフル充電されると、バッテリ充電ランプが消灯します。

5 パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

BIOSセットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおして、【F2】を押す間隔を変えてください。

6 電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタをパソコンから取り外す

7 【→】を押して「終了」を選び、【↓】を押して「バッテリリフレッシュ」を選んでから【Enter】を押す

バッテリリフレッシュがはじまります。

バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。また、バッテリリフレッシュ中は AC アダプタを接続しないでください。

バッテリリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンの電源が切れます。
電源が切れたら、ACアダプタと電源コードを接続してバッテリをフル充電してください。

バッテリリフレッシュを中断する

バッテリリフレッシュを中断するときは、電源スイッチを約４秒以上押し続けてください。バッテリリフレッシュが中断されて、パソコンの電源が切れます。

バッテリリフレッシュ中に、【Esc】を押したり、AC アダプタを接続したりすると、バッテリリフレッシュの中断を確認するメッセージが表示されます。このとき、AC アダプタを接続している場合は AC アダプタを取り外した後、【↑】または【↓】を押して「Continue Battery Refresh」を選んで【Enter】を押してください。バッテリリフレッシュが続行されます。

アフターケアについて

このパソコンに対する保守サービスや、消耗品・消耗部品の内容について説明します。

保守サービスについて

保守サービスについては、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。詳しくは、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

NEC 121コンタクトセンターなどにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

消耗品と消耗部品について

このパソコンには、消耗品と消耗部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長時間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

種類	内容	該当品または部品（代表例）
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、バッテリ、乾電池等
消耗部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくはNEC 121コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口にご相談ください。	液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、CD/DVDドライブ、フロッピーディスクドライブ、キーボード、マウス、ファン、NXパッド

- 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは「仕様一覧」をご覧ください。
- 消耗部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で約5年です（ご使用になる頻度により差が生じます。また、上記の目安時期前に交換が必要となることがあります）。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

パソコンの譲渡、廃棄、改造について

パソコンを他人に譲るとき、廃棄のときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造は行わないでください。

このパソコンを譲渡するには

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法については、160ページ「再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って再セットアップする」をご覧ください。

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡（売却）する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること（本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください）。

※ 第三者に譲渡（売却）する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイアカウント(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除いただくか、または121ware（ワントゥワンウェア）登録センター（TEL:0120-469-121）までご連絡いただき、必ず登録削除の手続きをお願いします。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。http://121ware.com/my/にアクセスし、「新規登録」でログインIDを取得した後に、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録することができます。

インターネットに接続できないかたは、お客様登録に必要な次の事項を記入し、下記宛先に郵送してください。

1. 本体型番、型名のいずれかと保証書番号
   （本体背面／底部または保証書に記載の型番／型名のいずれかと製造番号）
2. 氏名、住所、電話番号、eメールアドレス、中古購入された場合はその購入先、購入日

宛先

〒183-8501　東京都府中市日新町1-10（NEC府中事業場）
121ware登録センター係

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板（パソコン本体の底面にある型番、製造番号が記載されたラベル）に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」（URL：http://121ware.com/support/recyclesel/）
をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NEC 121コンタクトセンター
廃棄のお問い合わせ　受付時間：9:00～17:00（祝日は除く）
0120-977-121

電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようにおかけください。
携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。

03-6670-6000（東京）（通話料金はお客様負担となります）

当該製品が事業者から排出される場合（産業廃棄物として廃棄される場合）、当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html

※本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリカード上のデータ消去に関するご注意

パソコンのハードディスクやメモリカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化（フォーマット）」、「メモリカードの初期化（フォーマット）」、「パソコンの再セットアップ」などの操作を行うと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。

「パソコンの再セットアップ」でデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクのみです。

このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリカードから消去されたはずのデータを読みとることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用される恐れがあります。

お客様が廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスクおよびメモリカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊（メモリカードの場合は、金槌による物理的破壊のみ）して、読めなくすることを推奨します。有償のデータ消去サービスは、NECフィールディング株式会社にご依頼ください。

NECフィールディングホームページURL：
http://www.fielding.co.jp

また、ハードディスクやメモリカード上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認を行ってください。

パソコンの改造は行わない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

仕様一覧

本体仕様一覧

LN500/AD1、LN500/AD2、LN300/AD1、LN300/AD2

型名			LN500/AD1	LN500/AD2	LN300/AD1	LN300/AD2
型番			PC-LN500AD1	PC-LN500AD2	PC-LN300AD1	PC-LN300AD2
インストールOS・サポートOS			Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2＊1			
CPU＊2			インテル® Pentium® M プロセッサ 715（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ搭載＊3）		インテル® Celeron® M プロセッサ 320	
クロック周波数			1.50GHz		1.30GHz	
キャッシュメモリ	1次		インストラクション用32KB/ データ用32KB(CPU内蔵)			
	2次		2048KB(CPU内蔵)		512KB(CPU内蔵)	
バスクロック	システムバス		400MHz			
	メモリバス		333MHz			
チップセット			Intel社製 82855GME / 82801DBM			
メモリ（メインRAM）＊4	標準容量		256MB＊5(DDR SDRAM/SO-DIMM、PC2700対応)			
	スロット数		2スロット[空きスロット1]			
	最大容量		2GB＊6			
表示機能	内蔵ディスプレイ		12.1型ワイド 高輝度・低反射・TFTカラー液晶(スーパーシャインビュー液晶)(WXGA(最大1,280×768ドット表示))			
	ビデオRAM		最大64MB＊5＊7			
	グラフィックアクセラレータ		Intel社製 82855GMEに内蔵 [AGP対応]			
	解像度・表示色＊8＊9（別売の外付けディスプレイ接続時＊10＊11）	800×600ドット	最大1,677万色＊12(最大1,677万色)			
		1,024×768ドット	最大1,677万色＊12(最大1,677万色)			
		1,280×768ドット	最大1,677万色＊12(－)			
		1,280×1,024ドット	最大1,677万色＊12(最大1,677万色)			
		1,600×1,200ドット	最大1,677万色＊12(最大1,677万色)			
インスタント機能＊13			CD再生＊14/DVD再生＊15			
サウンド機能	音源／サラウンド機能		PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48KHz 、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI<XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応＊16>)、マイクノイズ除去機能、3Dポジショナルサウンド			
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/1.0W + 1.0W			
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載			
通信機能	FAXモデム＊17		データ通信：最大56Kbps＊18(V.90対応)／ＦＡＸ通信：最大14.4Kbps(V.17)			
	LAN		100BASE-TX/10BASE-T対応			
	ワイヤレスLAN		デュアルモードワイヤレスＬＡＮ本体内蔵(IEEE802.11b/g準拠、WEP(64/128bit)対応、WPA-PSK(TKIP/AES)対応)＊19＊20			
	Bluetooth®		本体に内蔵(Bluetooth® Specification Version 1.2準拠)＊21 (Class2)			
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ19mm＊22、キーストローク3.0mm)、JIS標準配列(87キー)、右コントロールキー付き			
	マウス		Bluetoothマウス＊23(シルバー、スクロール機能付き、Bluetooth Specification Version 1.1準拠(Class2))		光センサーUSBミニマウス(シルバー、スクロール機能付き)	
	ワンタッチスタートボタン		ワンタッチスタートボタン、おでかけボタン、CD/DVDコントロールボタン、QuickStartボタン搭載			
	ポインティングデバイス		スクロール機能付NXパッド標準装備			
フロッピーディスクドライブ			－【別売、専用オプション(型番:PC-VP-WU14)＊24】			
ハードディスクドライブ＊21			約60GB＊26(UltraATA-100)			
CD/DVDドライブ			スロットインDVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)内蔵＊27(バッファアンダーランエラー防止機能付き)			
	速度		DVD-RAM読出し：最大2倍速＊28、DVD-RAM書換え：最大2倍速＊28＊29、DVD+R書込み：最大2.4倍速、DVD+RW書換え：2.4倍速、DVD-R書込み：最大4倍速＊30、DVD-RW書換え：最大2倍速＊31、DVD読出し：最大8倍速、CD読出し：最大24倍速、CD-R書込み：最大16倍速、CD-RW書換え：最大8倍速＊32			

型名		LN500/AD1	LN500/AD2	LN300/AD1	LN300/AD2
スロット	PCカード	Type Ⅱ×1、PC Card Standard準拠、CardBus対応			
	SDメモリーカード	トリプルメモリースロット×1＊33			
	メモリースティック（メモリースティックPRO）	トリプルメモリースロット×1＊33			
	xDピクチャーカード	トリプルメモリースロット×1＊33			
インターフェイス	USB	コネクタ4ピン×3(USB2.0×3)			
	IEEE1394(DV)	4ピン×1			
	ディスプレイ(アナログ)	ミニD-sub15ピン×1			
	FAXモデム	RJ11モジュラコネクタ×1			
	LAN	RJ45コネクタ×1			
サウンド関連インターフェイス	光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力	光ミニジャック×1(ヘッドフォン出力／ライン出力と共用)			
	ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル　1Vrms)			
	マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧 3.7V)			
	ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス　16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力　5mW/32Ω)			
映像関連インターフェイス	ビデオ出力(TV－OUT)	S端子×1			
バッテリ駆動時間＊34＊35	標準	約4.7時間		約4.2時間	
バッテリ充電時間(電源ON時／OFF時)＊34	標準	約3.0/約3.0時間			
電源＊36		リチウムイオンバッテリまたはAC100～240V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由)＊37			
消費電力	標準	約16W			
	最大	約60W			
エネルギー消費効率(ACアダプタを含む)＊38		S区分0.00018(AAA)		S区分0.00020(AAA)	
電波障害対策		VCCI ClassB			
温湿度条件		5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)			
外形寸法	本体(突起部除く)	298(W)×199.0～202(D)×37.9(H)mm			
	バッテリ	約202(W)×39.7(D)×19.6(H)mm			
	ACアダプタ	約114.5(W)×49.5(D)×29.0(H)mm			
質量	本体(標準バッテリパック含む)	約2.1kg＊39			
	マウス	約70g＊40		約65g	
	バッテリ	約325g			
	ACアダプタ	約280g			
主な添付品		ACアダプタ(白)、マニュアル、回線ケーブル、ソフトケース、Bluetooth®マウス(シルバー)＊23、乾電池(単三アルカリ：2本)、充電機能付きスタンド、コスメティックカバー		ACアダプタ(白)、マニュアル、回線ケーブル、ソフトケース、光センサーUSBミニマウス(シルバー)、充電機能付きスタンド、コスメティックカバー	
主なインストールソフト		Microsoft® Office Personal Edition 2003			

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

＊　1：添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。Microsoft® Windows® XP Home Editionでは、ネットワークでドメインに参加する機能はありません。別売のMicrosoft® Windows® XP Home EditionパッケージやMicrosoft® Windows® XP Professionalパッケージをインストールおよび利用することはできません。なお、本シリーズでは再セットアップ時にパーティションを変更できません。
＊　2：使用環境や負荷によりＣＰＵ動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
＊　3：電源の種類（AC電源、バッテリ）やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。
＊　4：使用可能な増設メモリは、PK-UG-M050(256MB,PC2700)、PK-UG-M051(512MB,PC2700)、PK-UG-M052(1024MB,PC2700)を推奨します。
＊　5：ビデオRAMはメモリ(メインRAM)を使用します。
＊　6：最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設RAMボード(1024MB)を２枚実装する必要があります。
＊　7：Intel® DynamicVideoMemoryTechnologyを使用し、パソコンの利用状況によってメモリ容量が変化します。
＊　8：本体液晶ディスプレイより大きい解像度を選択した場合は、バーチャルスクリーン機能により実現します。
＊　9：本体液晶ディスプレイより小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能により液晶画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
＊ 10：本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示が可能です。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
＊ 11：インスタント機能使用時は外付けディスプレイへの出力はできません。
＊ 12：1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
＊ 13：InterVideo® InstantON™により実現しています。
＊ 14：市販の音楽CDおよびCD-DAフォーマットで作成されたCD-ROM、CD-R/RWのみ再生可能です。CD-EXTRAやCD-TEXTは音楽データのみ再生可能です。
＊ 15：市販のDVDビデオおよびVideoフォーマットで作成されたDVD-R/RWのみ再生可能です。ビデオCDには対応しておりません。
＊ 16：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
＊ 17：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
＊ 18：最大56Kbpsはデータ受信時の理論上の最大速度です。データ送信時は最大33.6Kbpsになります。
＊ 19：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
＊ 20：本製品に内蔵のワイヤレスLANモジュールは「Wi-Fi®」認定取得しています。
＊ 21：Bluetooth® V1.0、Bluetooth® V1.0B仕様のBluetooth対応機器とは互換性がありません。
通信速度：最大723kbps。通信距離：最大10m。
通信速度はBluetooth® Specification Ver1.2規格による速度（理論値）であり、実行速度とは異なります。また、周囲の電波環境、障害物、設置環境、アプリケーションソフトウェア、OSなどによって通信速度、通信距離に影響を及ぼす場合があります。
＊ 22：キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
＊ 23：Bluetooth® Ver1.1仕様です。マウスの電池寿命はマウスを連続して操作した場合、アルカリ乾電池で最大約40時間です。市販の単三充電池もご利用いただけます。また、使用可能な距離は約3mです。(電池寿命や距離はご使用の環境条件や方法により異なります)。
＊ 24：2モード(720KB/1.44MB)に対応しています(ただし720KBのフォーマットは不可です)。
＊ 25：1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
＊ 26：Windows®のシステムからは、容量がCドライブ：約44GB、Dドライブ：約4.6GB、残り：再セットアップ用およびインスタント機能用領域として認識されます。
＊ 27：12cm CD、DVD以外は使用できません。
＊ 28：DVD-RAM Ver.2 (片面4.7GB)の速度です。また、カートリッジ式のメディアは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはメディア取り出し可能なカートリッジ式でメディアを取り出してご利用ください。
＊ 29：DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の書き換えはサポートしていません。
＊ 30：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
＊ 31：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
＊ 32：Ultra Speed CD-RWメディアはご使用になれません。
＊ 33：著作権保護機能には対応しておりません。「マジックゲート」機能には対応しておりません。「メモリースティック Duo」をご使用の場合は、必ずメモリースティック Duoアダプタを使用してご利用ください。詳しくは「メモリースティック Duo」の取扱説明書をご参照ください。「miniSDカード」をご使用の場合には、必ずminiSDカードアダプタを使用してご利用ください。詳しくは「miniSDカード」の取扱説明書をご参照ください。メモリースティックとSDメモリーカードおよびxD-ピクチャーカードを同時に使用することはできません。
＊ 34：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
＊ 35：JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、インターネットhttp://121ware.com/lavie/ → 各シリーズページ → 「仕様一覧」でご案内しています。
＊ 36：パソコン本体のバッテリ、およびリモコンなどに使用する各種電池は消耗品です。
＊ 37：標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
＊ 38：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊ 39：コスメティックカバーの質量は含まれておりません。
＊ 40：乾電池の質量は含まれておりません。

その他のご注意

[著作権に関するご注意]

● お客様が複製元のCD-ROMやDVD-ROMなどの音楽コンテンツやビデオコンテンツの複製や改変を行う場合、複製元の媒体などについて、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製や改変の許諾を得ていない場合、利用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。
● 複製の際は、複製元の媒体の利用許諾条件、複製などに関する注意事項にしたがってください。
● お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかには、著作権法上、著作権者に無断で使用することはできません。

[CD/DVDの読み込み／書き込みについて]

● コピーコントロールCDなど一部の音楽CDでは、再生やCD作成ができない場合があります。
● CPRM (Content Protection for Recordable Media) の著作権保護機能には対応しておりません。
● メディアの種類、フォーマット形式によって読み取り性能が出ない場合があります。また、記録状態が悪い場合など、読み取りできない場合があります。
● 12cm CD、DVD以外は使用できません。ハート形、カード型などの特殊形状をしたCDは故障の原因となりますので使用できません。
● 設定した書き込み、書き換え速度を実現するためには、書き込み、書き換え速度に応じたメディアが必要になります。
● 映像ソフトの再生は、ソフトウェアによるMPEG2再生方式です。NTSCのみ対応しております。Regionコード「2」、「ALL」以外のDVDビデオの再生は行えません。再生するDVDディスクおよびビデオCDの種類によってはコマ落ちする場合があります。リニアPCM(96KHz/24bit)で記録されている20KHz以上の音声信号は再生できません。DVDレコーダで記録されたDVDで、書き込み形式により再生できないものがあります。そのような場合はDVDレコーダの取扱説明書などをご覧ください。
● ライティングソフトウェアが表示する書き込み予想時間と異なる場合があります。
● 作成したDVDは家庭用のDVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載パソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤやDVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、メディアやプレーヤの状態により再生できないことがあります。ソフトウェアによっては書き込み速度設定において最大速度を表示しない場合があります。

[インターネット電話／インターネットテレビ電話について]

● ご利用の通信事業者、プロバイダ、お客様の環境によってはご利用になれない場合があります。事前に通信事業者やプロバイダにご確認ください。ADSLなどのブロードバンド環境でのご利用を推奨いたします。

[周辺機器接続について]

● 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
● 接続する周辺機器によっては対応していない場合があります。動作確認済み機種についてはインターネットhttp://121ware.com/lavie/ (各シリーズページ→「接続情報」)をご覧ください。
● USB1.1対応の周辺機器も利用できます。USB2.0で動作するにはUSB2.0対応の周辺機器が必要です。動作確認済み機種についてはインターネットhttp://121ware.com/lavie/ (各シリーズページ→「接続情報」)をご覧ください。
● IEEE1394インターフェイスを装備した商品と他社製デジタルビデオカメラの連携は、機種により対応していない場合があります。動作確認済み機種についてはインターネットhttp://121ware.com/lavie/ (各シリーズページ→「接続情報」)をご覧ください。
● 光デジタルオーディオ出力端子に接続するオーディオ機器は48KHzのサンプリング周波数に対応している必要があります。また、一般のCDプレーヤ・MDデッキ類と同様に、SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に準拠した信号を出力します。

FAXモデム仕様一覧

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル（10/20PPS） トーンダイヤル（DTMF）
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T　G3ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格[*1]	ITU-T V.17:14,400 / 12,000 / 9,600 / 7,200 bps V.29:9,600 / 7,200 bps V.27ter:4,800 / 2,400 bps V.21 ch2:300 bps
	送信レベル	-11 ～ -15dBm（出荷時 -15dBm）
	受信レベル	-10 ～ -40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド（CLASS 1）
データモデム機能	同期方式	全2重調歩同期方式
	通信規格[*1]	ITU-T V.90:56,000 ～ 28,000 bps[*2] V.34:33,600 ～ 2,400 bps V.32bis:14,400 ～ 4,800 bps V.32:9,600 ～ 4,800 bps V.22bis:2,400 / 1,200 bps V.22:1,200 / 600 bps V.21:300 bps
	エラー訂正	ITU-T V.42（LAPM） MNP class 4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class 5
	送信レベル	-11 ～ -15dBm（出荷時 -15dBm）
	受信レベル	-10 ～ -40dBm
	制御コマンド	Hayes ATコマンド準拠[*3]

*1　:回線状態によっては通信速度が変わる場合があります。

*2　:送信時は 33,600 ～ 2,400 bpsになります。

*3　:ATコマンドについては、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「ATコマンド」をご覧ください。

LAN仕様一覧

項目	規格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時 ：UTPカテゴリ3,4,5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長*	100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

＊リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN仕様一覧

■デュアルモードワイヤレス LAN

本機能はデュアルモードワイヤレス LAN モデルのみの機能です。

● 2.4GHz ワイヤレス LAN 機能

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g ARIB STD-T66
通信モード	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbps モード）＊1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbps モード）＊1
変調方式	OFDM 方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps モード時） DS-SS 方式（11/5.5/2/1Mbps モード時）
無線チャンネル	1 ～ 13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯域（2.4 ～ 2.4835GHz）
セキュリティ	WPA-PSK（TKIP） WEP（鍵長 64bit/128bit＊2）

＊1 ：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。
接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

＊2 ：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ 40bit、104bit です。

Bluetooth仕様一覧

項目	規格
準拠規格	Bluetooth Specification Ver.1.2[*1] 準拠 － AFH（Advanced Frequency Hopping）対応[*2] － FC（Fast Connection）対応[*2]
周波数帯域	2.4GHz 帯（2.400-2.4835GHz）
変調方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散（FH-SS）方式
通信速度	最大約 723kbps[*3]
送信出力	Power Class2（最大4dBm）[*4]
対応 Bluetooth プロファイル	Generic Access Profile Service Discovery Application Profile Serial Port Profile Dial-up Networking Profile FAX Profile Generic Object Exchange Profile Object Push Profile LAN Access Profile Personal Area Network Profile File Transfer Profile Basic Imaging Profile Human Interface Device Profile Hardcopy Cable Replacement Profile Headset Profile Advanced Audio Distribution Profile Audio/Video Remote Control Profile Generic Audio/Video Distribution Profile

＊1：Bluetooth Specification Ver.1.1 の上位互換がありますが、機器により正常に動作しない場合がありますのでご購入前に必ず接続性のご確認願います。Ver.1.0b とは互換性がありません。

＊2：接続先のBluetooth機器も同機能に対応している必要があります。また、AFH機能は回避可能な周波数帯域が確保できない場合は効果が得られない場合があります。

＊3：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OS などによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

＊4：規格上の電波出力の最大値であり実際の電波出力（アンテナ効率含む）ではありません。

－機器認証表示－

本製品には財団法人電気通信端末機器審査協会及び財団法人テレコムエンジニアリングセンターによる技術基準適合認証を受けた無線設備が内蔵されています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

無線設備名：EYXF2CS

財団法人テレコムエンジニアリングセンター 認証番号：001NYDA1507

ご注意）

本製品に組み込まれた無線設備を他の用途へ流用しないでください。電波法の規定に抵触する恐れがあります。

索 引

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

■ FCC 自己適合宣言書

NEC Solutions America,

DECLARATION OF CONFORMITY

We, the Responsible Party

NEC Solutions America
15 Business Park Way
Sacramento, Ca. 95828

declare that the product

LaVie

is in conformity with part 15 of the FCC Rules. Operation of this product is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

パソコンの中にもマニュアルがある

● サポートナビゲーターで調べてみよう ●

このパソコンには、使いながら画面で説明を見るための、サポートナビゲーターが入っています。

デスクトップにある 困ったときのサポートナビゲーター をダブルクリックすれば、いつでも利用できます。

必要に応じて、次の５種類の説明を利用してください。

つながった後の インターネット	ウイルス対策やセキュリティの設定などについて説明しています。
パソコン使いこなし術	Windowsの便利な操作方法など、一歩進んだ使い方を説明しています。
ソフトの紹介と説明	このパソコンに入っているアプリケーションソフトの使い方などを説明しています。
パソコン各部の説明	このパソコンの各部の機能や設定について、詳しい情報を知りたいときに利用してください。
トラブル解決	うまくいかないときや、故障かな？と思ったときに利用してください。